

令和 7 年度

仕 様 書

事業名： 【河川】緊急自然災害防止対策事業

工事場所： 竹原市 東野町 長善寺横

工事名： 東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事

工事概要： 橋梁架設工 N=1 橋
橋台工 N=2 基
現場打杭工 N=2 本
河川改修 L=94m
道路改良 L=73m

【添付書類】
特記仕様書
工事数量総括表
図面 等

特記仕様書

特記仕様書（個別事項）

第1章 総則

第1節

適用

- 1 本特記仕様書は、東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・**土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**
 - ・**特記仕様書（共通事項）（令和7年8月）広島県**※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chatatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

第2節

中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とする。

第3節

情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-26 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

第4節

工事現場の現場環境改善費

本工事は、現場環境改善及び地域連携に資する経費に関して、設計上を行っており、実施については土木工事共通仕様書1-1-3-10 工事現場の現場環境改善費等に従うこと。

第5節

完全週休2日（土日）適用工事

本工事は、週休2日適用工事（受注者希望型）であり、「竹原市週休2日適用工事実施要領（令和7年6月1日一部改正）」に従うこと。
なお、工事着手までに、様式1「休日取得計画表」を記載した施工計画書を監督職員に提出するものとし、対象期間を明確にするため、工事着手日と工事完了日を計画表に明記するものとする。

第6節

建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

- 13 建設発生土の最終搬出先までの確認
 受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。
- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
 (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
 (3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
 (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 材料

第1節 大型土のう

本工事は、大型土のうを使用する工事であり、特記仕様書（共通事項）第2章 材料 第3節 大型土のう に規定する「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル については、「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル（第2回改訂版）に読み替えるものとする。

第3章 施工条件

第1節 工程

1 関連する別途工事

工事名	（仮称）東野地区浸水対策事業 東野ポンプ場整備工事（2工区）
影響箇所	長善寺前三叉路～東野地域交流センター三叉路付近
他工事の内容	現道内への圧送管理設
時期	令和8年度中（予定）

2 施工時期・時間の制限

施工内容	基礎工及び下部工、河川改修工事
時期	出水期（6/16～10/15を標準とする。）
時間	—
施工方法・理由	砂防指定地内制限行為許可条件により、出水期における河川内工事が制限されているため。 出水期作業については、準備工、桁製作工、水道仮移設工、旧橋撤去工等の河川外工事を対象に見込んでいる。
施工内容	全工種
時期	全工事期間
時間	終日
施工方法・理由	当該橋梁及び前後市道が通学路であるため、登下校時間については細心の注意を払い、歩行者の安全確保に努めること。 また、旧橋梁撤去後においては、発注者と協議のうえ迂回経路の検討を行い、学校または関係者への周知を徹底すること。

3 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物または添架物（水道管）の仮移設を当該工事において見込んでいる。
調査時期	工事施工前に施設管理者の立ち会いのもと、移設方法について協議を行うこと。
移設期間	本工事着手前

第2節 安全対策

1 交通安全施設

内容	現場出入口に立入防止措置を講じ、工事関係者以外の進入を防止すること。
期間	工事期間中

2 通学路

内容	市道在屋1号線及び周辺道路は、通学路に指定されているため、工事車両の通行時には細心の注意を払い、必要であれば交通誘導警備員の配置や登下校時の大型車両進入制限等による児童の安全対策に努めること。 なお、交通誘導警備員の配置については、事前に監督員と協議の上、設計変更の対象とする。
期間	工事期間中

3 交通誘導警備員

当該工事は、現場に施工ヤードを設け、ヤード内において作業することとしている。
 基礎工及び桁架設工に伴う資機材搬入時、既存工作物撤去時を対象として交通誘導員を計上しているが、警察等の協議によって交通誘導員の配置を求められた時は、発注者と協議すること。

第3節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路	市道在屋1号線→工事現場を搬入経路として想定している。（任意）
使用期間	工事施工期間
使用時間	8時～17時
工事中・後の処置	適宜、清掃を実施し、工事後において舗装欠損等が判明した場合は監督員と協議し、適切な措置を講じること。 一部、隅切り部の拡幅を見込んでいるが、工事時においては原形復旧を行うこと。

2 仮設道路

安全施設	出入口に柵を設置すること。
工事後の処置	原形復旧
維持管理内容	粉じん防止の散水（随時）

第4節 盛土

1 流用土（工事内流用）

本工事の河川改修により発生する土のうち、174.7m³（地山土量）については道路改良の施工に流用するものと見込んでいる。

第5節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地）（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。
 また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に必要な費用（単価）は変更しない。

搬出場所 株式会社中国工業開発新庄残土処分場（竹原市新庄町宇松ノ木39-1）

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

- 2 コンクリート（無筋）塊（搬出）
当該工事により発生するコンクリート（無筋）塊の処分先については、次の処分先条件を想定している。
- | | |
|------|----------|
| 運搬距離 | 7.5 km |
| 受入費用 | 1,500円/t |

- コンクリート（有筋）塊（搬出）
当該工事により発生するコンクリート（有筋）塊の処分先については、次の処分先条件を想定している。
- | | |
|------|----------|
| 運搬距離 | 13.9 km |
| 受入費用 | 1,500円/t |

- アスファルト塊（搬出）
当該工事により発生するアスファルト塊の処分先については、次の処分先条件を想定している。
- | | |
|------|----------|
| 運搬距離 | 7.5 km |
| 受入費用 | 1,500円/t |

- 金属くず（搬出）
当該工事により発生する金属くずの処分先については、次の処分先条件を想定している。
- | | |
|------|-----------------------|
| 運搬距離 | 17.6 km |
| 受入費用 | 2,500円/m ³ |

- 混載廃棄物（搬出）
当該工事により発生する混雑くずの処分先については、次の処分先条件を想定している。
- | | |
|------|------------------------|
| 運搬距離 | 13.4 km |
| 受入費用 | 10,000円/m ³ |

3 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 工事支障物件

1 地下・地上支障物

支障物件名	電柱
管理者	中国電力
位置	河川No.9付近（左岸）
移設時期	橋梁架設後（協議による）
工事方法	未定

2 占用物件工事との重複

内容	中国電力またはNTTによる電柱移設工事
期間	橋梁架設後（協議による）

第7節 その他

1 材料費の決定

見積りにより決定した単価については、別紙を参照のこと、その他資材については公表単価による。

第4章 その他

工事現場における責任の自覚並びに、現場作業員及び一般住民から見た責任者の明確化のため、現場代理人は『現場代理人』と記載された腕章を見えやすい箇所に着用すること。

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

長善寺下橋橋梁架設工事

名 称	規 格	単 位	採用単価	備 考
橋面防水工				
曲管(VP40)	φ 40 L=1000mm N=2本	式	23,600	F0000000001
プレテンション桁製作工				
PC桁	外桁(G1)	本	1,031,000	F0000000002
PC桁	中桁(G2~G4)	本	956,000	F0000000003
PC桁	外桁(G5)	本	1,031,000	F0000000004
支承工				
防蝕アンカー装置(一般用)	可動,M46D, ST-SGN12	組	113,850	F0000000006
防蝕アンカー装置(一般用)	可動,M50D, ST-SGN12 横変位拘束装置	組	142,500	F0000000007
アイボルト	M12	本	440	F0000000008
雑工(工作物撤去)				
アルミ方流カーポート	4,810×2,360[mm] 片持支柱	ヶ所	36,000	F0000002001
練塀	H110cm	m	3,600	F0000002002
ブロック基礎	厚136mm・高さ200mm・ モルタル塗り	m	2,100	F0000002003
塀用コンクリート基礎	GL上・高さ150mm・ 幅150mm	m	2,100	F0000002004
塀用コンクリート基礎	GL上・高さ130mm・ 幅150mm	m	1,900	F0000002005
塀用コンクリート基礎	GL上・高さ250mm・ 幅150mm	m	2,200	F0000002006
カッター切離し		式	28,000	F0000002007

参考資料

・本工事は、次の材料費、施工費により工事請負費を算定している。

名称	形状寸法	単位	設計単価	登録単価
WEETDA-13.6 直管 8.5m	W100	本	91,833	F0001
WEETDA-13.6 EFソケット	W100	個	19,076	F0002
WEETDA-13.6 フランジアダプター	W100	個	41,853	F0003
WEETDA-13.6 EFチーズ	W100×W100	個	54,606	F0004
WEETDA-13.6 異径チーズ	W100×W75	個	33,776	F0005
不断水丁字管(VP用)	φ100×φ100	個	87,900	F0006
不断水工(VP用)	φ100×φ100	箇所	133,903	F0007
フランジ蓋	φ100 7.5K	個	7,833	F0008
WEETDA-13.6 EFソケット	W75	個	15,090	F0009
WEETDA-13.6 フランジアダプター	W75	個	34,066	F0010
不断水丁字管(VP用)	φ75×φ75	個	68,543	F0011
不断水工(VP用)	φ75×φ75	箇所	126,196	F0012
不断水仕切弁(VP用)	φ75	個	236,016	F0013
不断水仕切弁工(VP用)	φ75	個	216,750	F0014
メカニカルキャップ(PE用)	φ75	個	25,466	F0015
メカニカルキャップ(VP用)	φ75	個	19,170	F0016
ロケーティングワイヤー		m	37,600	F0017
鋳鉄製サドル付分水栓(HPPE用)	φ75×φ20	個	23,323	F0018
PE管用継手分水栓用ソケット	φ20	個	2,473	F0019
異種管継手(PE×VP)	φ20	個	2,286	F0020
止水栓ボックス		個	12,436	F0021
WEETDA-13.6 延管工事費	W100	m	2,763	F0022
WEETDA-13.6 中間継手工	W100	箇所	20,490	F0023
WEETDA-13.6 分岐継手工	W100×W100	箇所	40,980	F0024
WEETDA-13.6 分岐継手工	W100×W75	箇所	36,733	F0025
WEETDA-13.6 端末継手工	W100	箇所	24,683	F0026
仕切弁ボックス(1式)	H=470mm	個	67,096	F0027
WEETDA-13.6(1式)運送費	大分～竹原市	台	150,000	F0029
WEETDA-13.6 直管 5.0m	W100	本	53,960	F0030
H鋼(リース)	H-200×200×8/12 9.5m	個	164,139	F0028

工事数量総括表

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
橋梁架設				
コンクリート橋上部		式	1	レベル1
舗装工		式	1	レベル2
舗装準備工		式	1	レベル3
調整コンクリート	【18-8-25(20)BB】	m3	0.3	レベル4
橋面防水工		式	1	レベル3
橋面防水	【アスファルト系 [規]200m2未満】	m2	35	レベル4
アスファルト舗装工		式	1	レベル3
基層(車道・路肩部)	【再生密粒度アスファルト混合物(20)】 【t=40mm,平均幅員1.4m以上3.0m以下】	m2	35	レベル4
表層(車道・路肩部)	【再生密粒度アスファルト混合物(20)】 【t=40mm,平均幅員1.4m以上3.0m以下】	m2	35	レベル4
PC橋工		式	1	レベル2
プレテンション桁製作工		式	1	レベル3
プレテンション桁製作		本	5	レベル4
支承工		式	1	レベル3
ゴム支承(Mov)	【プレテンション床版橋用簡易タイプ】 【4171×150×33】	m	4	レベル4
ゴム支承(Fix)	【プレテンション床版橋用簡易タイプ】 【4171×150×33】	m	4	レベル4
横変位拘束装置(A1)		式	1	レベル4
横変位拘束装置(A2)		式	1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
架設工(クレーン架設)		式	1	レベル3
桁架設	【プレテンションPC単純床版橋】	本	5	レベル4
床版・横組工		式	1	レベル3
コンクリート	【30-12-20(25)N】 【Co夜間割増無】	m3	3	レベル4
PCケーブル	【プレテン桁用(1S21.8)】	m	53	レベル4
緊張	【1S21.8】 【定着装置(シングルストランド)】	ケーブル	13	レベル4
足場		式	1	レベル4
橋梁付属物工		式	1	レベル2
伸縮装置工		式	1	レベル3
鋼・ゴム製伸縮装置	【HDJ-CV-R20相当品】	m	9	レベル4
排水装置工		式	1	レベル3
排水柵	【FC20-25】	箇所	2	レベル4
地覆工		式	1	レベル3
場所打地覆	【W600×H465~748】	m	12	レベル4
橋梁用防護柵工		式	1	レベル3
橋梁用防護柵	【Gr-C-2B-2】	m	23	レベル4
銘板工		式	1	レベル3
銘板	【300×150×15】	枚	1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
橋梁下部		式	1	レベル1
橋台工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
場所打杭工		式	1	レベル3
場所打杭(A1橋台)	【杭径φ1000mm, 杭長(設計長)7.5m】	本	4	レベル4
場所打杭(A2橋台)	【杭径φ1000mm, 杭長(設計長)7.0m】	本	4	レベル4
土砂等運搬	【土砂】	式	1	レベル4
土砂等運搬	【軟岩Ⅰ】	式	1	レベル4
残土等処分	【土砂】	式	1	レベル4
残土等処分	【軟岩Ⅰ】	式	1	レベル4
橋台躯体工(A1橋台)		式	1	レベル3
基礎材	【RC-40, 敷厚20cm】	m2	21	レベル4
均しコンクリート	【18-8-40BB, 敷厚10cm】 【一般型枠】	m2	21	レベル4
コンクリート	【24-12-20(25)BB】 【Co夜間割増無】	m3	51	レベル4
鉄筋	【SD345・D13】	t	0.45	レベル4
鉄筋	【SD345・D16~D25】	t	1.40	レベル4
型枠	【一般型枠】	式	1	レベル4
箱抜き工	【φ150】	箇所	4	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
足場		式	1	レベル4
橋台躯体工(A2橋台)		式	1	レベル3
基礎材	【RC-40, 敷厚20cm】	m2	21	レベル4
均しコンクリート	【18-8-40BB, 敷厚10cm】 【一般型枠】	m2	21	レベル4
コンクリート	【24-12-20(25)BB】 【Co夜間割増無】	m3	51	レベル4
鉄筋	【SD345・D13】	t	0.46	レベル4
鉄筋	【SD345・D16~D25】	t	1.41	レベル4
型枠	【一般型枠】	式	1	レベル4
箱抜き工	【φ200】	箇所	2	レベル4
箱抜き工	【φ150】	箇所	2	レベル4
足場		式	1	レベル4
擁壁護岸工		式	1	レベル2
場所打擁壁工(A1側)		式	1	レベル3
コンクリート	【18-8-40BB】 【コンクリート夜間割増無】	m3	8	レベル4
型枠	【一般型枠】	式	1	レベル4
場所打擁壁工(A2側)		式	1	レベル3
コンクリート	【18-8-40BB】 【コンクリート夜間割増無】	m3	9	レベル4
型枠	【一般型枠】	式	1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0005

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
仮設工		式	1	レベル2
搬入路		式	1	レベル3
掘削	【土砂,小規模】 【障害無,施工数量40m3】	m3	40	レベル4
工事用道路工		式	1	レベル3
仮水路工		式	1	レベル3
雑工		式	1	レベル3
雑工		式	1	レベル4
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		式	1	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル1
旧橋撤去工		式	1	レベル2
防護柵撤去工		式	1	レベル3
防護柵(横断・転落防止柵)撤去		m	16	レベル4
現場発生品運搬	【鉄屑(ヘビーH1)】	式	1	レベル4
スクラップ処分費	【鉄屑(ヘビーH1)】	t	0.15	レベル4
旧橋撤去工		式	1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	【無筋構造物,機械施工】	m3	15	レベル4
コンクリート構造物取壊し	【鉄筋構造物,機械施工】	m3	4	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0006

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
コンクリート構造物取壊し(河床)	【無筋構造物,機械施工】	m3	15	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
直接工事費				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3
重建設機械分解組立輸送費		回	1	レベル4
現場環境改善費				
現場環境改善費		式	1	レベル2
現場環境改善費		式	1	レベル3
現場環境改善費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費率分				
契約保証費				

工事数量総括表

頁0 -0009

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
胴込・裏込材(砕石)	【RC-40】	m3	19	レベル4
天端コンクリート	【18-8-40BB】	m	20	レベル4
3号ブロック積擁壁		式	1	レベル3
コンクリートブロック基礎	【18-8-40BB】	m	21	レベル4
コンクリートブロック積	【底幅0.52m, 高さ0.30m】 【控え35cm, 裏コン10cm】	m2	40	レベル4
胴込・裏込材(砕石)	【RC-40】	m3	13	レベル4
天端コンクリート	【18-8-40BB】	m	21	レベル4
植生工		式	1	レベル3
張芝	【[規]100m2未満】	m2	6	レベル4
擁壁護岸工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
場所打擁壁工(構造物単位)		式	1	レベル3
小型擁壁	【擁壁平均高さ0.6m以上0.8m未満】	m3	1	レベル4
もたれ式擁壁	【平均高さ3.04m, 18-8-40BB】 【基礎砕石無, 均しコン厚10cm】	m3	136	レベル4
底張工		式	1	レベル3
底張コンクリート		m3	114	レベル4
嵩上工		式	1	レベル3
嵩上コンクリート		m3	0.8	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0010

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
付帯道路工		式	1	レベル2
側溝工		式	1	レベル3
プレキャストU型側溝	【鉄筋コンクリートU形側溝1種】	m	19	レベル4
横断溝		m	3	レベル4
縁石工		式	1	レベル3
地先境界ブロック	【C種(150×150×600)】	m	9	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	【無筋構造物, 機械施工】	m3	88	レベル4
舗装版破砕	【アスファルト舗装版, 舗装版厚15cm以下】	m2	19	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
直接工事費				
現場環境改善費				
現場環境改善費		式	1	レベル2
現場環境改善費		式	1	レベル3
現場環境改善費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
共通仮設費計				

工事数量総括表

頁0 -0013

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
石・ブロック積(張)工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
3号ブロック積擁壁		式	1	レベル3
コンクリートブロック基礎	【18-8-40BB】			レベル4
コンクリートブロック積	【底幅0.52m, 高さ0.30m】 【控え35cm, 裏コン10cm】	m	15	レベル4
胴込・裏込材(碎石)	【RC-40】	m ²	29	レベル4
天端コンクリート	【18-8-40BB】	m ³	9	レベル4
4号ブロック積擁壁		m	16	レベル4
		式	1	レベル3
コンクリートブロック基礎	【18-8-40BB】			レベル4
コンクリートブロック積	【底幅0.55m, 高さ0.35m】 【控え35cm, 裏コン15cm】	m	20	レベル4
胴込・裏込材(碎石)	【RC-40】	m ²	51	レベル4
天端コンクリート	【18-8-40BB】	m ³	13	レベル4
		m	21	レベル4
排水構造物工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
側溝工		式	1	レベル3
プレキャストU型側溝	【鉄筋コンクリートU形側溝1種】	m	18	レベル4
管渠工		式	1	レベル3
鉄筋コンクリート台付管	【管径300mm】	m	8	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0014

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
集水樹・マンホール工		式	1	レベル3
現場打ち集水樹	【G2-B450-L500-H500】			レベル4
場所打水路工	【18-8-40BB】	箇所	2	レベル3
現場打水路	【L型側溝 L1-B300-H300】	式	1	レベル4
底張コンクリート	【18-8-40BB】	m	11	レベル3
		式	1	レベル4
底張コンクリート		m ³	7	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	【無筋構造物, 機械施工】	m ³	42	レベル4
舗装版破砕	【アスファルト舗装版, 舗装版厚15cm以下】	m ²	260	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	【コンクリート(無筋)殻】	m ³	42	レベル4
殻運搬	【アスファルト殻】	m ³	13	レベル4
殻処分	【コンクリート(無筋)殻】	t	99	レベル4
殻処分	【アスファルト殻】	t	31	レベル4
舗装		式	1	レベル1
舗装工		式	1	レベル2
アスファルト舗装工		式	1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0017

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
水道移設				
管路(水道)		式	1	レベル1
管渠工(開削)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路土工		式	1	レベル4
仮舗装工復旧工		式	1	レベル4
管布設工		式	1	レベル3
配水管布設工		式	1	レベル4
管・弁材料		式	1	レベル3
配水管φ100材料		式	1	レベル4
配水管φ75材料		式	1	レベル4
仕切弁ボックス設置工		式	1	レベル4
仕切弁ボックス材料		式	1	レベル4
管防護工		式	1	レベル4
給水管工		式	1	レベル3
給水管土工		式	1	レベル4
給水管取替工		式	1	レベル4
給水管取替工材料		式	1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0018

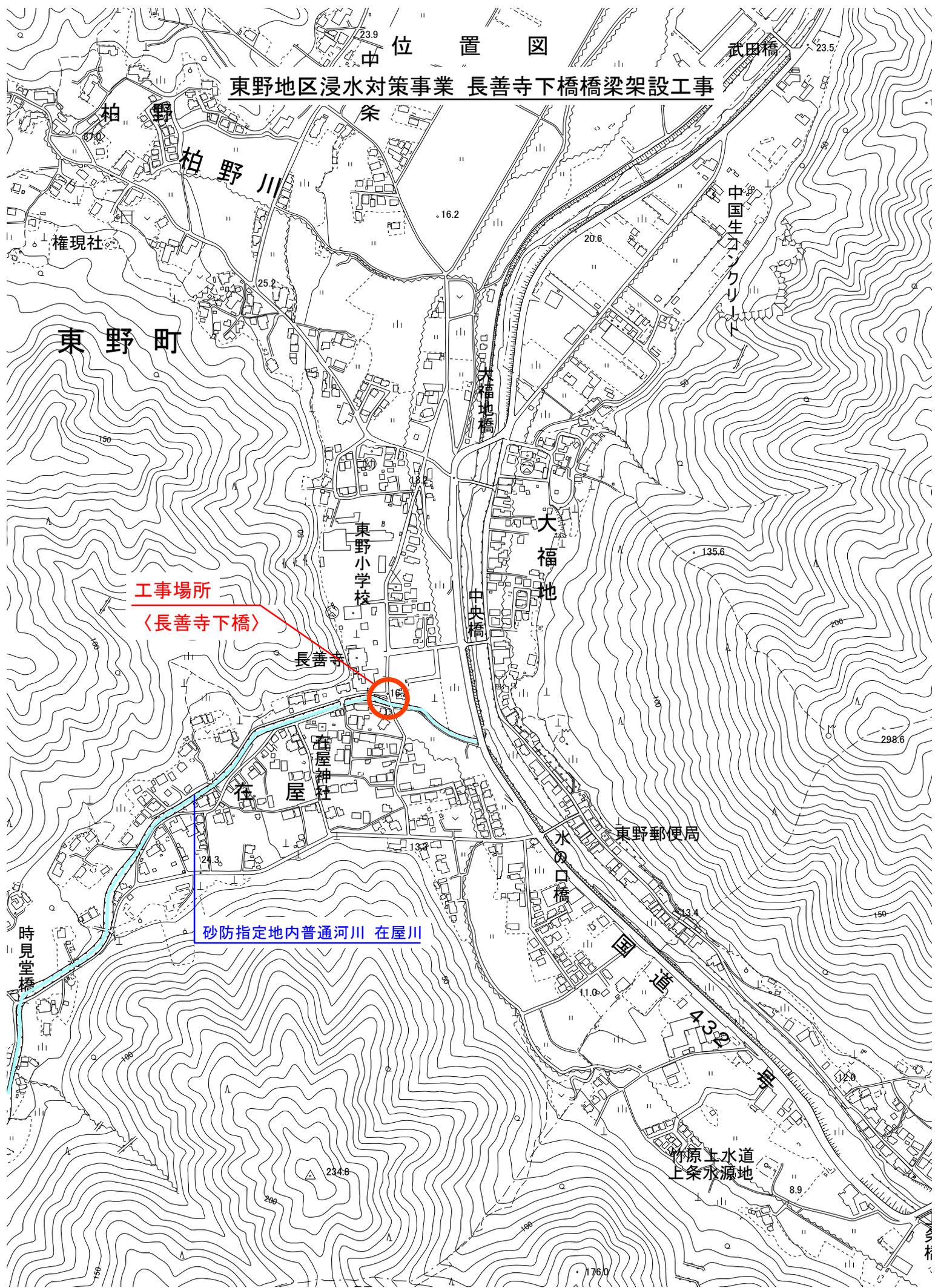
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
管撤去工		式	1	レベル3
管撤去工		式	1	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	33	レベル4
直接工事費				
現場環境改善費				
現場環境改善費		式	1	レベル2
現場環境改善費		式	1	レベル3
現場環境改善費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				

圖

面

位置図

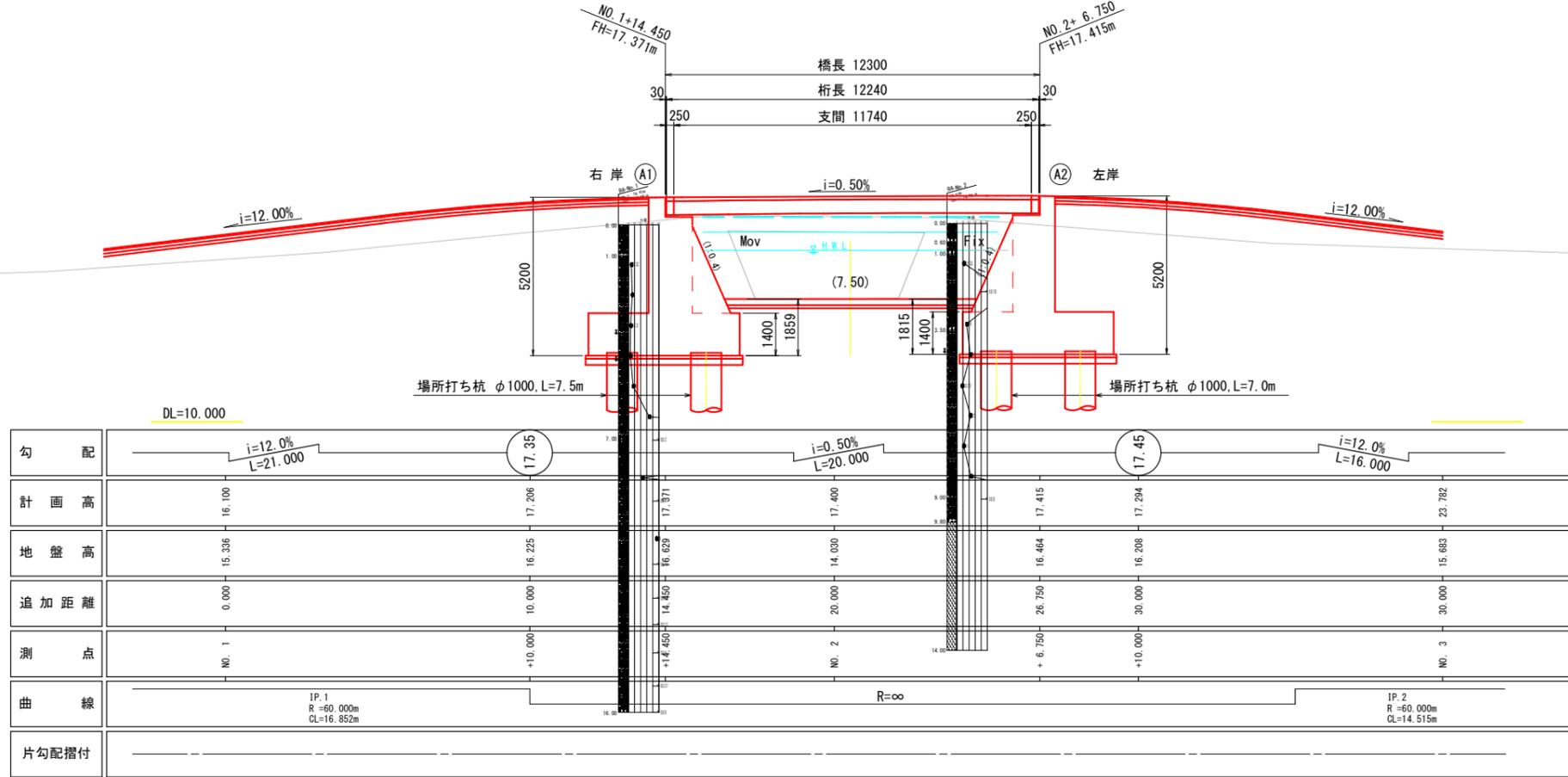
東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事



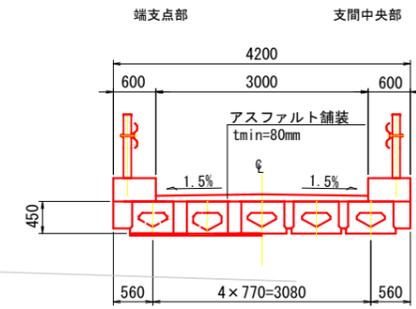
橋 梁 架 設

橋梁一般図 S=1:100

側面図



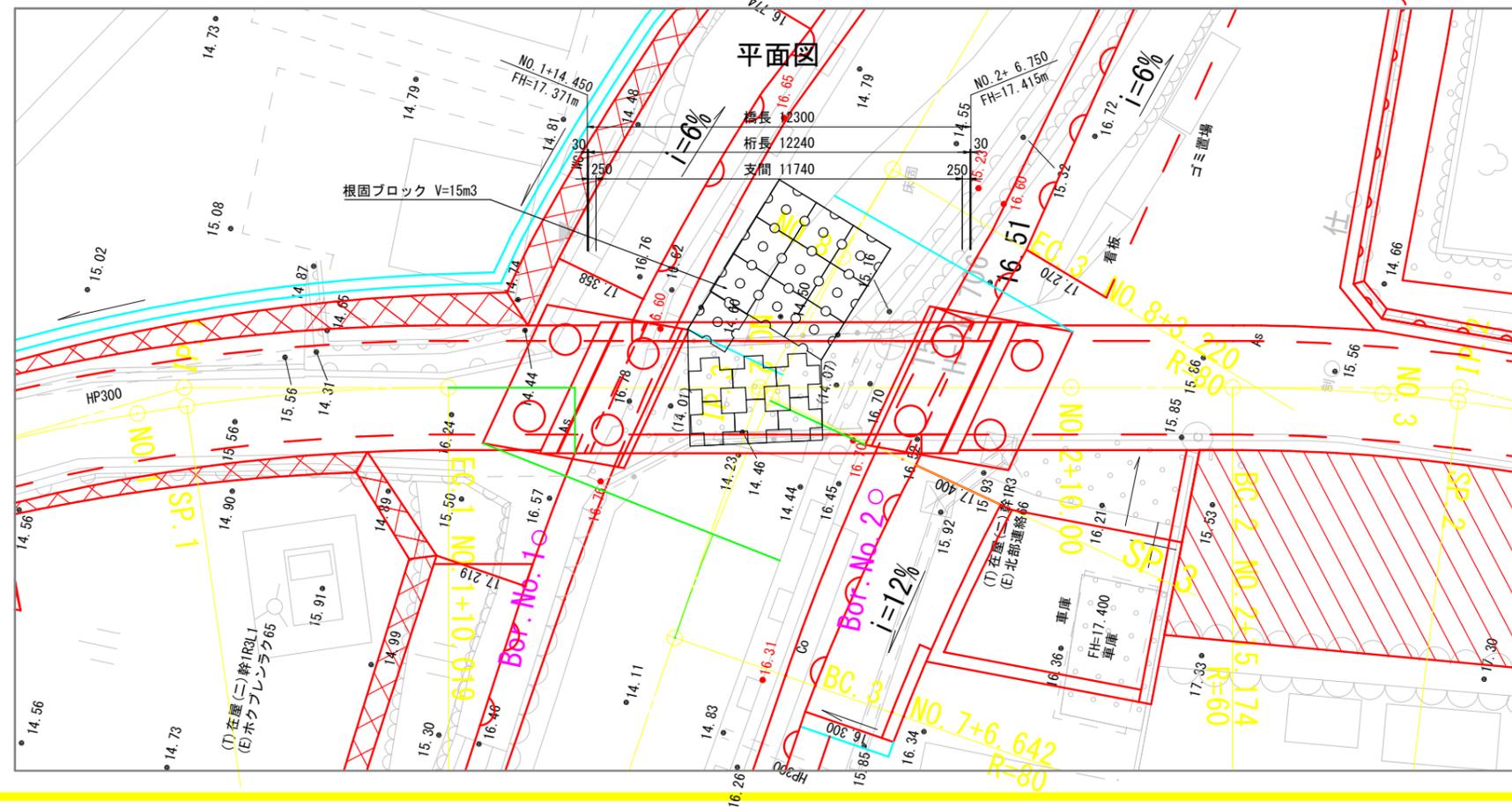
上部工断面図 S=1:50



設計条件

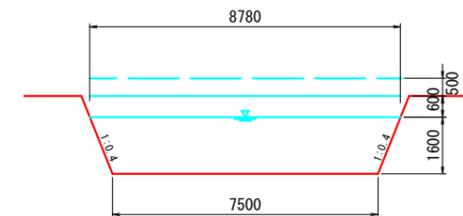
橋梁名	長善寺下橋	
路線名	市道在屋8号線	
河川名	砂防河川 在屋川	
道路規格	第3種 第5級	
橋種	道路橋	
橋長	12.300 m	
支間長	11.740 m	
幅員	3.000 m	
斜角	65°-00'-00" (左)	
活荷重	TL-14	
設計水平震度	Kh=0.17 (土圧) Kh=0.18 (A1), 0.21 (A2) (躯体)	
上部構造	上部工	PC単純プレテンション方式ホロー桁橋
	鉄筋	SD345
	舗装	アスファルト舗装
下部構造	設計基準強度	$\sigma_{ck}=50$ N/mm ² (主桁)
	A1橋台	逆T式橋台 (可動)
	A2橋台	逆T式橋台 (固定)
	鉄筋	SD345
設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ N/mm ²	
適用示方書	道路橋示方書 平成29年11月	

平面図



計画河川断面図

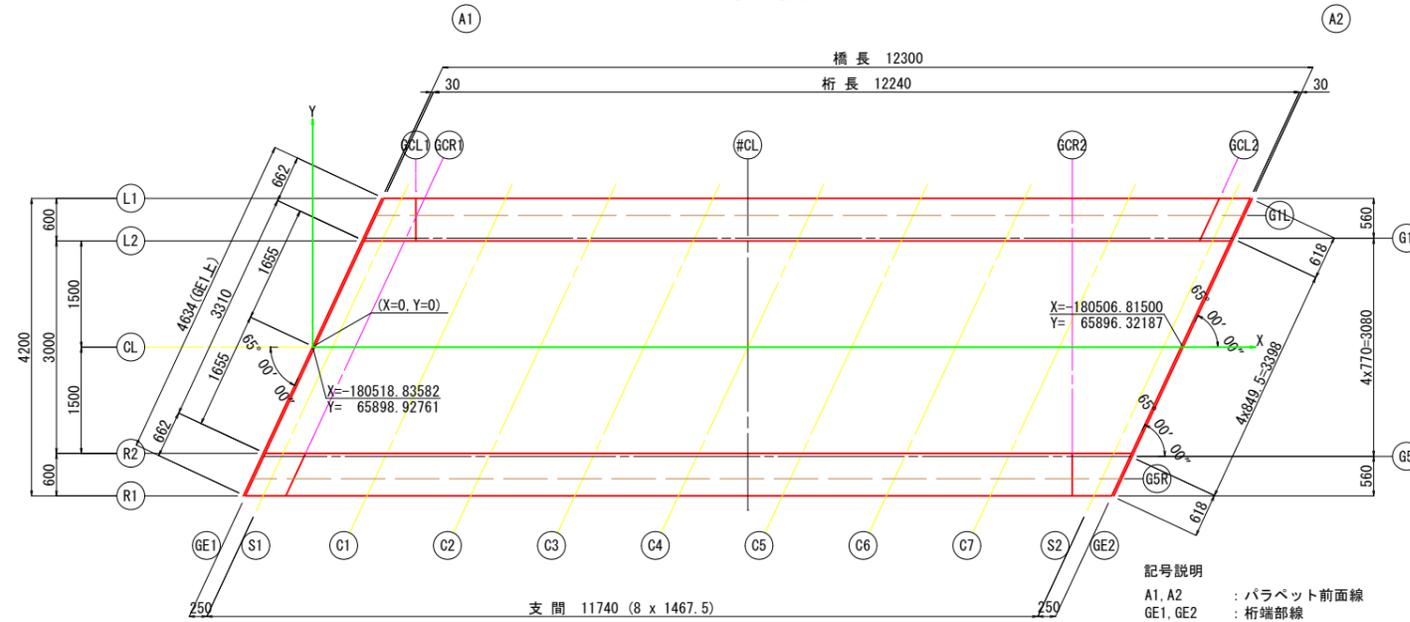
(砂防河川 在屋川)



工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	橋梁一般図		
作成年月日	令和8年1月		
縮尺	1:100, 1:50	図面番号	1 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

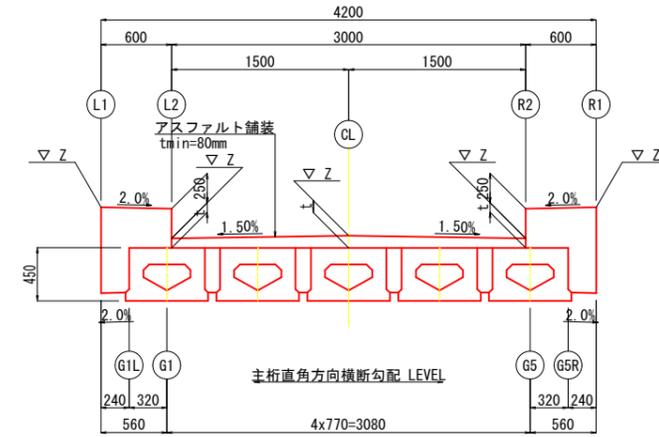
線形図

平面図 S=1:50



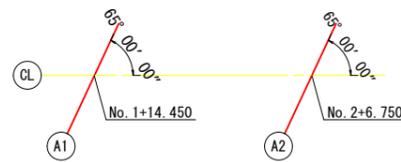
記号説明
 A1, A2 : パラベット前面線
 GE1, GE2 : 桁端部線
 S1, S2 : 支承中心線
 C1~C7 : 支間8等分線
 GCL1, GCL2 : 左側地覆カット線
 GCR1, GCR2 : 右側地覆カット線

断面図 S=1:30



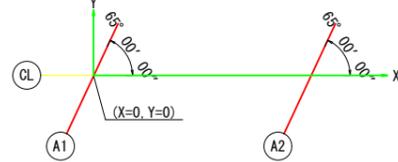
記号説明
 CL : 道路中心線
 L1, L2 : 左側覆線
 R1, R2 : 右側覆線
 G1, G5 : 外桁中心線
 G1L, G5R : 外桁外側線

下部工設置方向



橋台の設定
 道路中心線 (CL) 上の No. 1+14.450 を通り、CL に対して左 65° 00' 00" を有する直線を A1 橋台前面線 (A1) とし、道路中心線 (CL) 上の No. 2+6.750 を通り、(A1) に平行な直線を A2 橋台前面線 (A2) とする。

小座標の設定



小座標の設定
 道路中心線 (CL) 上と A1 橋台前面線 (A1) との交点を小座標系の原点 (X=0, Y=0) とする。小座標系の原点を通り道路中心線 (CL) 方向に X 軸をとる。小座標系の原点を通り X 軸に直交する方向を Y 軸とする。

主桁配置の設定
 ・ G1 桁は、CL に対して 1.540m の平行線としてセットする。
 ・ G5 桁は、CL に対して -1.540m の平行線としてセットする。

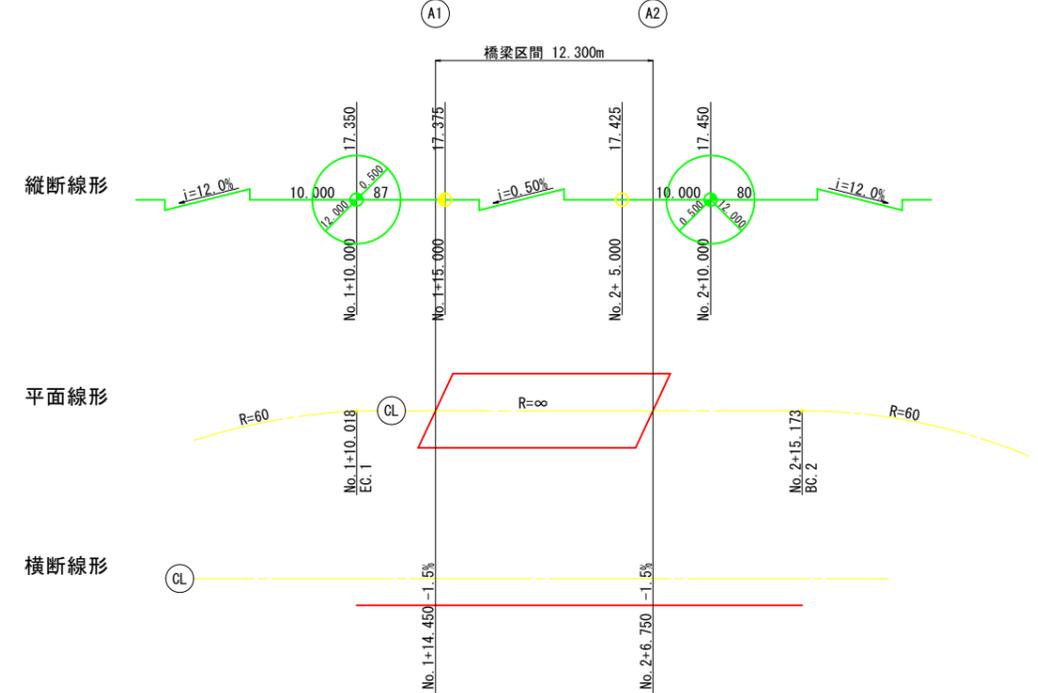
小座標及び計画高表 (X: X座標, Y: Y座標, Z: 計画高)

		A1	GE1	S1	GCR1	GCL1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	GCR2	GCL2	S2	GE2	A2
L1	X	0.97925	1.00925	1.25925	1.45809	1.45800	2.72675	4.19425	5.66175	7.12925	8.59675	10.06425	11.53175	10.73400	12.81300	12.99925	13.24925	13.27925
	Y	2.10000	2.10000	2.10000	2.10000	2.10000	2.10000	2.10000	2.10000	2.10000	2.10000	2.10000	2.10000	2.10000	2.10000	2.10000	2.10000	2.10000
	Z	17.35465	17.35480	17.35605	17.61965	17.61904	17.62538	17.63272	17.64006	17.64740	17.65473	17.66207	17.66938	17.67652	17.68381	17.69115	17.69846	17.70579
L2'	X	0.97925	1.00925	1.25925	1.45800	1.45800	2.44696	3.91446	5.38196	6.84946	8.31696	9.78446	11.25196	10.73400	12.81300	12.99925	13.24925	13.27925
	Y	2.10000	2.10000	2.10000	1.83731	1.72710	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	2.10000	2.10000	2.10000	2.10000
	Z	17.35465	17.35480	17.35605	17.35704	17.35704	17.36198	17.36932	17.37666	17.38400	17.39133	17.39867	17.40293	17.40321	17.38181	17.37725	17.37046	17.36959
G1L	X	0.86733	0.89733	1.14733	1.46858	1.45800	2.61483	4.08233	5.54983	7.01733	8.48483	9.95233	11.41983	10.73400	12.70109	12.88733	13.13733	13.16733
	Y	1.86000	1.86000	1.86000	1.86000	1.86000	1.86000	1.86000	1.86000	1.86000	1.86000	1.86000	1.86000	1.86000	1.86000	1.86000	1.86000	1.86000
	Z	17.35409	17.35424	17.35549	17.61429	17.61424	17.62002	17.62736	17.63470	17.64204	17.64937	17.65671	17.66405	17.66041	17.38004	17.38004	17.37360	17.37277
G1	X	0.71811	0.74811	0.99811	1.31936	1.45800	2.46561	3.93311	5.40061	6.86811	8.33561	9.80311	11.27061	10.73400	12.55187	12.73811	12.98811	13.01811
	Y	1.54000	1.54000	1.54000	1.54000	1.54000	1.54000	1.54000	1.54000	1.54000	1.54000	1.54000	1.54000	1.54000	1.54000	1.54000	1.54000	1.54000
	Z	17.35334	17.35349	17.35474	17.35635	17.35704	17.61288	17.62022	17.62755	17.63489	17.64223	17.64957	17.65691	17.65401	17.38746	17.38746	17.37754	17.37677
L2	X	0.69946	0.72946	0.97946	1.30071	1.45800	2.44696	3.91446	5.38196	6.84946	8.31696	9.78446	11.25196	10.73400	12.53322	12.71946	12.96946	12.99946
	Y	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000	1.50000
	Z	17.35325	17.35340	17.35465	17.35625	17.35704	17.36198	17.36932	17.37666	17.38400	17.39133	17.39867	17.40293	17.40321	17.38783	17.38393	17.37801	17.37725
CL	X	0.00000	0.00000	0.20000	0.60125	1.45800	1.74750	3.21500	4.68250	6.15000	7.61750	9.08500	10.55250	10.73400	11.83375	12.02000	12.27000	12.30000
	Y	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000
	Z	17.37051	17.37085	17.37323	17.37526	17.37954	17.38099	17.38833	17.39566	17.40300	17.41034	17.41768	17.42501	17.42571	17.42112	17.41884	17.41511	17.41461
R2	X	-0.69946	-0.66946	-0.41946	-0.09822	1.45800	1.04804	2.51554	3.98304	5.45054	6.91804	8.38554	9.85304	10.73400	11.13429	11.32054	11.57054	11.60054
	Y	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000
	Z	17.33728	17.33785	17.34225	17.34684	17.35704	17.35499	17.36233	17.36967	17.37700	17.38434	17.39168	17.39902	17.40321	17.40264	17.40109	17.40085	17.40085
G5	X	-0.71811	-0.68811	-0.43811	-0.11687	1.45800	1.02939	2.49689	3.96439	5.43189	6.89939	8.36689	9.83439	10.73400	11.11564	11.30189	11.55189	11.58189
	Y	-1.54000	-1.54000	-1.54000	-1.54000	-1.54000	-1.54000	-1.54000	-1.54000	-1.54000	-1.54000	-1.54000	-1.54000	-1.54000	-1.54000	-1.54000	-1.54000	-1.54000
	Z	17.33691	17.33750	17.34195	17.34661	17.60784	17.60570	17.61303	17.62037	17.62771	17.63505	17.64239	17.64973	17.65707	17.40321	17.40333	17.40273	17.40104
G5R	X	-0.86733	-0.83733	-0.58733	-0.26609	1.45800	1.88017	2.34767	3.81517	5.28267	6.75017	8.21767	9.68517	10.73400	10.96642	11.15267	11.40267	11.43267
	Y	-1.86000	-1.86000	-1.86000	-1.86000	-1.86000	-1.86000	-1.86000	-1.86000	-1.86000	-1.86000	-1.86000	-1.86000	-1.86000	-1.86000	-1.86000	-1.86000	-1.86000
	Z	17.33386	17.33450	17.33938	17.34459	17.61424	17.61135	17.61869	17.62603	17.63337	17.64070	17.64804	17.65538	17.66271	17.40321	17.40324	17.40222	17.40204
R2'	X	-0.97925	-0.94925	-0.69925	-0.37800	1.45800	1.04804	2.51554	3.98304	5.45054	6.91804	8.38554	9.85304	10.73400	10.85451	11.04075	11.29075	11.32075
	Y	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.50000	-1.98165	-2.10000	-2.10000	-2.10000
	Z	17.33141	17.33208	17.33728	17.34291	17.35704	17.35499	17.36233	17.36967	17.37700	17.38434	17.39168	17.39902	17.40321	17.40344	17.40345	17.40277	17.40264
R1	X	-0.97925	-0.94925	-0.69925	-0.37800	1.45800	0.76825	2.23575	3.70325	5.17075	6.63825	8.10575	9.57325	10.73400	10.85451	11.04075	11.29075	11.32075
	Y	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-2.10000	-2.10000
	Z	17.33141	17.33208	17.33728	17.34291	17.61904	17.61559	17.62293	17.63027	17.63760	17.64494	17.65228	17.65962	17.66521	17.40344	17.40345	17.40277	17.40264

支点構造高表

	S1			S2			
	G1	CL	G5	G1	CL	G5	
橋面計画高	FH1	17.35474	17.37323	17.34195	17.38352	17.41884	17.40273
舗装厚	t1	0.10030	0.12110	0.09200	0.09230	0.12980	0.11600
桁天端高	FH2	17.25444	17.25213	17.24995	17.29122	17.28904	17.28673
桁高	GH	0.45000	0.45000	0.45000	0.45000	0.45000	0.45000
レアー厚	t2	0.00324	0.00324	0.00324	0.00167	0.00167	0.00167
脊厚	t3	0.03300	0.03300	0.03300	0.03300	0.03300	0.03300
脊座モルタル天端高	FH3	16.76820	16.76589	16.76371	16.80655	16.80437	16.80206
脊座モルタル	t4	0.03500	0.03500	0.03500	0.03500	0.03500	0.03500
台座コンクリート	t5	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000
橋座計画高	FH4	16.73320	16.73089	16.72871	16.77155	16.76937	16.76706

要素図



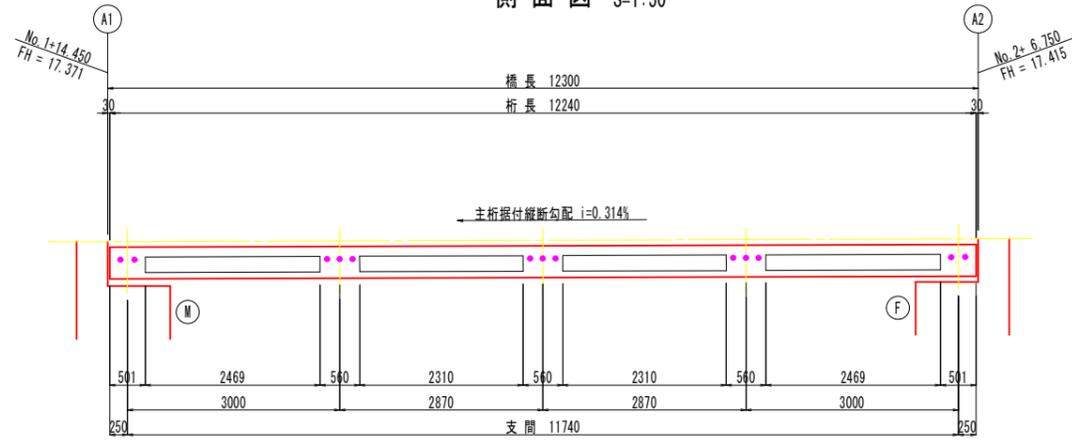
主要点大座標

変化点	測点	X座標	Y座標	要素
EC. 1	No. 1+10.018	-180523.16684	65899.86644	R = ∞
BC. 2	No. 2+15.173	-180498.58283	65894.53739	

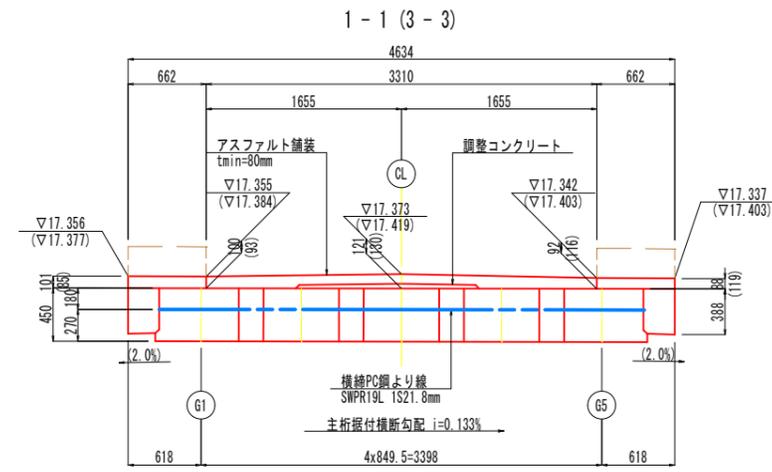
工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋架設工事		
図面名	線形図		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

上部工構造一般図

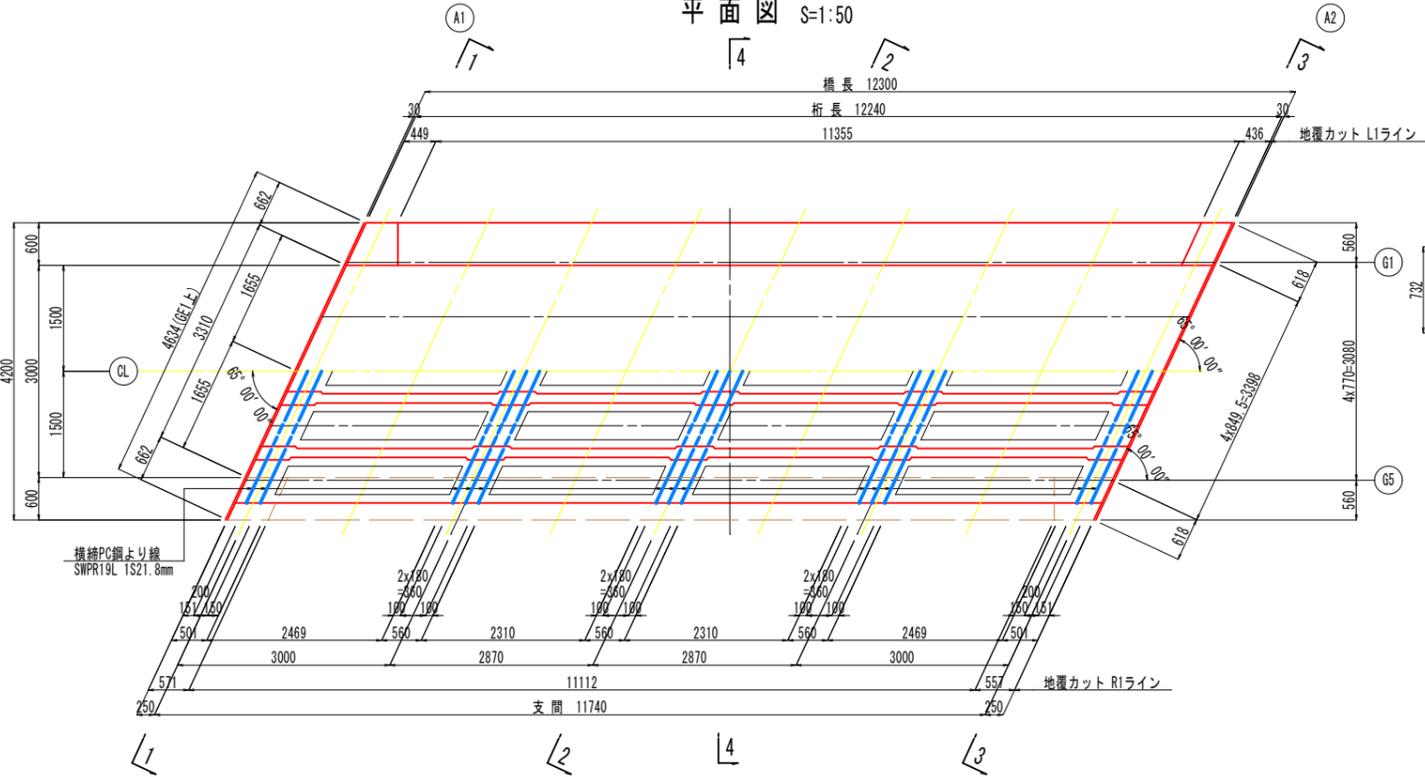
側面図 S=1:50



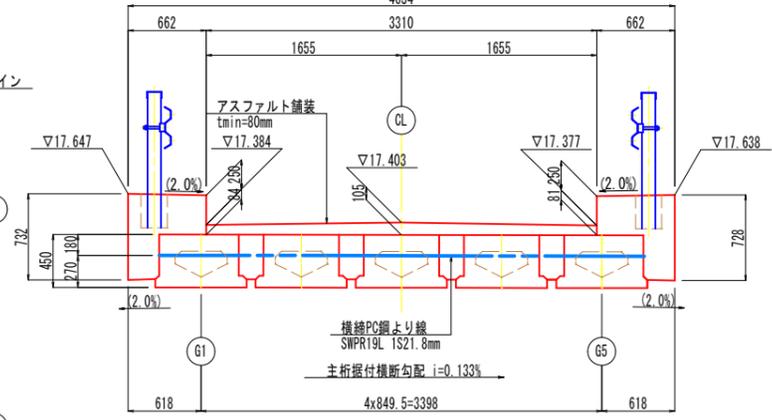
断面図 S=1:30



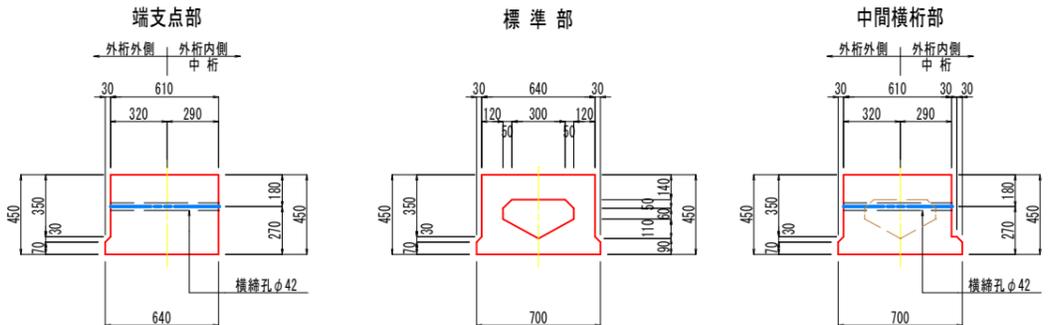
平面図 S=1:50



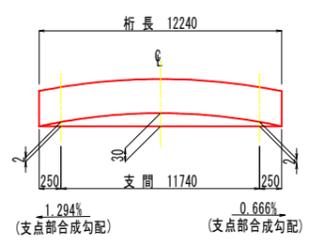
断面図 S=1:30



主桁断面図 S=1:20



キャンバー図



そり量は製作後、90日後の予想値であり架設時期により多少の変動がある為、その調整は支保モルタル厚及び舗装厚を現場にて、調整するものとする。

設計条件

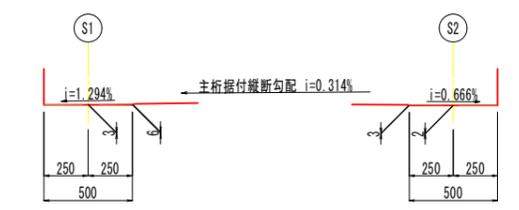
種別	プレストレストコンクリート道路橋		
構造形式	PC単純プレテンション方式ホロー桁橋		
橋長	12.300 m		
桁長	12.240 m		
支間	11.740 m		
有効幅員	3.000 m		
荷重	TL-14		
斜角	左 $65^\circ 00' 00''$		

材料強度及び制限値

工種	種別	単位	主桁	場所打ち	
コンクリート	設計基準強度	N/mm^2	50	30	
	プレストレス導入時圧縮強度	"	35	25	
	曲げ圧縮応力度制限値	プレストレス導入直後	"	24.00	16.86
		前提条件	"	16.00	11.00
		耐荷性能	"	24.00	16.50
		耐久性能	"	16.00	11.00
	曲げ引張応力度制限値	プレストレス導入直後	"	1.89	1.51
		前提条件	"	0	0
		耐荷性能	"	3.10	2.20
		耐久性能	"	1.80	1.20
許容せん断応力度	設計荷重時	基本値	0.44	0.37	
		最大値	6.00	4.00	
	斜引張応力度制限値	前提条件	せん断又はねじり	1.2	0.8
		耐荷性能	せん断又はねじり	2.6	1.7
		耐久性能	せん断又はねじり	3.1	2.2
		耐久性能	せん断又はねじり	2.3	1.7
P C 鋼材	引張強度	基本値	1880	1830	
		降伏点応力度	1600	1580	
	許容引張応力度	緊張作業時	1440	1422	
		プレ導入直後	耐荷性能	1222	1189
			耐久性能	1128	1098
			初期引張応力度	1350	1200
鉄筋	引張応力度の最大値	一般	210		
		耐久性(防食)	100		
		耐久性(疲労)	180		
	引張応力度の制限値	頂部部 耐久性(防食)	100		
		頂部部 耐久性(疲労)	120		

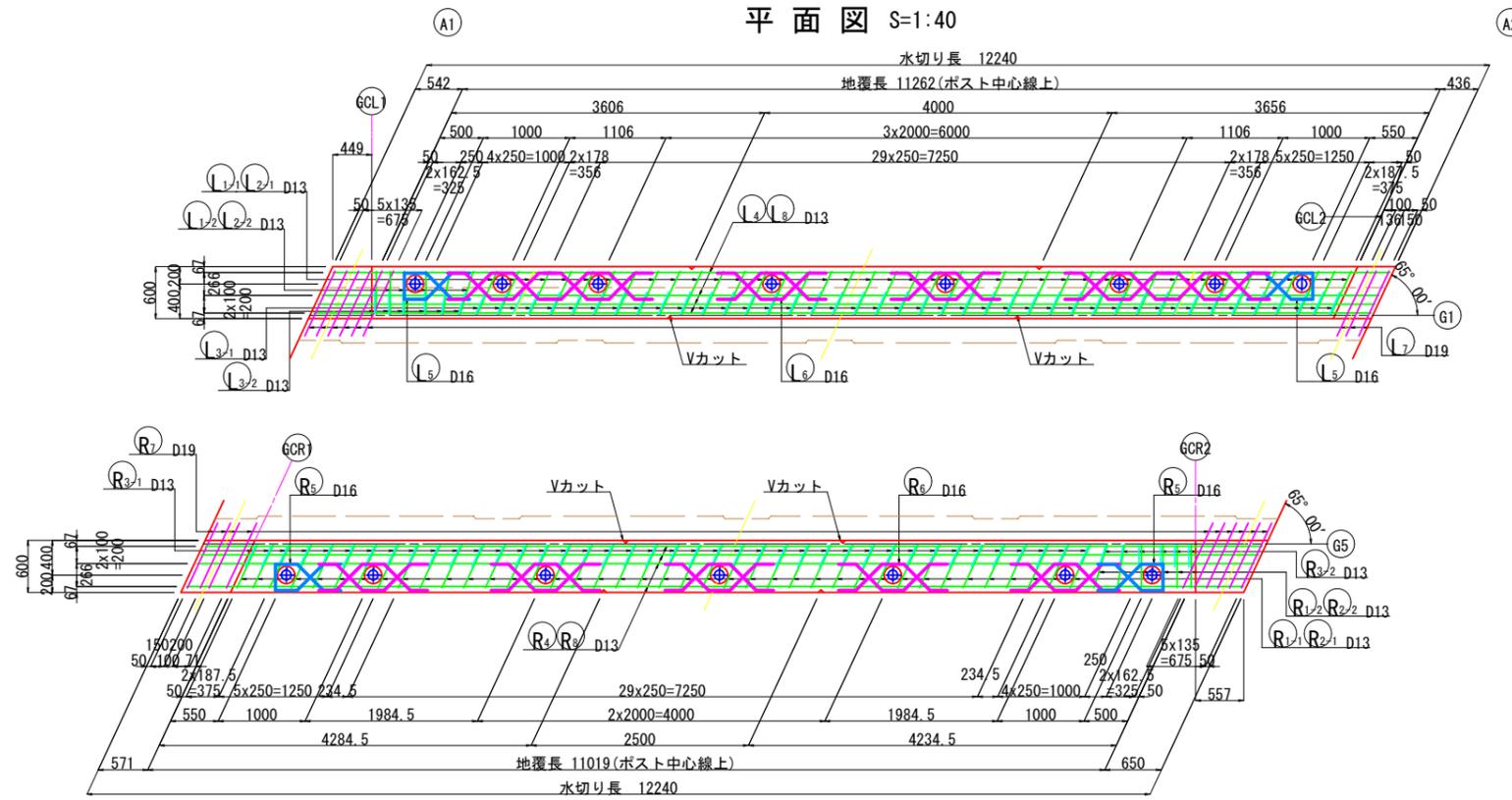
※ 地覆のコンクリート強度は $24N/mm^2$ とする。

レアー詳細図 S=1:20

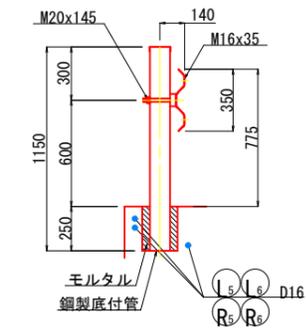


工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋梁架設工事		
図面名	上部工構造一般図		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	3 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

地覆配筋図 (その1)



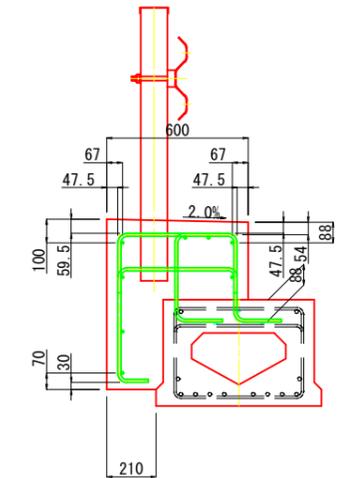
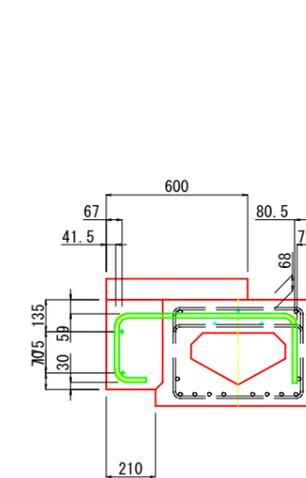
ガードレール詳細図 S=1:20
(Gr-C-2B-4)



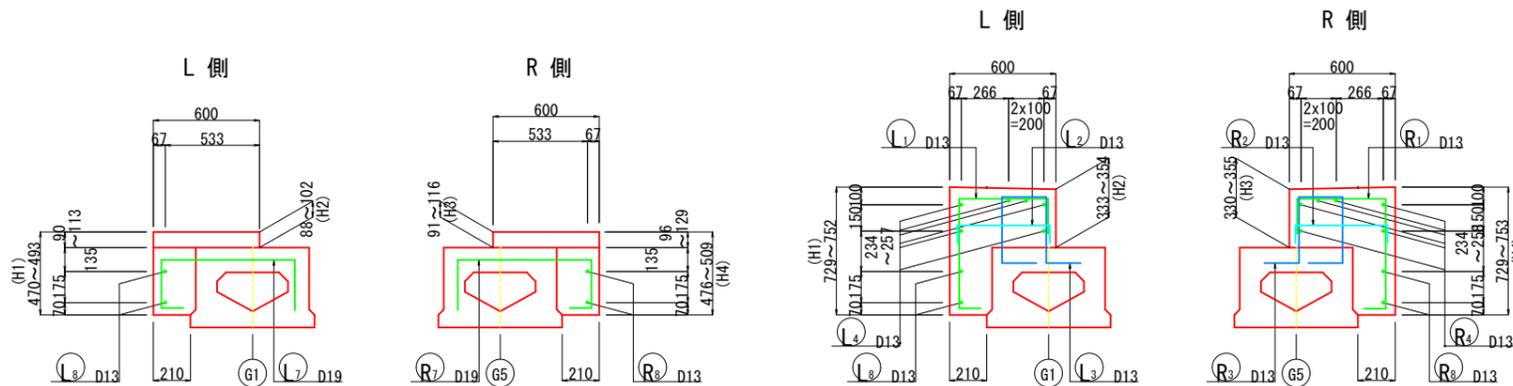
かぶり詳細図 S=1:15

地覆カット部

標準部



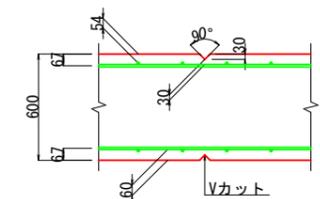
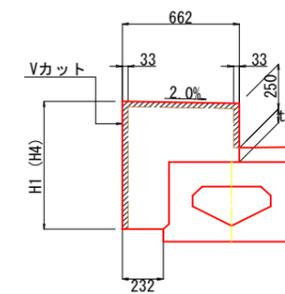
断面図 S=1:20



Vカット詳細図 S=1:20

断面図

平面図

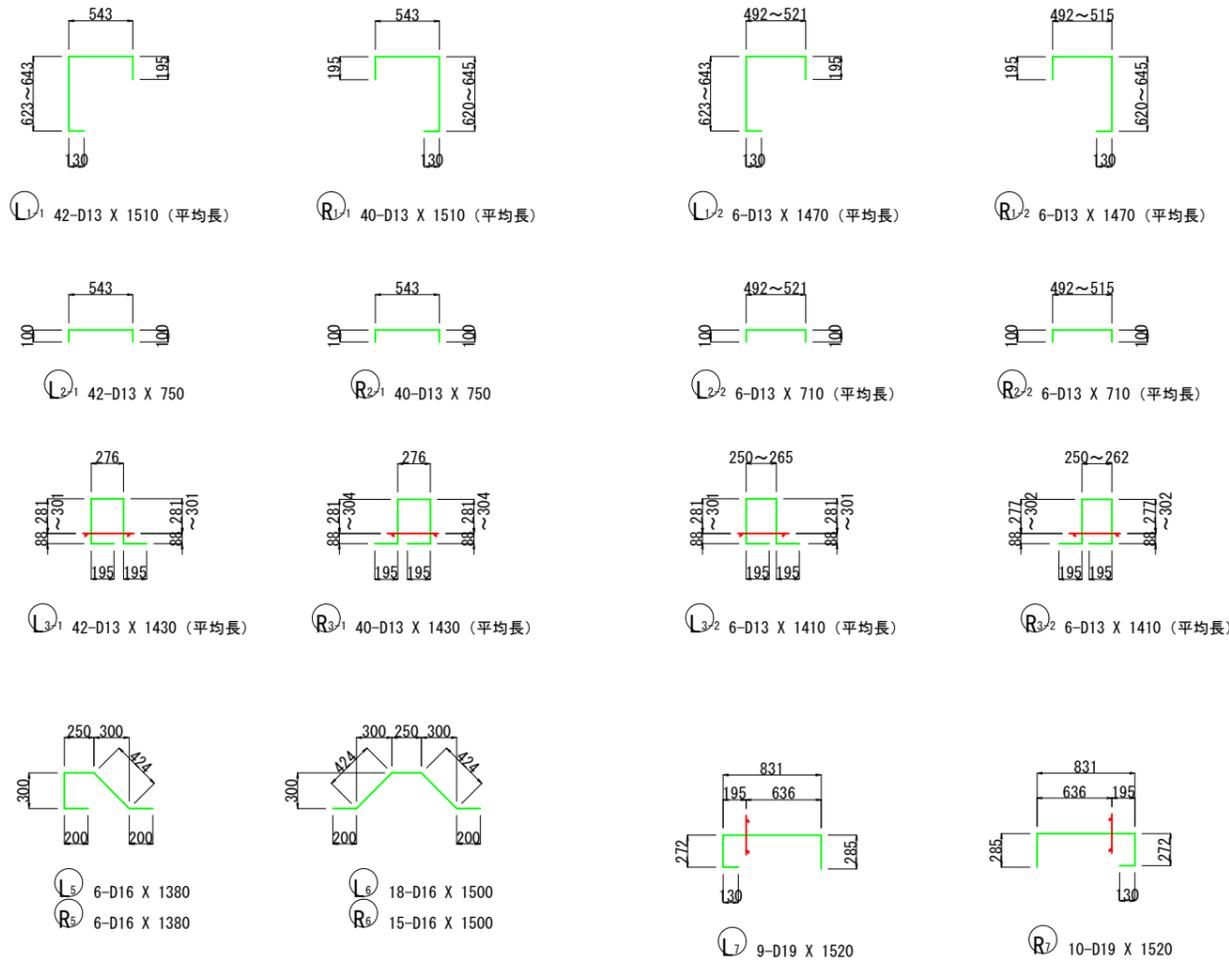


寸法表

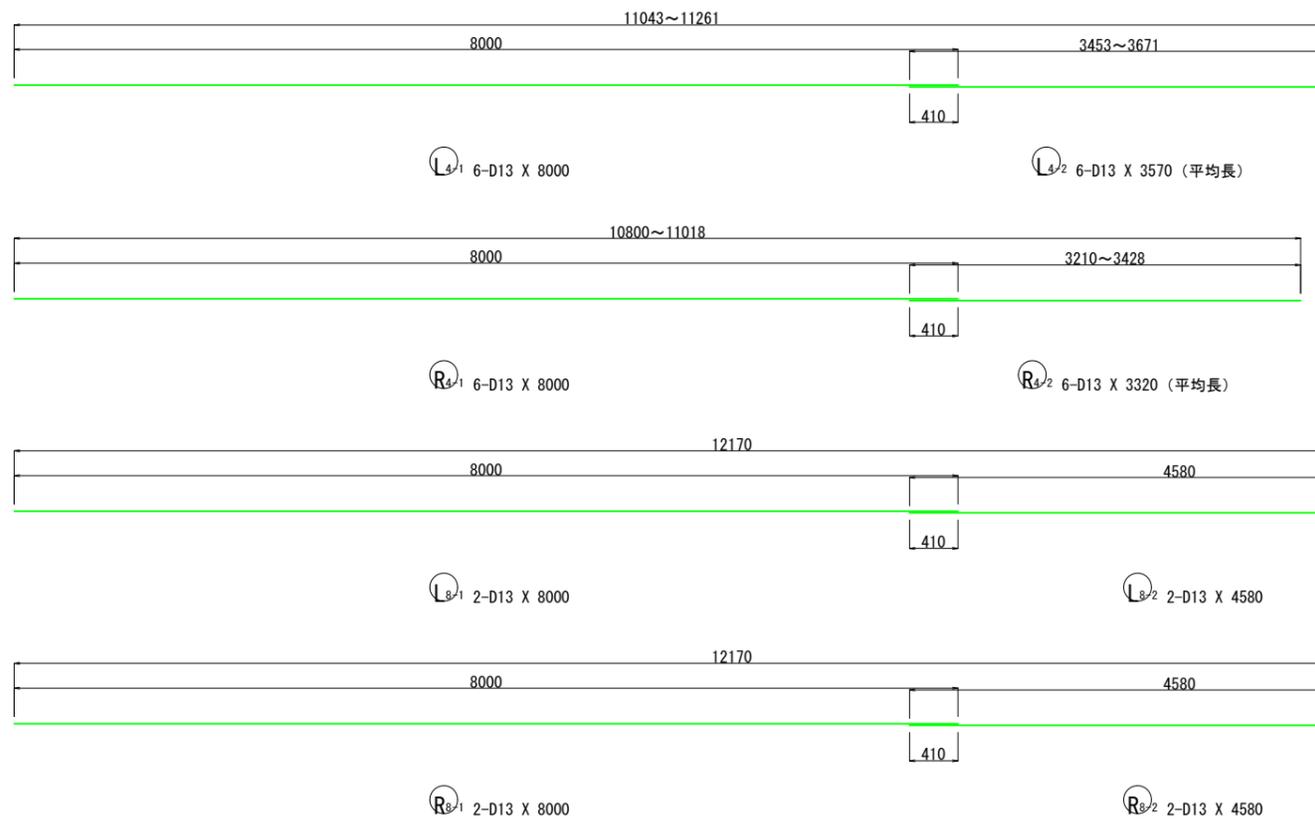
	GE1	S1	GCR1	GCL1	C1	C2	C3	C4	C4#	C5	C6	C7	GCR2	GCL2	S2	GE2	平均
H1	493	491	—	487	739	733	731	732	729	736	744	752	—	479	475	470	—
H2	102	100	98	97	341	335	333	334	333	338	346	354	103	96	93	88	341
H3	91	92	93	86	338	332	330	331	333	336	343	355	113	115	116	116	341
H4	476	478	480	—	735	730	728	729	729	734	741	753	504	—	508	509	—

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	地覆配筋図 (その1)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	5 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

地覆配筋図 (その2)



※直筋で施工し脱枠後に曲げ加工とする。 ※直筋で施工し脱枠後に曲げ加工とする。

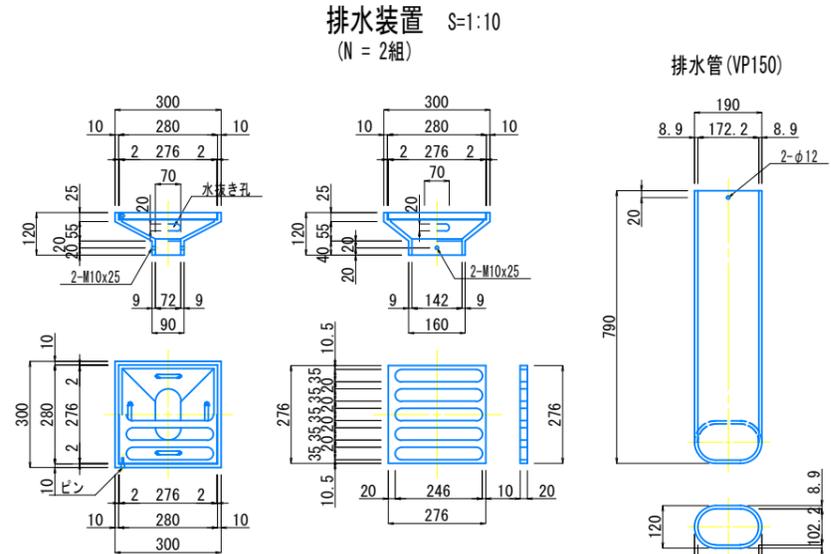
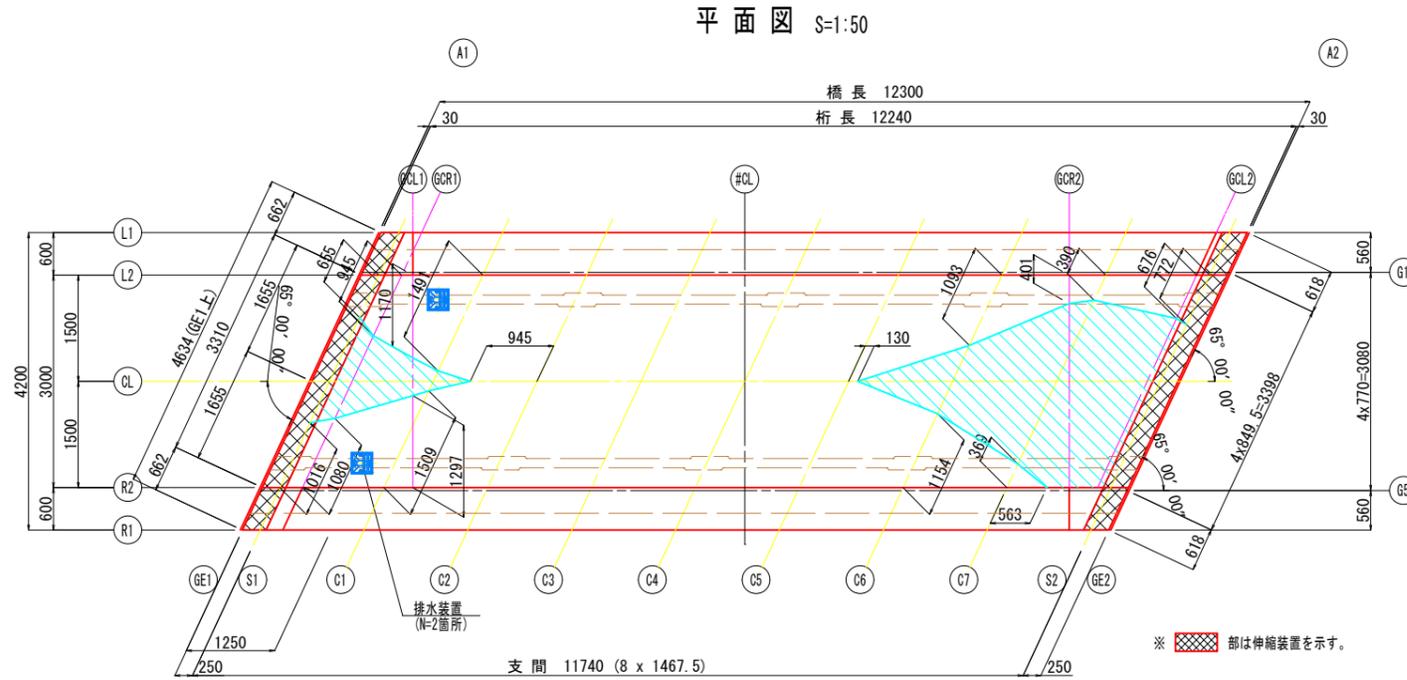


鉄筋表

							(1橋当り)		
種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要		
主桁埋込鉄筋									
L ₃₋₁	D13	1430	42	0.995	1.42	60	┌ (平均長)		
L ₃₋₂	D13	1410	6	0.995	1.40	8	└ (平均長)		
L ₇	D19	1520	9	2.25	3.42	31	└		
							99		
R ₃₋₁	D13	1430	40	0.995	1.42	57	┐ (平均長)		
R ₃₋₂	D13	1410	6	0.995	1.40	8	┐ (平均長)		
R ₇	D19	1520	10	2.25	3.42	34	┐		
							99		
SD345									
合計 D19				65 kg					
D13				133 kg					
総質量				198 kg					
地覆部鉄筋									
L ₁₋₁	D13	1510	42	0.995	1.50	63	┌ (平均長)		
L ₁₋₂	D13	1470	6	0.995	1.46	9	└ (平均長)		
L ₂₋₁	D13	750	42	0.995	0.75	32	└		
L ₂₋₂	D13	710	6	0.995	0.71	4	└ (平均長)		
L ₄₋₁	D13	8000	6	0.995	7.96	48	└		
L ₄₋₂	D13	3570	6	0.995	3.55	21	└ (平均長)		
L ₅	D16	1380	6	1.56	2.15	13	└		
L ₆	D16	1500	18	1.56	2.34	42	└		
L ₈₋₁	D13	8000	2	0.995	7.96	16	└		
L ₈₋₂	D13	4580	2	0.995	4.56	9	└		
							257		
R ₁₋₁	D13	1510	40	0.995	1.50	60	┐ (平均長)		
R ₁₋₂	D13	1470	6	0.995	1.46	9	┐ (平均長)		
R ₂₋₁	D13	750	40	0.995	0.75	30	┐		
R ₂₋₂	D13	710	6	0.995	0.71	4	┐ (平均長)		
R ₄₋₁	D13	8000	6	0.995	7.96	48	┐		
R ₄₋₂	D13	3320	6	0.995	3.30	20	┐ (平均長)		
R ₅	D16	1380	6	1.56	2.15	13	┐		
R ₆	D16	1500	15	1.56	2.34	35	┐		
R ₈₋₁	D13	8000	2	0.995	7.96	16	┐		
R ₈₋₂	D13	4580	2	0.995	4.56	9	┐		
							244		
SD345									
合計 D16				103 kg					
D13				398 kg					
総質量				501 kg					

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	地覆配筋図 (その2)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	1:50	図面番号	6 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

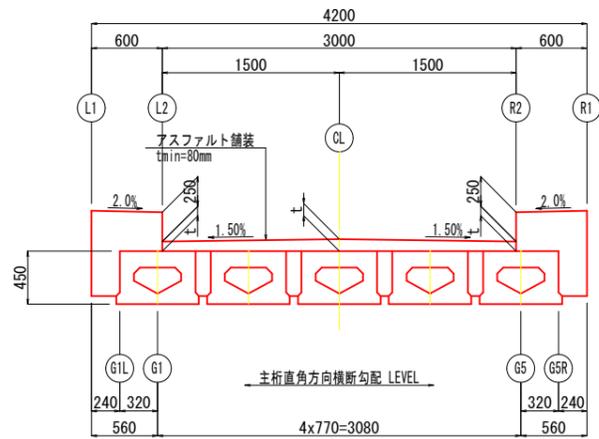
橋面工詳細図



符号	品名	材質	数量	重量 (kg)	備考
1	本体	FC250	1	13.6	
2	ボルト	SS400	2	0.1	垂鉛めっき
3	ボルト	SS400	2	0.1	垂鉛めっき
1組分合計				13.8 kg/組	

※ふたはボルトによる取り付けとする。

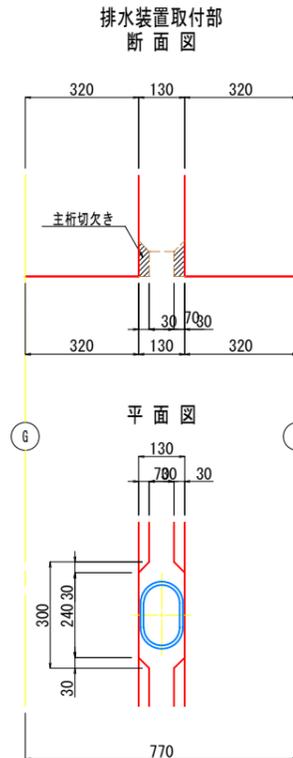
断面図 S=1:30



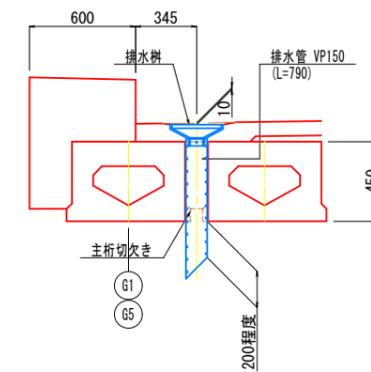
舗装厚表

	GE1	S1	GCR1	GCL1	C1	C2	C3	C4	#CL	C5	C6	C7	GCR2	GCL2	S2	GE2	平均
L2	102	100	98	97	85	83	84	83	88	96	104	103	96	93	88	91	
CL	122	121	119	114	112	106	104	105	109	117	129	130	131	130	128	114	
R2	91	92	93	86	88	82	80	81	83	86	93	105	113	115	116	91	

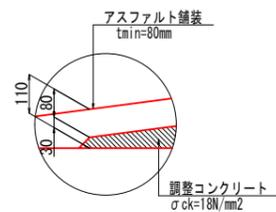
主桁切欠部詳細図



排水装置取付図 S=1:20

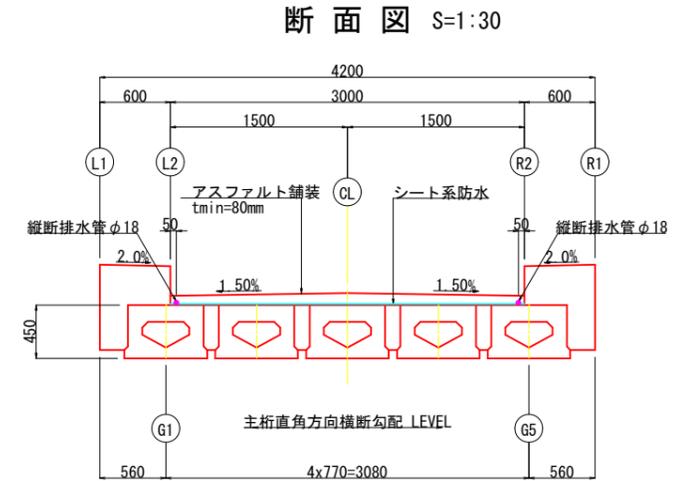
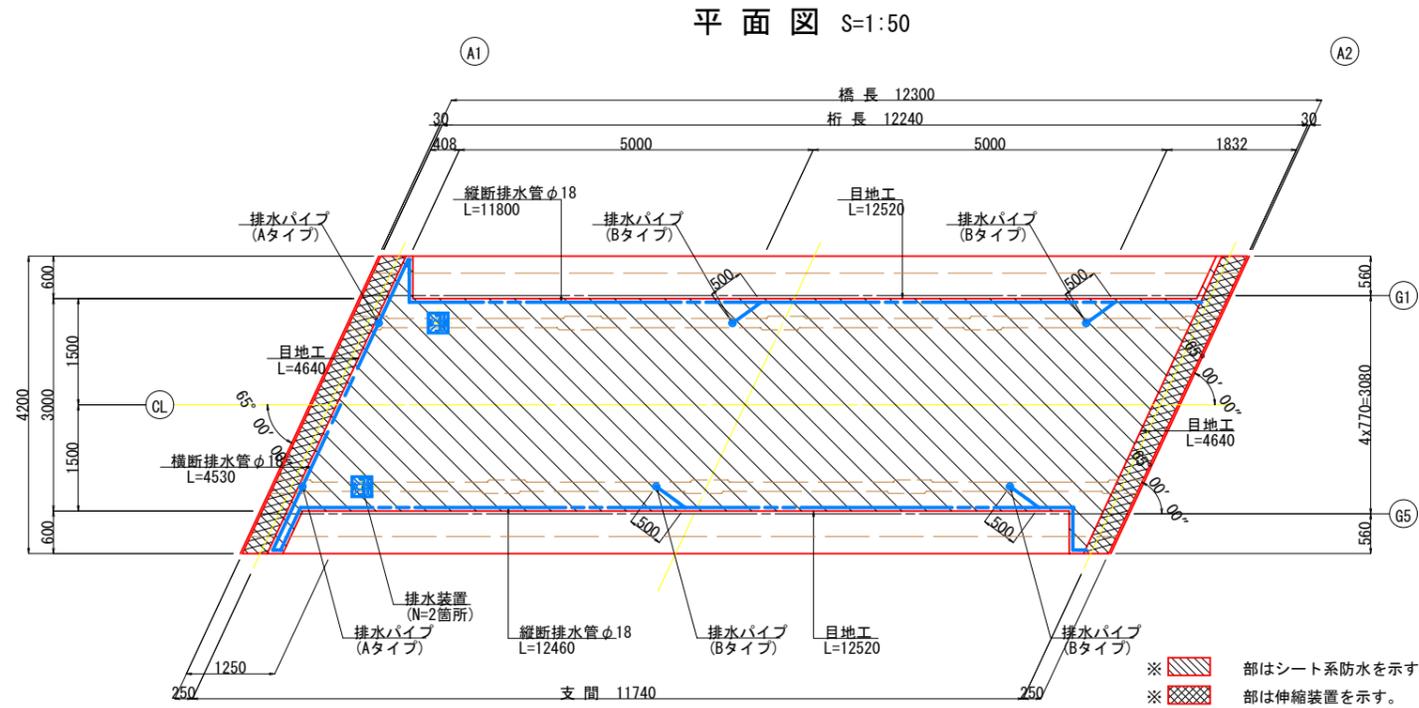


車道舗装構成図 S=1:10



工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	橋面工詳細図		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	7 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

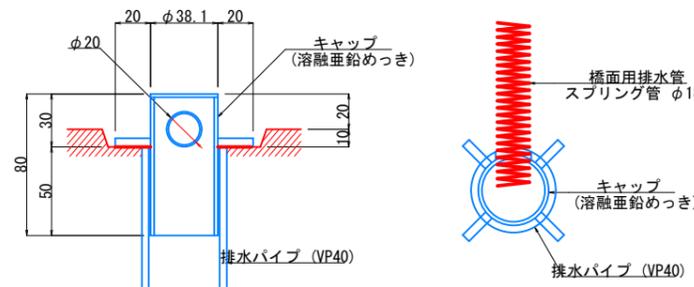
防水工詳細図



防水層の施工に対する留意点

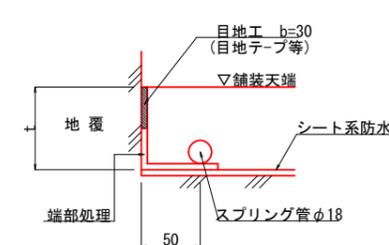
- ・施工に先立ち接着層表面の乾燥状態をよく確認しておくとともにごみ、どろ、その他の有害物は撤去清掃しておくこと。
- ・計画路面高さ、天候・気候などの気象条件を確認して施工すること。
- ・施工にあたって温度管理、養生、施工面の処理、排水構付近や伸縮装置部車道境界部などの端部等に対しては十分注意すること。
- ・詳細については「道路橋床版防水便覧」(日本道路協会)を参考にすること。

排水キャップ詳細図 S=1:2

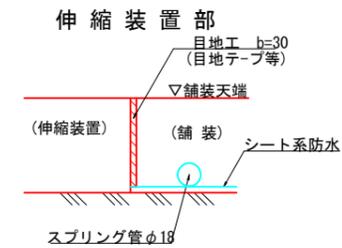


- ※ 縦断排水管φ18(スプリング管)の表面処理は、熔融亜鉛メッキ(HDZT49)同等品以上とする。
- ※ 縦横断排水管の継手の重ね幅は、5cm以上とする。

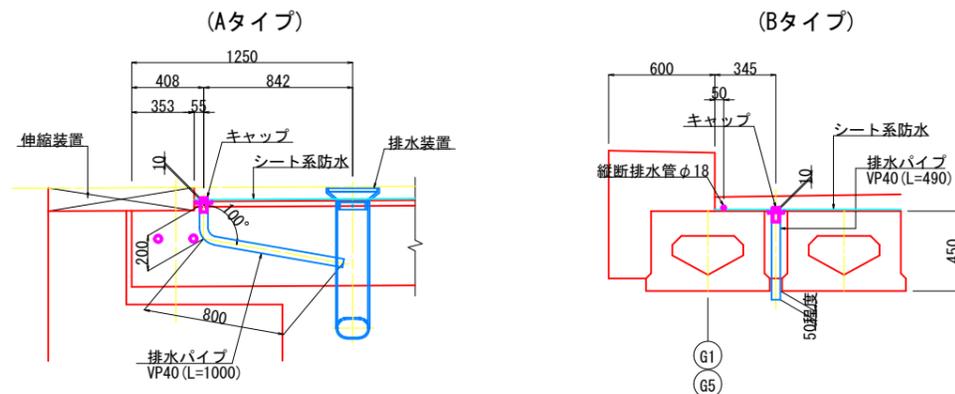
縦断排水, 地覆部防水詳細図 S=1:3



横断排水, 端部防水詳細図 S=1:3



排水パイプ取付図 S=1:20



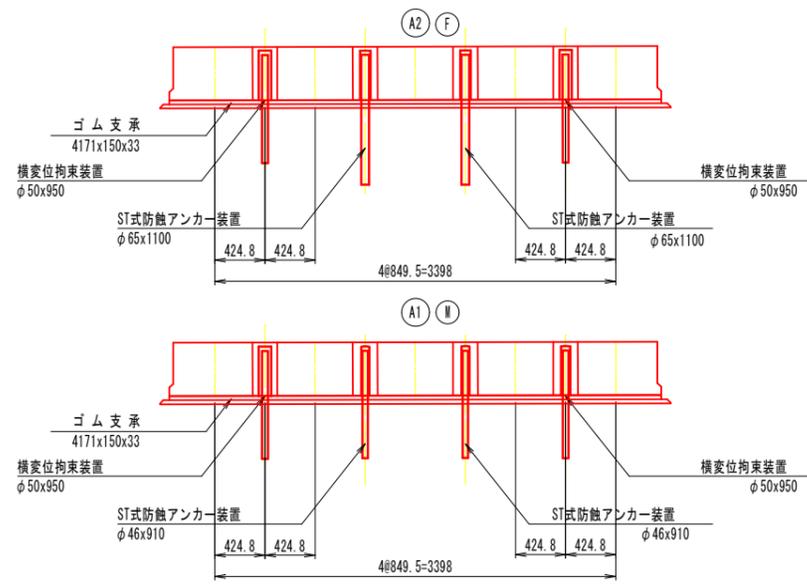
材料表

名称	規格, 寸法	単位	数量	備考
防水層	シート系	m ²	35.1	
スプリング管 φ18	縦断排水管	m	26.3	熔融亜鉛めっき同等品以上
	横断排水管	m	4.5	熔融亜鉛めっき同等品以上
目地工	目地テープ b=30	m	34.3	
キャップ	熔融亜鉛めっき	個	6	
排水パイプ	VP40 L=1000	m	2.0	曲管 (N=2)
	VP40 L=490	m	2.0	直管 (N=4)

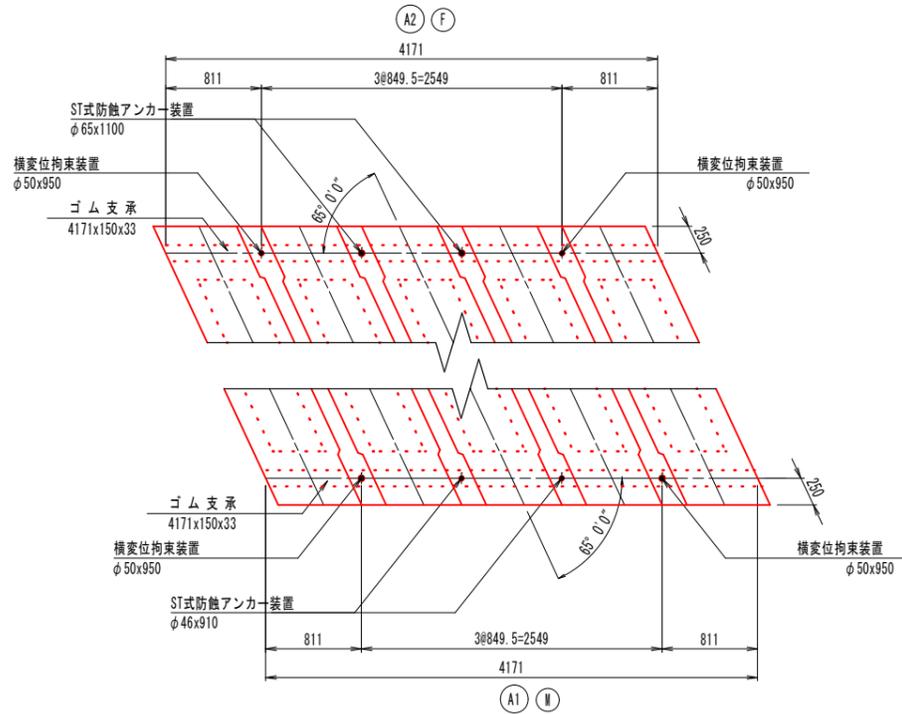
工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	防水工詳細図		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	8 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

支承詳細図

断面図 s = 1:30



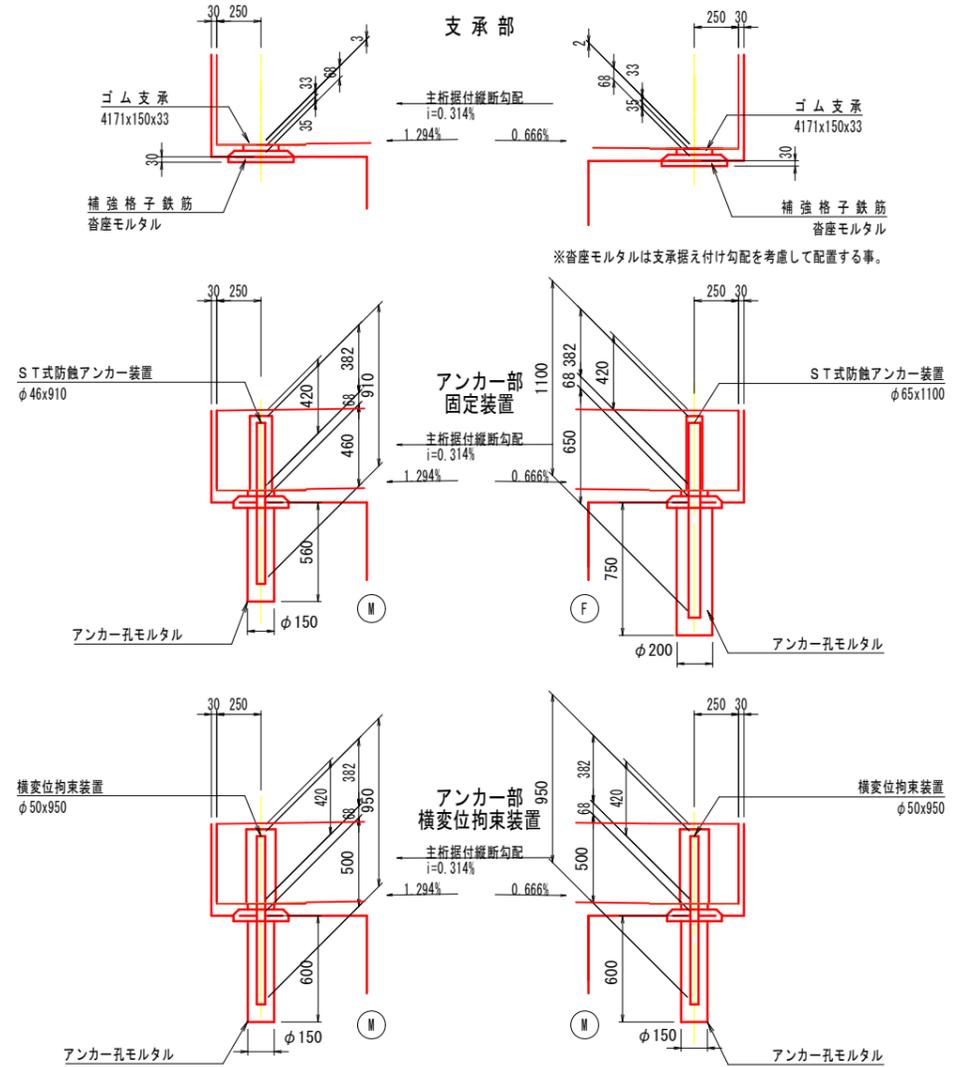
平面図 s = 1:30



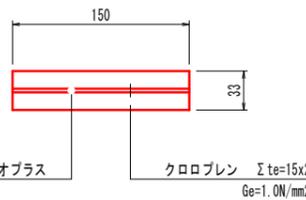
配置図 s = 1:50



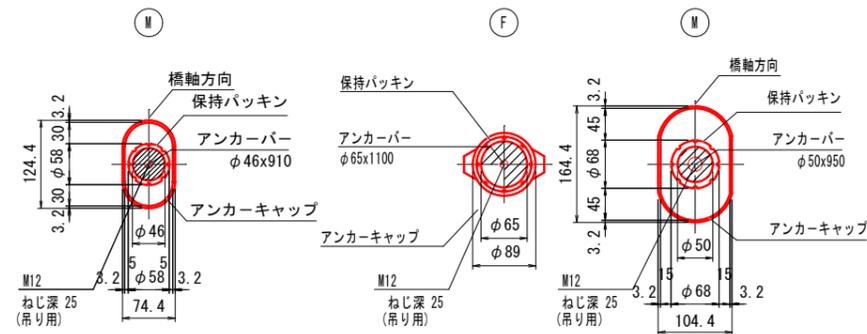
側面図 s = 1:20



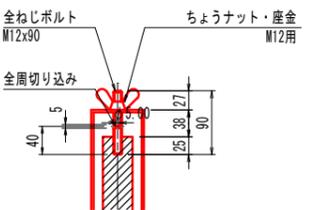
ゴム支承 s = 1:3



アンカーキャップ s = 1:5



位置決めボルト取付図



材料表

名称	寸法	材質	単位	数量			備考
				Mo	vi	合計	
ゴム支承	150x33	図示	m	4.171	4.171	8.342	STパッド
ST式防蝕アンカー装置	M46D	S35CN SS400 金成ゴム	組	2		2	ST-SGN12
"	F65D	S35CN ポリエチレン 金成ゴム	"		2	2	"
横変位拘束装置	M50D	S35CN SS400 金成ゴム	組	2	2	4	"
補強格子鉄筋	4250x250	SD345又はSD295	kg	26.32	26.32	52.64	D10x50x50
沓座モルタル		無収縮モルタル	m ³	0.085	0.085	0.170	
アンカー孔モルタル		無収縮モルタル	m ³	0.035	0.059	0.094	
アイボルト	M12用		本	4	4	8	防蝕アンカー施工用

※ 防蝕アンカーのアンカーバー本体は、ST-SGN12とする。
※ 道路橋支承便覧 平成30年12月版

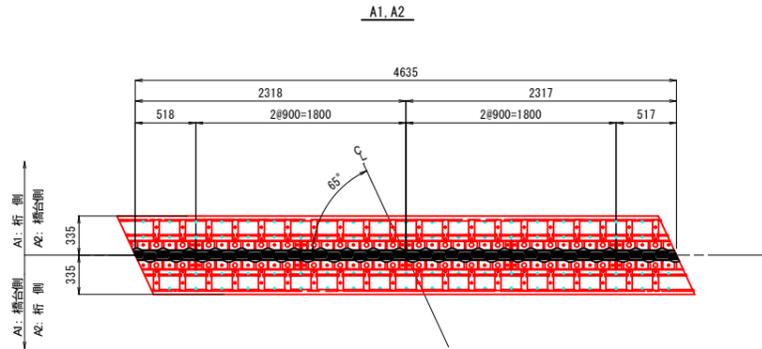
※ ボルト頭部に位置決め用の固定部材を設ける。

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋梁架設工事		
図面名	支承詳細図		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	9 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

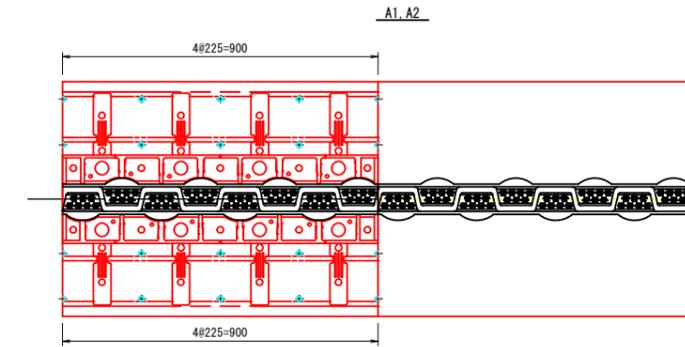
長善寺下橋 伸縮継手詳細図(その1)

A1, A2(車道部)

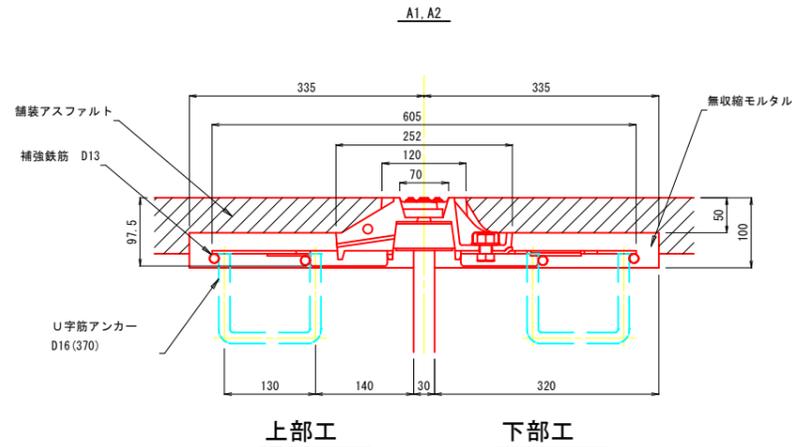
配置図 S=1:30



標準取付平面図 S=1:10



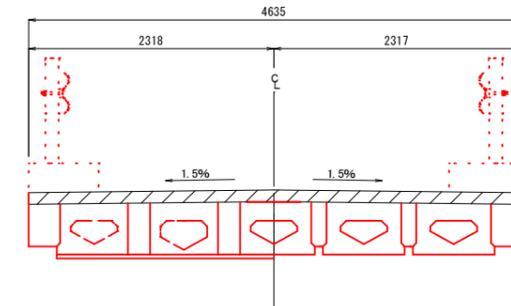
標準取付断面図 S=1:5



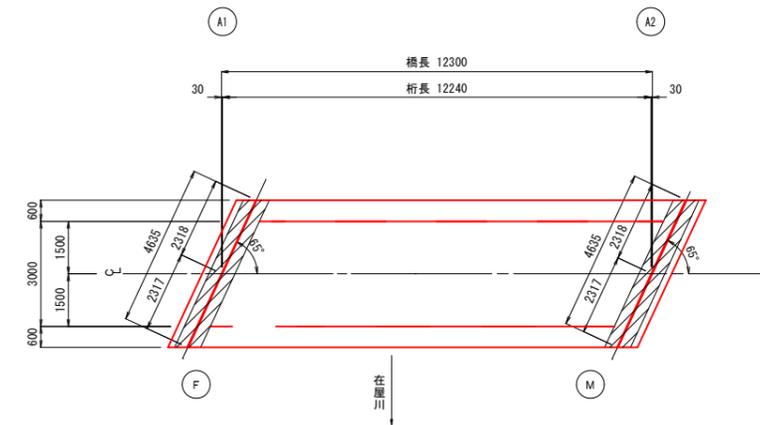
上部工

下部工

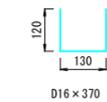
横断面 S=1:30



位置図 S=1:100



アンカー筋加工図 S=1:10



【指示事項】

※ 施工にあたっては、現場再測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。
表層材は無収縮モルタル硬化後に施工を行うこと。
伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。

伸縮装置集計表

品名	仕様・規格	単位	A1	A2	合計	備考
			車道用	車道用		
伸縮装置	HDJ-CV-R40同等以上	m	4.635	4.635	9.270	鋼鉄製・荷重支持型(別途副資材必要)
補強鉄筋	4-D13×4.64	kg	18.47	18.47	36.94	0.995kg/m
アンカー筋	D16×370	本	40	40	80	橋合部、桁部建設時に使用
無収縮モルタル	σ _{ck} =24N/mm ² 以上	m ³	0.148	0.148	0.296	
アスファルト		m ²	0.134	0.134	0.268	

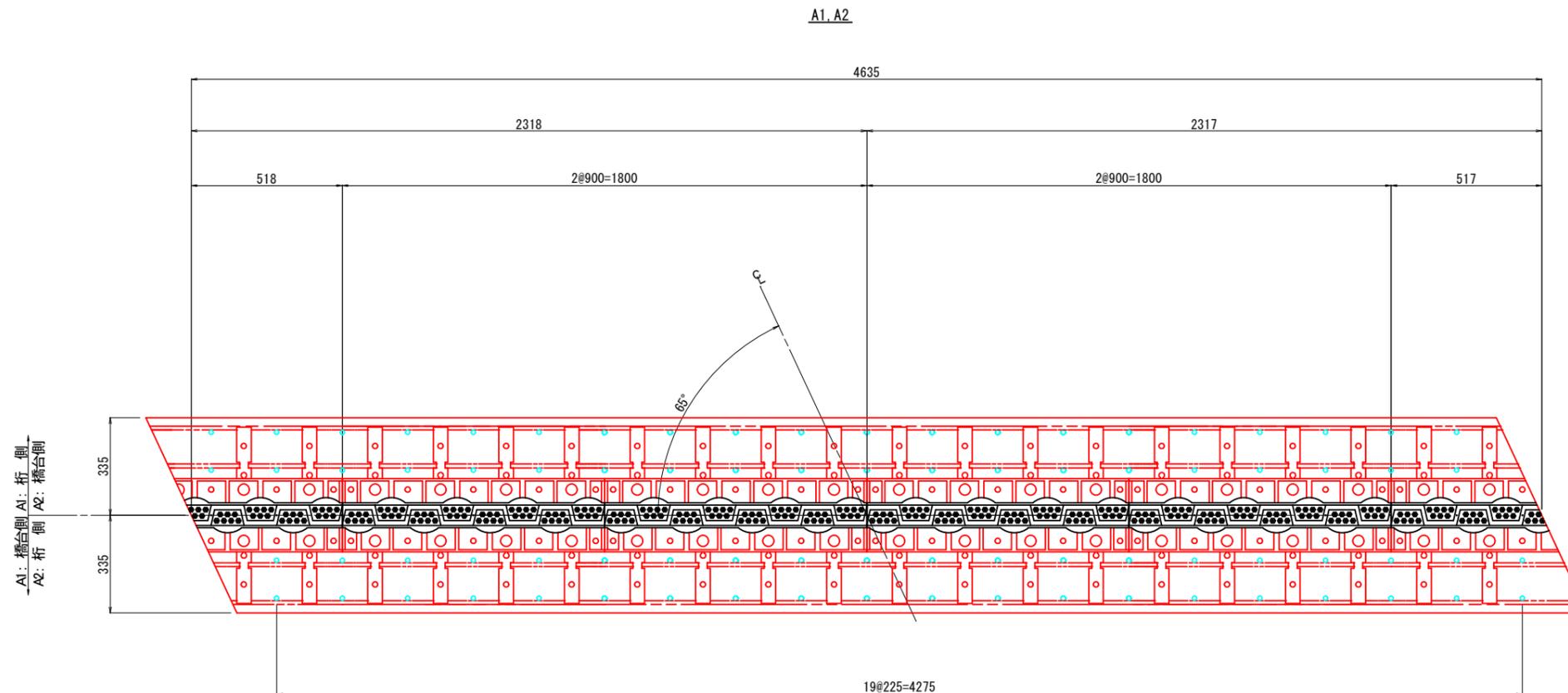
型式	規格	単位	A1	A2	合計	備考
			車道用	車道用		
HDJ-CV-R20同等以上	定尺(L=900)	本	4	4	8	鋼鉄製・荷重支持型
	端部	m	2	2	4	

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	伸縮継手詳細図(その1)		
作成年月日	令和8年1月		
縮尺	図示	図面番号	10 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

長善寺下橋 伸縮継手詳細図(その2)

A1, A2(車道部)

アンカー配置図 S=1:10

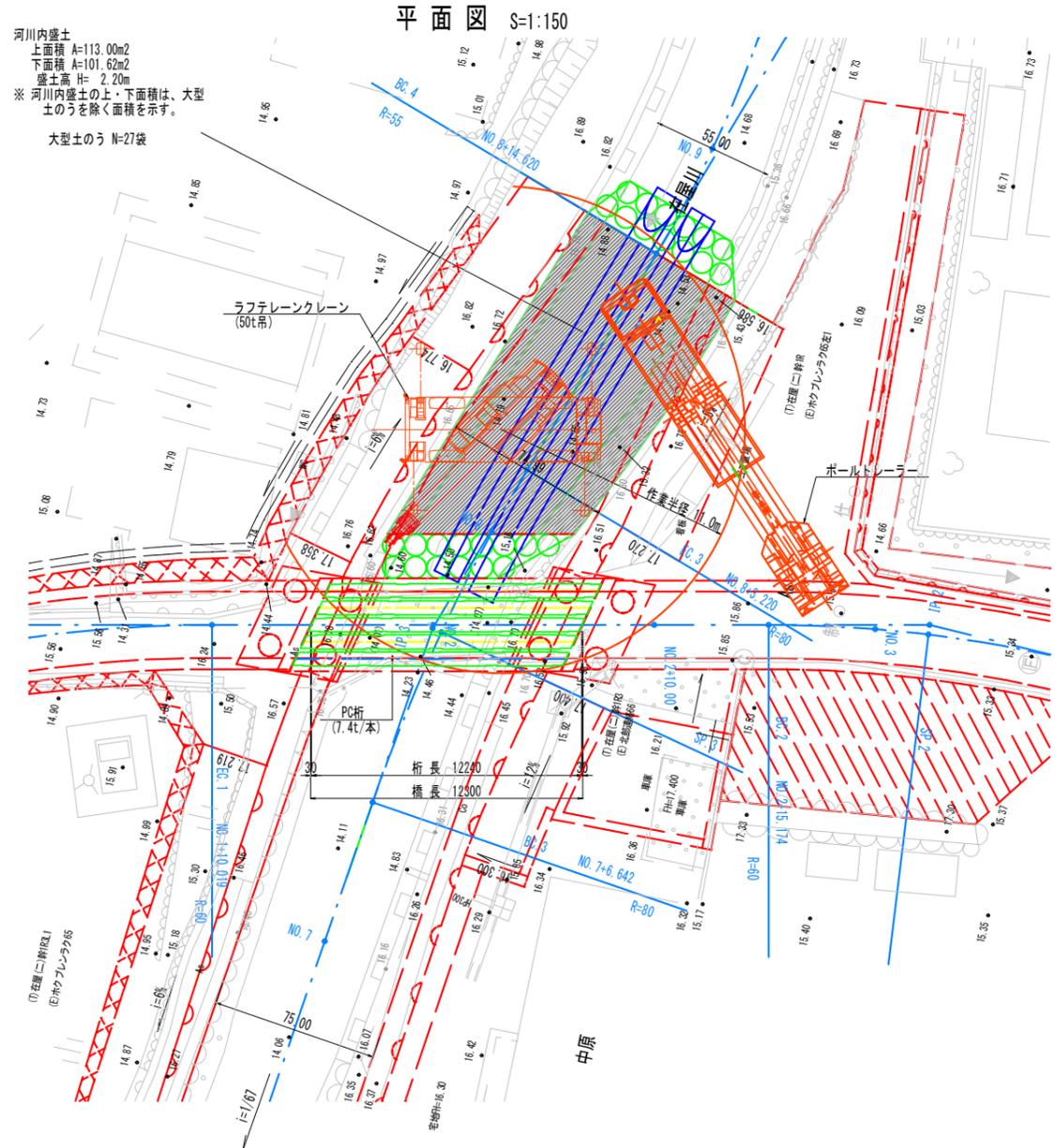
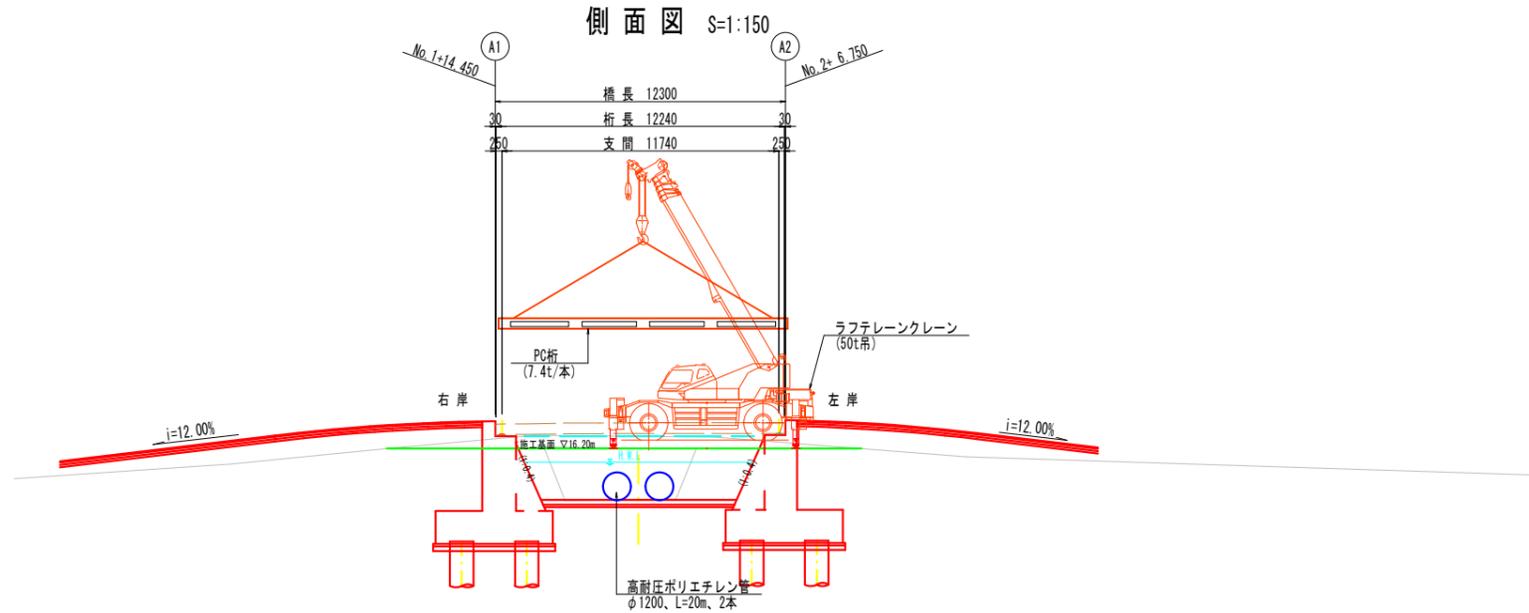


【指示事項】

※ 施工にあたっては、現場再測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。
表層材は無収縮モルタル硬化後に施工を行うこと。
伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	伸縮継手詳細図(その2)		
作成年月日	令和8年1月		
縮尺	図示	図面番号	11 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

架設要領図(参考図)



河川内盛土
 上面積 A=113.00m²
 下面積 A=101.62m²
 盛土高 H= 2.20m
 ※ 河川内盛土の上・下面積は、大型土のうを除く面積を示す。
 大型土のう N=27袋

トラッククレーン能力表 (t)

作業半径	ブーム長	9.6m	16.5m	23.3m	30.2m
10.0m	—	—	10.95	11.75	10.00
11.0m	—	—	9.00	9.95	9.10
12.0m	—	—	7.50	8.40	8.40
13.0m	—	—	6.35	7.15	7.60

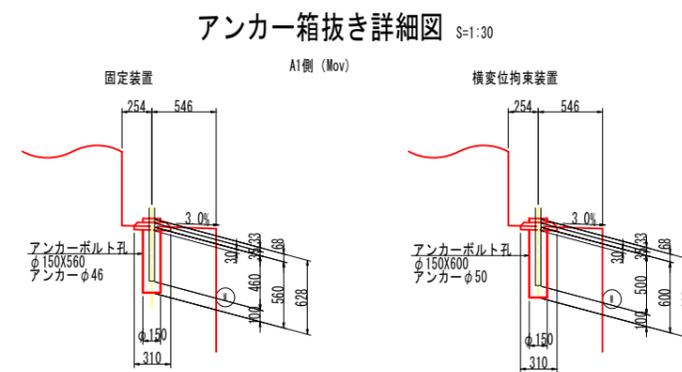
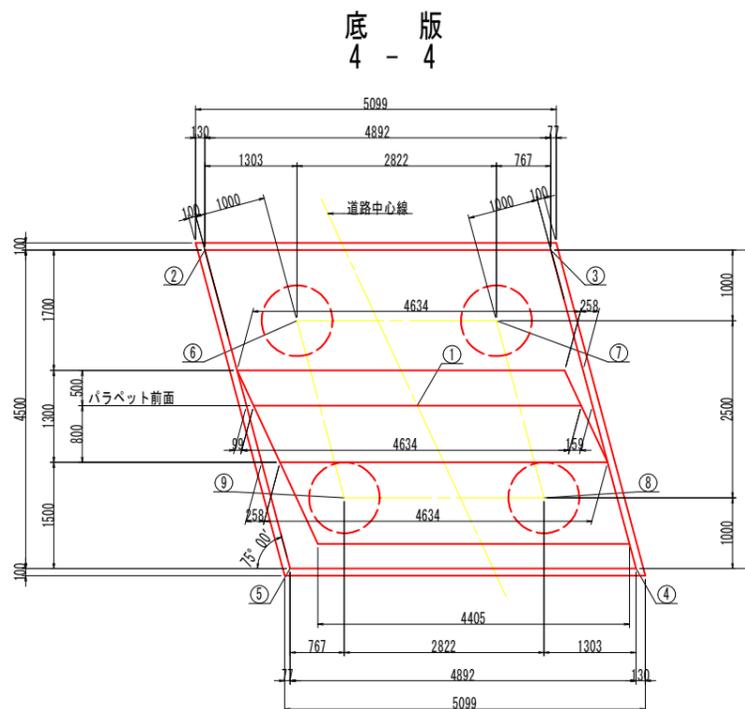
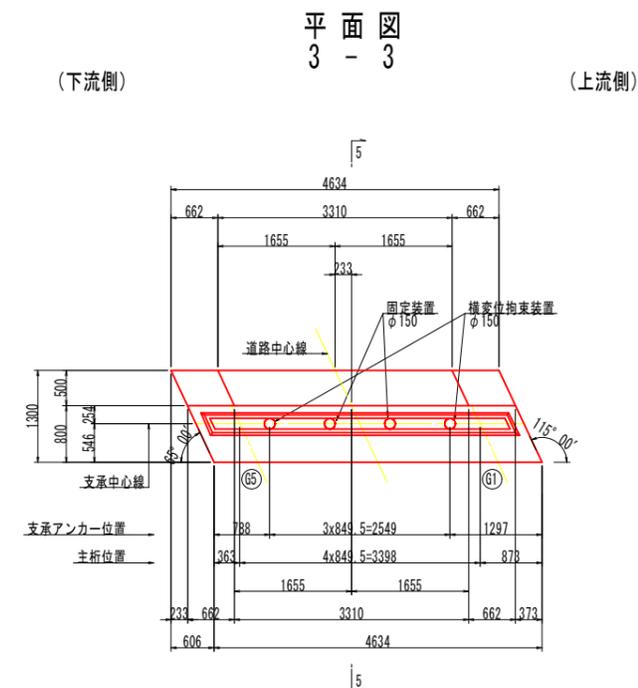
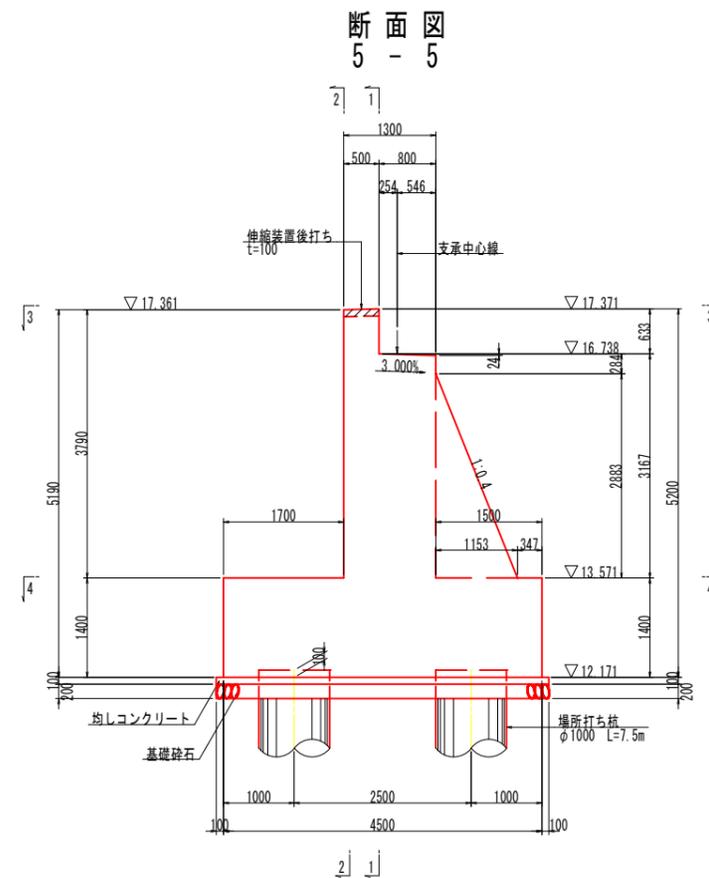
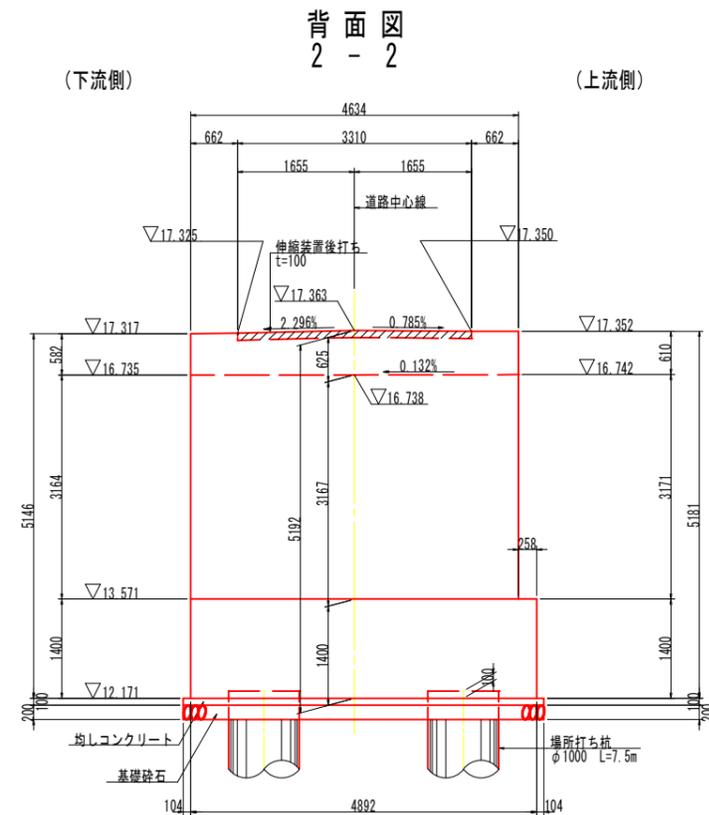
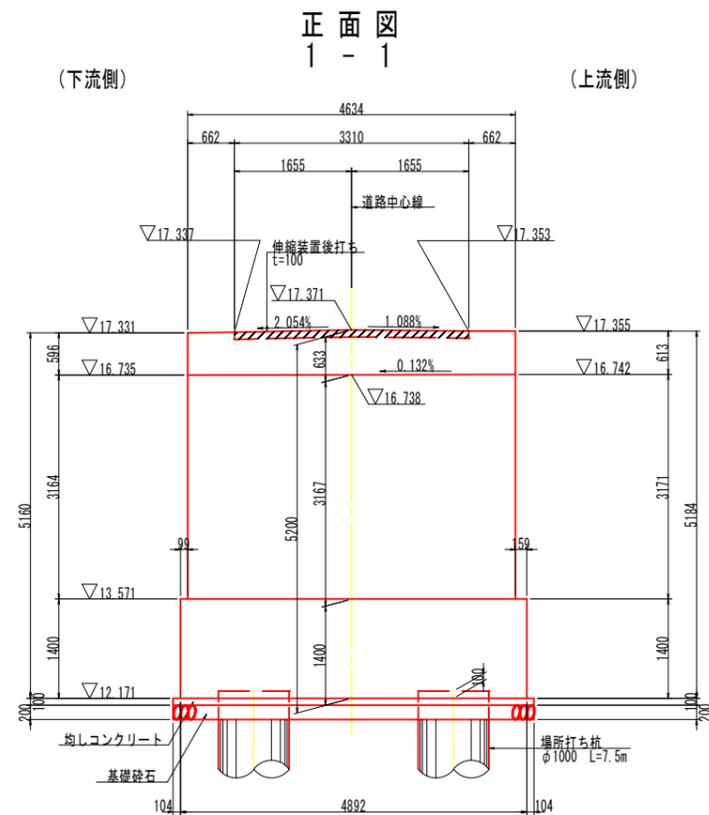
アウトリガ:7.0m張出時
 フック重量:0.56t

架設要領

1. 下部工及び護岸工事完了後、架設に必要なヤードを残して仮設盛土を成形する。
2. 仮排水管(高耐圧ポリエチレン管φ1200-2本)を仮設盛土の成形に合わせ、管の延長を調整する。
3. 施工ヤード内にラフテレーンクレーン(50t吊)を据付ける。
4. 工場にて製作したPC桁をボルトトレーラーにて運搬する。
5. 搬入されたPC桁をラフテレーンクレーン(50t吊)にて吊り上げ所定の位置に据付ける。
6. 4~5の作業を繰返し主桁の架設を完了する。
7. 主桁の架設完了後に仮設ヤードを撤去する。
8. 河川内にゴミや建設副産物(コンクリート段等)を全て撤去する。

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	架設要領図(参考図)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	12 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

A1橋台構造図 S=1:50



下部工座標

	X	Y		X	Y
①	-180518.8358	65898.9276	⑥	-180520.3824	65900.3228
②	-180521.6458	65901.3728	⑦	-180519.7588	65897.5711
③	-180520.5645	65896.6017	⑧	-180517.1726	65897.4703
④	-180515.9093	65896.4204	⑨	-180517.7962	65900.2221
⑤	-180516.9906	65901.1914			

構造高表 (m)

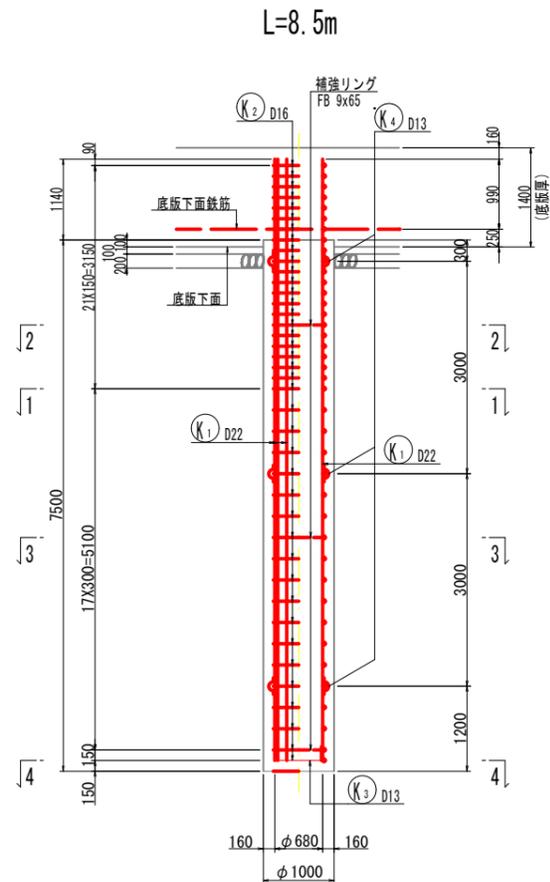
	S1		
	G1	CL	G5
路面高	17.355	17.373	17.342
舗装厚	0.100	0.121	0.092
桁天端高	17.254	17.252	17.250
桁高	0.450	0.450	0.450
シアー厚	0.003	0.003	0.003
支保厚	0.033	0.033	0.033
モルタル厚	0.035	0.035	0.035
橋座高	16.733	16.731	16.729

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋架設工事		
図面名	A1橋台構造図		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	13 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

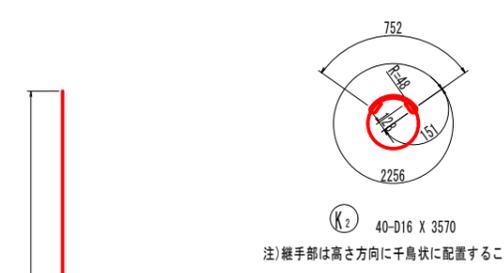
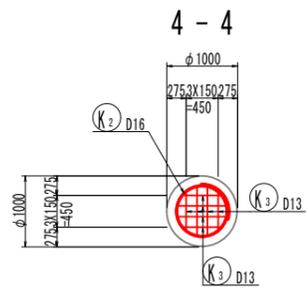
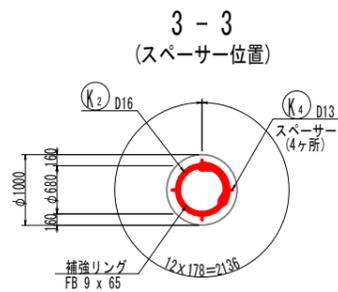
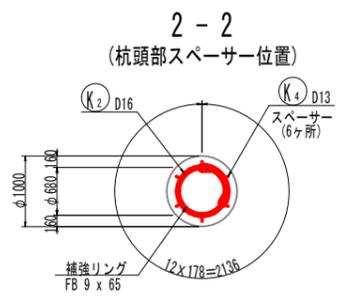
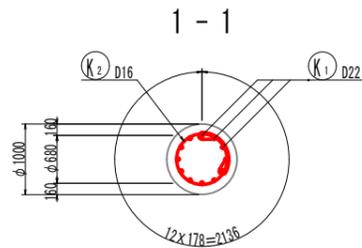
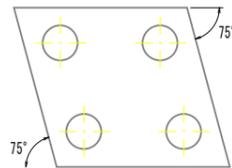
A1橋台場所打ち杭配筋図

S=1:50

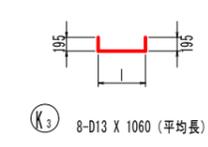
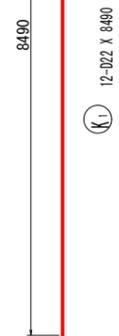
注) 鉄筋の組立てにおいては、組立て上の形状保持などの溶接を行ってはならない。



杭配置図 S=1:100

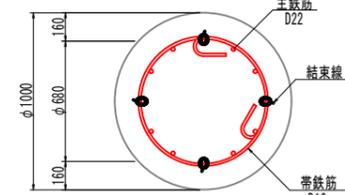


注) 継手部は高さ方向に千鳥状に配置すること。



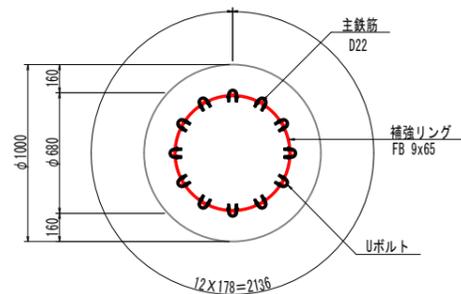
番号	本数	l	L
1	4	588	978
2	4	741	1131
平均長	8		1055

主鉄筋, 帯鉄筋結束参考図 S=1:20



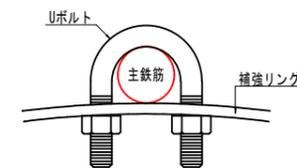
注) 主鉄筋と帯鉄筋の交点は、主鉄筋3~4本おき程度に結束線等で固定する。

補強リング固定金具配置図 S=1:20



注) 主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定する。

固定金具参考図 S=1:2



注) 1. 固定金具は、Uボルト又は同等品とする。
2. 主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定する。

鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要	
K 1	D22	8490	12	3.04	25.81	310	!	
K 2	D16	3570	40	1.56	5.57	223	o	
K 3	D13	1060	8	0.995	1.05	8	└ (平均長)	
K 4	D13	300	14	0.995	0.30	4	└	
							545	
				杭1本当り		1基当り		
合計				D22	310 kg x 4本	= 1240 kg		
				D16	223 kg x 4本	= 892 kg		
				D13	12 kg x 4本	= 48 kg		
総質量				545 kg x 4本	= 2180 kg			

補強リング, 固定金具 (杭1本当り)

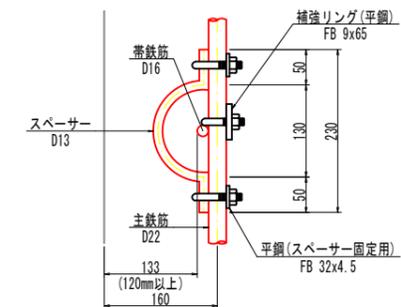
種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
FB 9 x 65	2136	3	4.59	9.80	29	補強リング
Uボルト D22用	-	36	-	-	-	主鉄筋と補強リングの固定

スペーサー固定金具 (杭1本当り)

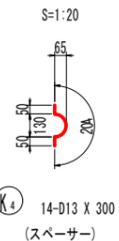
種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
Uボルト D22用	-	28	-	-	-	スペーサーと主鉄筋の固定
FB 32 x 4.5	80	28	1.13	0.09	3	Uボルト固定用

※Uボルト規格 D22用, SS400, 変形時荷重30kN以上 「場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法 設計・施工に関するガイドライン」に準拠する。

かぶり詳細図 S=1:5



注) スペーサーは1断面当りの個数を杭頭部のみ6箇所とし、その他の設置部では4箇所を固定する。
1差箇所につき、上下1ヶ所ずつ金具で固定



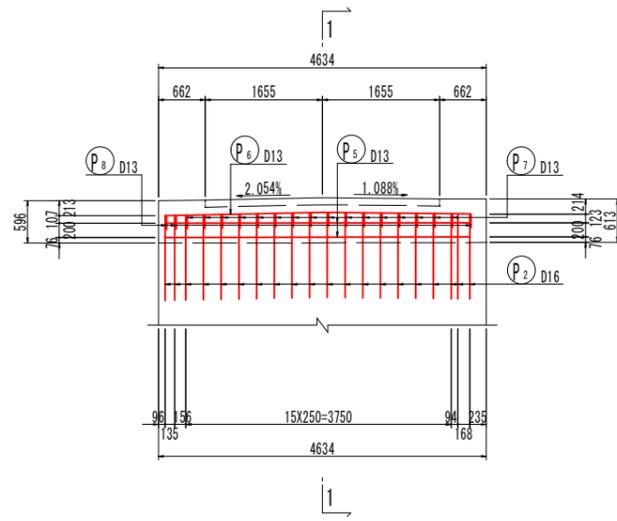
基礎工設計条件

項目	仕様	
基礎工コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{ck}=24N/mm^2$	
設計基準強度	(呼び強度 $\sigma_{ck}=30N/mm^2$)	
基礎工鉄筋種類	SD345	
鉄筋定着長	杭頭	45・φ
	杭体内	41.67・φ
鉄筋最大定尺長	12m	

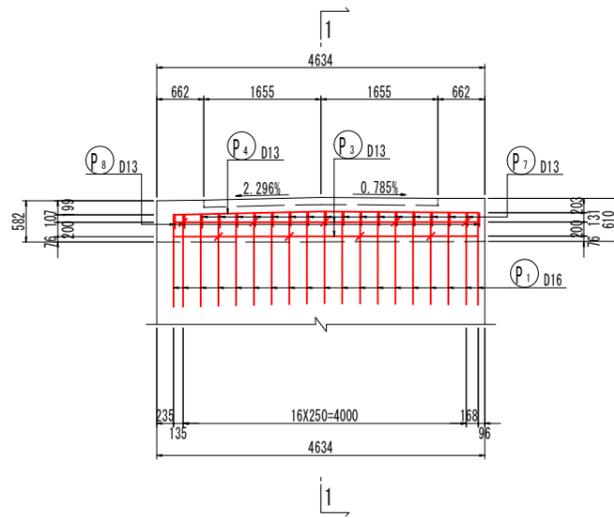
工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	A1橋台場所打ち杭配筋図		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	14 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

A1橋台配筋図 (その1) S=1:50

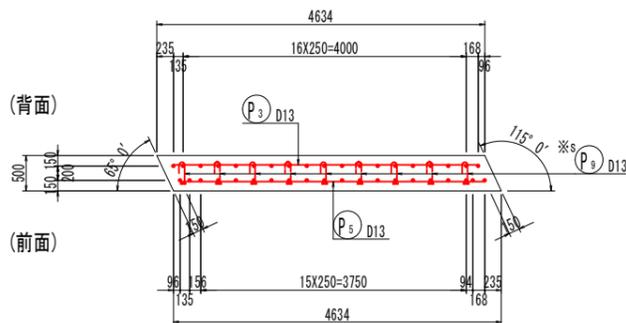
2 - 2 (前面)



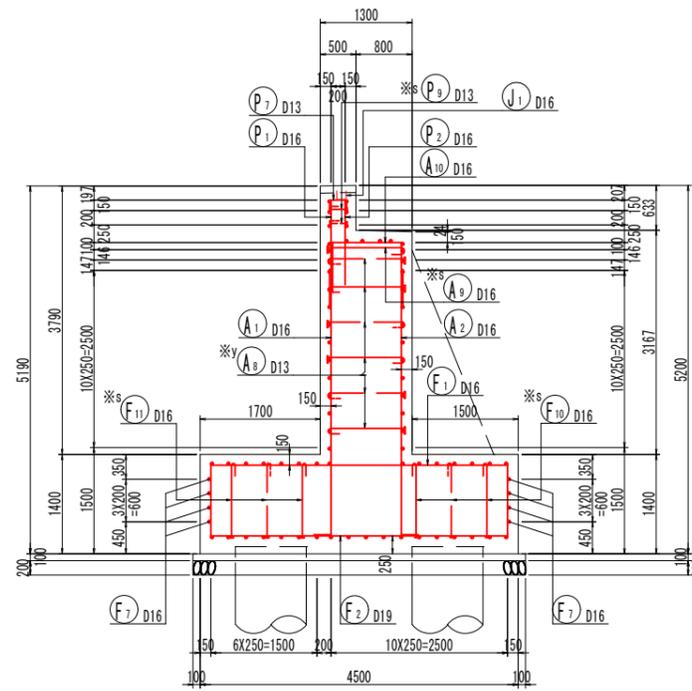
3 - 3 (背面)



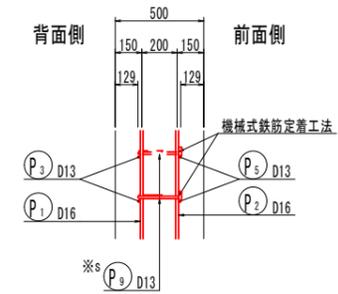
4 - 4



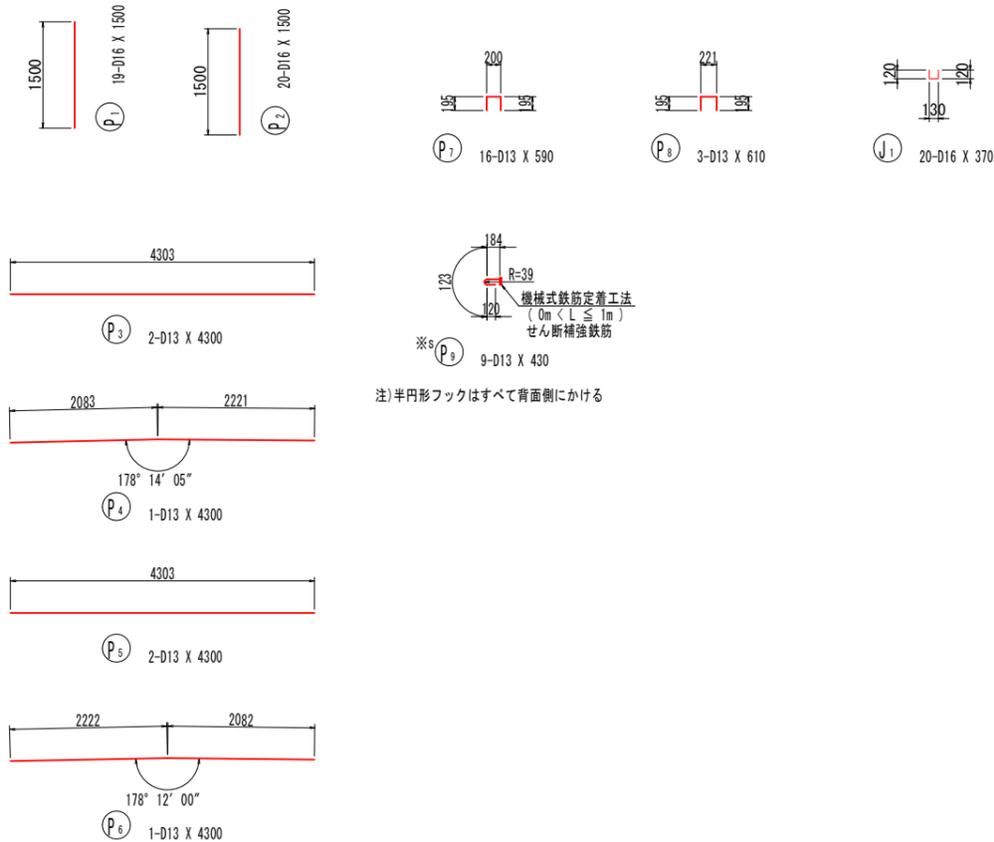
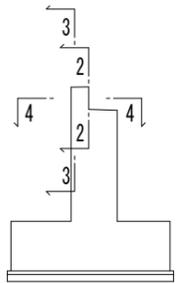
1 - 1



パラペット詳細図 S=1:20



位置図



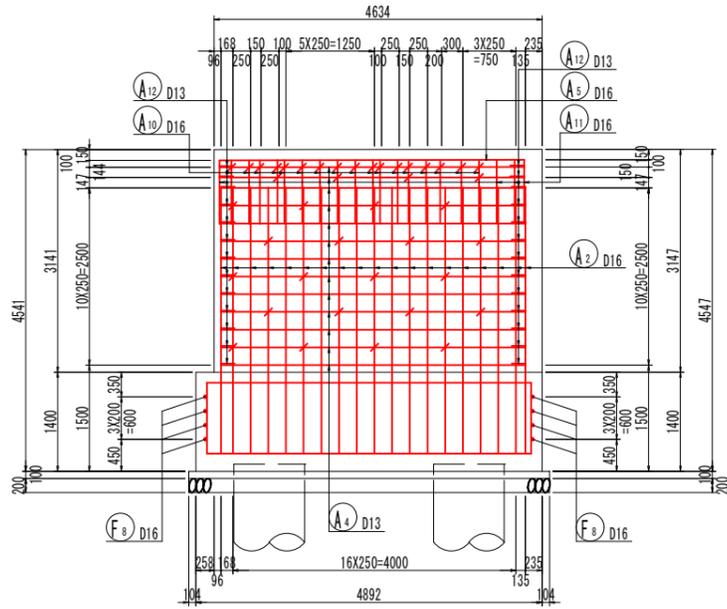
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すが、適用にあたっては下記の基準等を満足すること。
 1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
 2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
 なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: せん断補強鉄筋 ※y: 横構束鉄筋

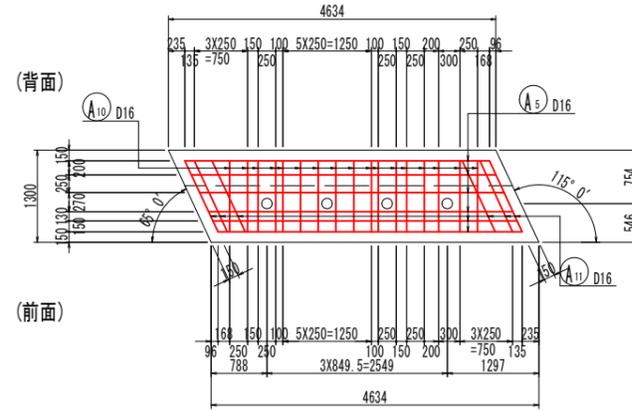
工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	A1橋台配筋図 (その1)		
作成年月日	令和 0 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	15 / 25
会社名	竹原市		
事業者名	竹原市		

A1橋台配筋図 (その2) S=1:50

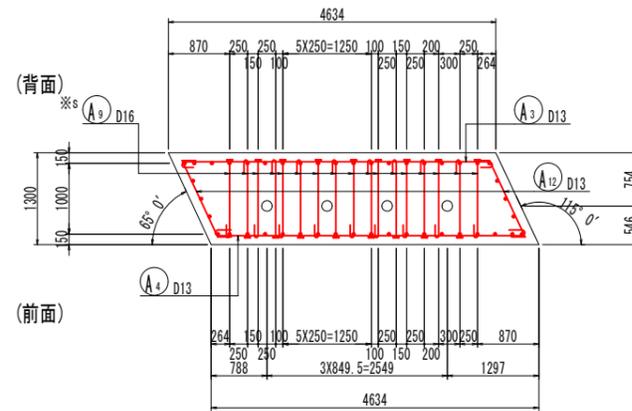
5 - 5 (前面)



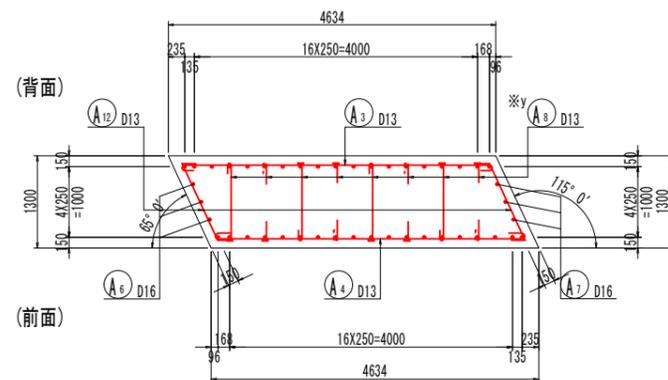
7 - 7



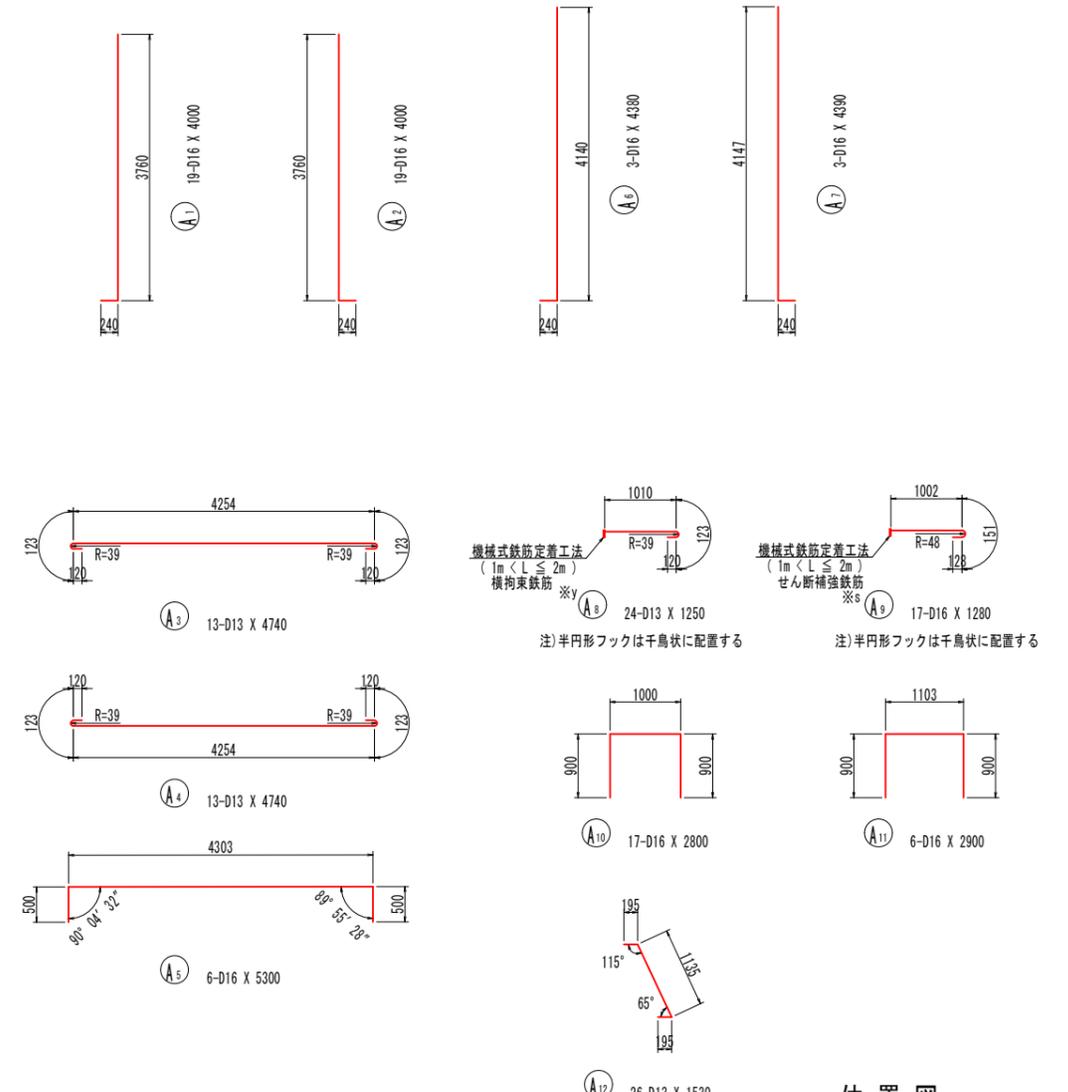
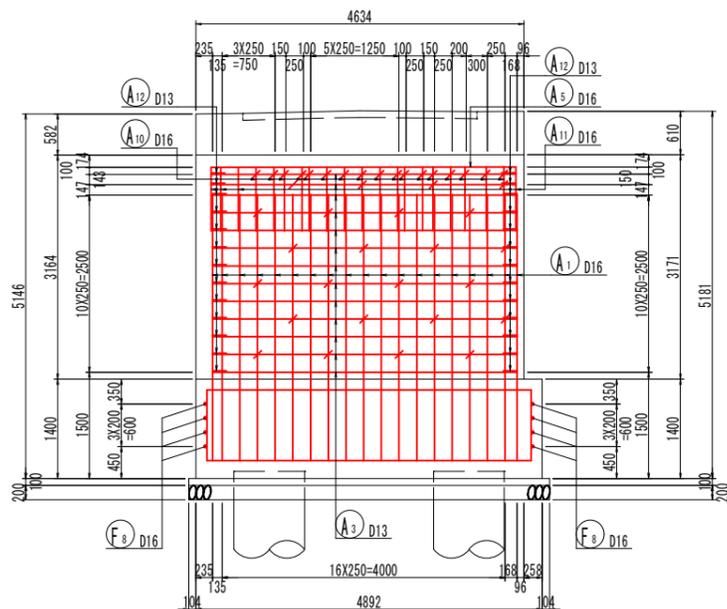
8 - 8



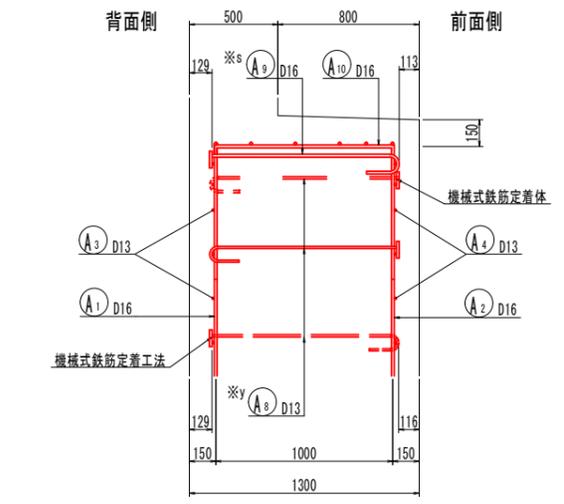
9 - 9



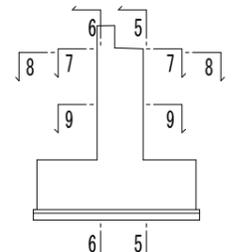
6 - 6 (背面)



たて壁詳細図 S=1:20



位置図



注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すが、適用にあたっては下記の基準等を満足すること。
 1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
 2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

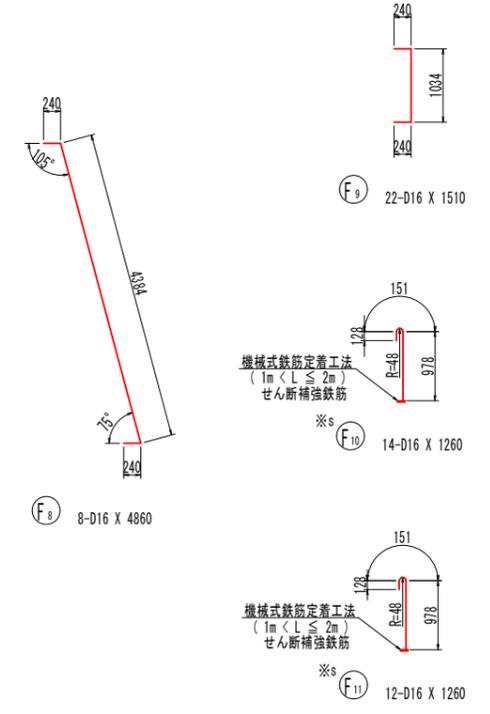
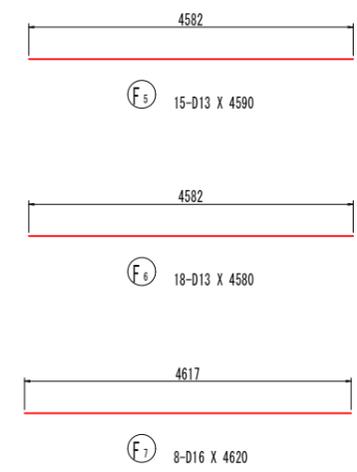
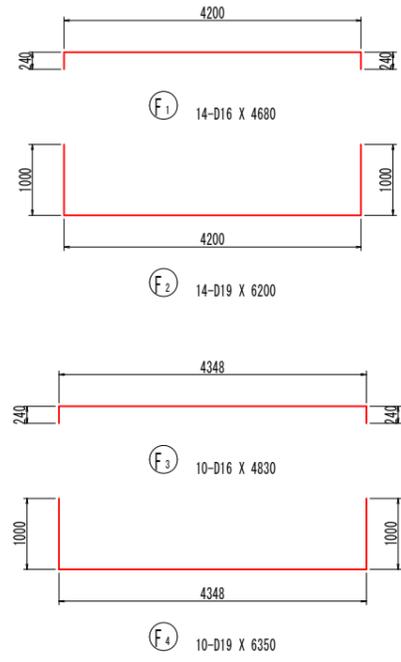
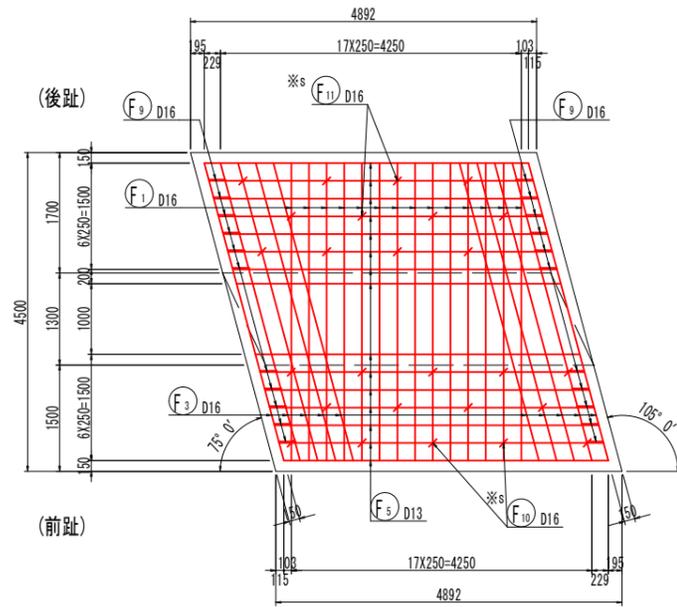
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: セン断補強鉄筋 ※y: 横拘束鉄筋

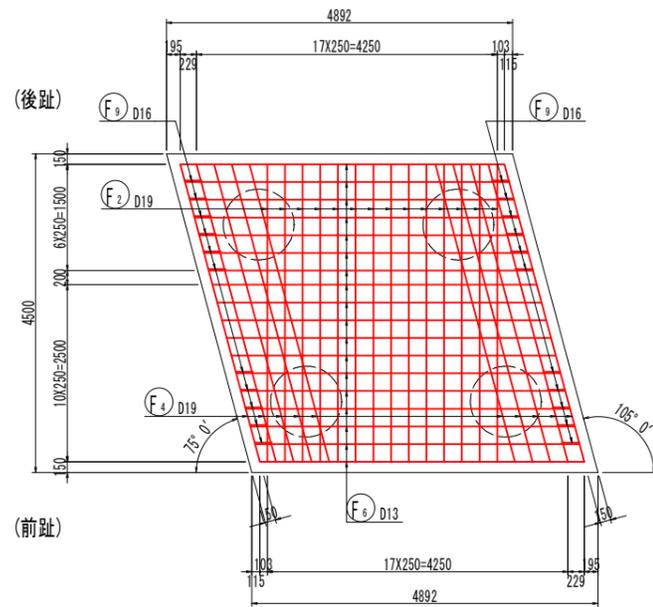
工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	A1橋台配筋図 (その2)		
作成年月日	令和8年1月		
縮尺	図示	図面番号	16 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

A1橋台配筋図 (その3) S=1:50

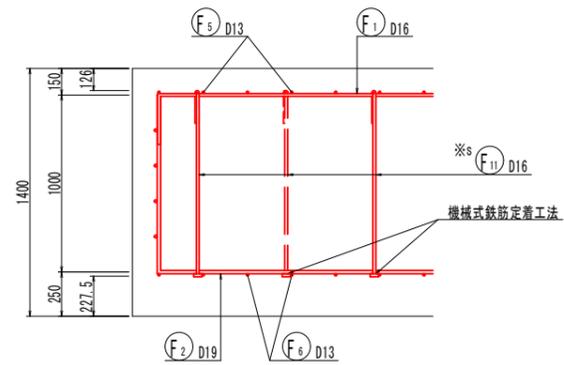
10 - 10 (上面)



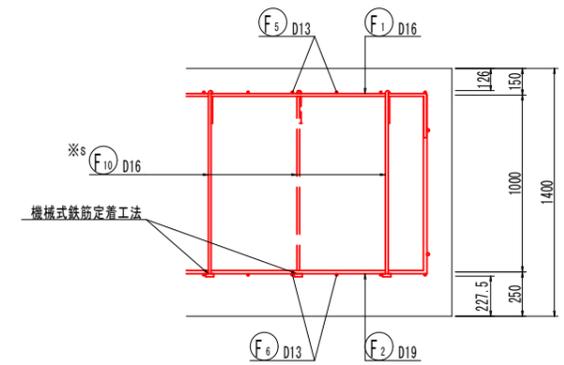
11 - 11 (下面)



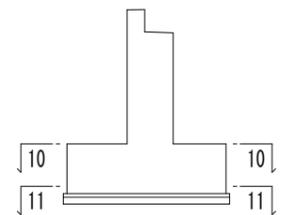
後フーチング詳細図 S=1:20



前フーチング詳細図 S=1:20



位置図



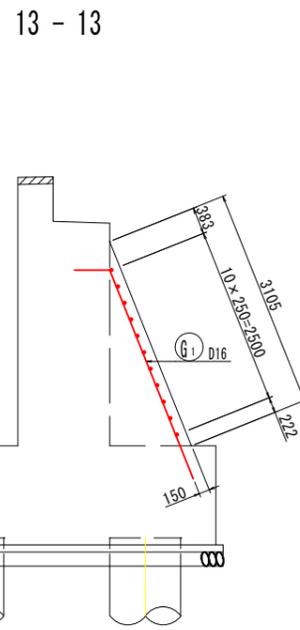
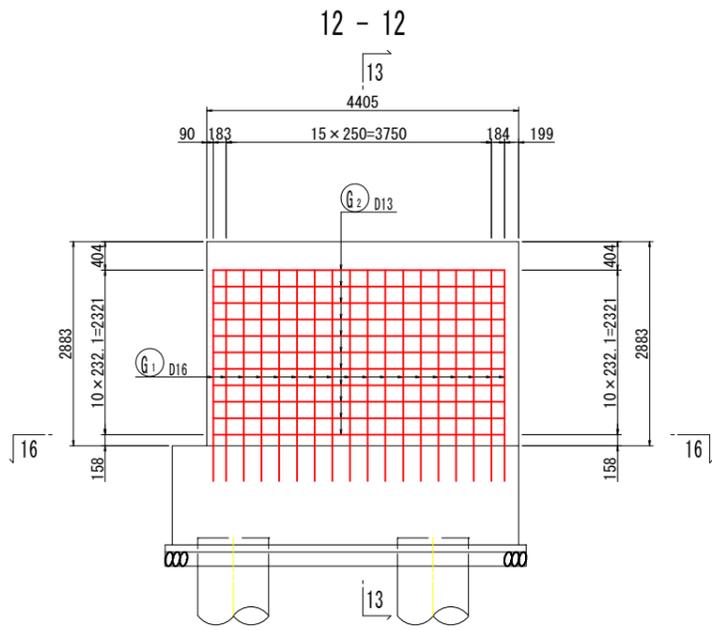
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すが、適用にあたっては下記の基準等を満足すること。
 1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
 2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

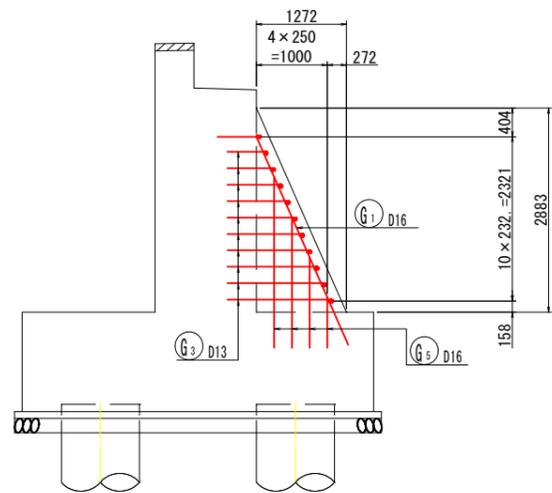
※s: せん断補強鉄筋 ※y: 横拘束鉄筋

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋梁架設工事		
図面名	A1橋台配筋図 (その3)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	17 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

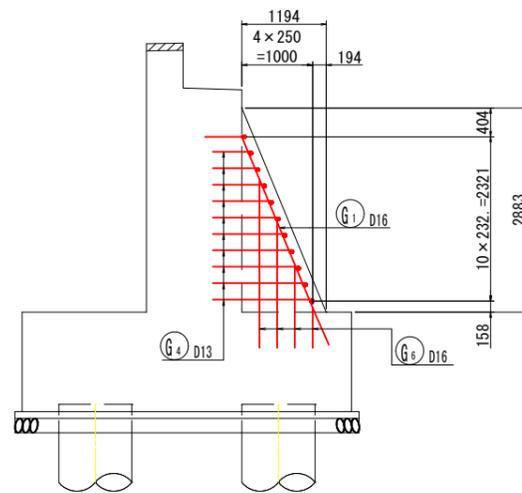
A1橋台配筋図 (その4) S=1:50



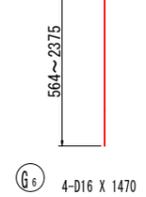
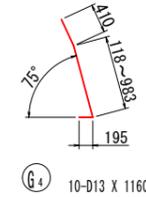
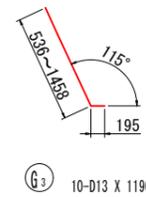
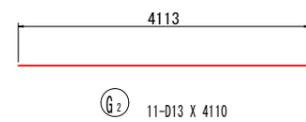
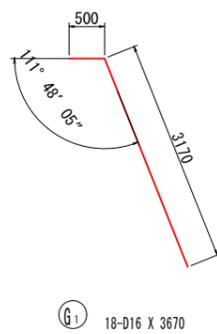
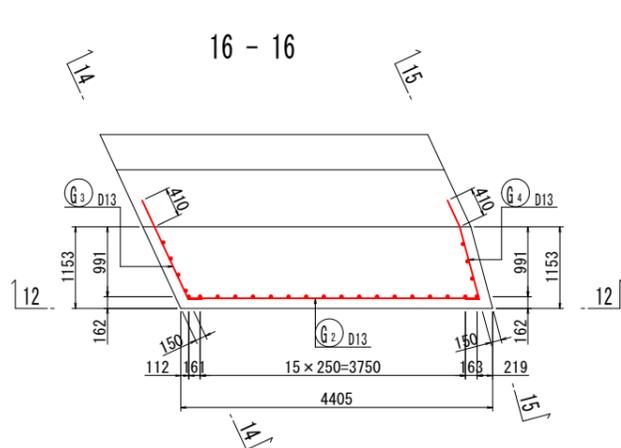
14 - 14



15 - 15



16 - 16



鉄筋質量表 (SD345)

(下部工施工)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
P 1	D16	1300	19	1.56	2.03	39	
P 2	D16	1200	20	1.56	1.87	37	
P 3	D13	4310	2	0.995	4.29	9	—
P 4	D13	4310	1	0.995	4.29	4	—
P 5	D13	4310	2	0.995	4.29	9	—
P 6	D13	4310	1	0.995	4.29	4	—
P 7	D13	590	16	0.995	0.59	9	⌋
P 8	D13	620	3	0.995	0.62	2	⌋
P 9	D13	430	9	0.995	0.43	4	⌋ <※s>
117							
A 1	D16	4000	19	1.56	6.24	119	
A 2	D16	4000	19	1.56	6.24	119	
A 3	D13	4740	13	0.995	4.72	61	—
A 4	D13	4740	13	0.995	4.72	61	—
A 5	D16	5310	6	1.56	8.28	50	—
A 6	D16	4380	3	1.56	6.83	20	
A 7	D16	4390	3	1.56	6.85	21	
A 8	D13	1260	24	0.995	1.25	30	⌋ <※y>
A 9	D16	1290	17	1.56	2.01	34	⌋ <※s>
A 10	D16	2800	17	1.56	4.37	74	⌋
A 11	D16	2910	6	1.56	4.54	27	⌋
A 12	D13	1530	26	0.995	1.52	40	⌋
656							
F 1	D16	4680	14	1.56	7.30	102	—
F 2	D19	6200	14	2.25	13.95	195	—
F 3	D16	4830	10	1.56	7.53	75	—
F 4	D19	6350	10	2.25	14.29	143	—
F 5	D13	4590	15	0.995	4.57	69	—
F 6	D13	4590	18	0.995	4.57	82	—
F 7	D16	4620	8	1.56	7.21	58	—
F 8	D16	4870	8	1.56	7.60	61	—
F 9	D16	1520	22	1.56	2.37	52	—
F 10	D16	1260	14	1.56	1.97	28	⌋ <※s>
F 11	D16	1260	12	1.56	1.97	24	⌋ <※s>
889							
G 1	D16	3670	18	1.56	5.73	103	—
G 2	D13	4110	11	0.995	4.09	45	—
G 3	D13	1190	10	0.995	1.18	12	—
G 4	D13	1160	10	0.995	1.15	12	—
G 5	D16	1560	4	1.56	2.43	10	—
G 6	D16	1470	4	1.56	2.29	9	—
191							
<機械式鉄筋定着工法>							
合計 D19				338 kg			
D16				1062 kg	< 43>		
D13				453 kg	< 33>		
総質量				1853 kg	< 76>		

機械式鉄筋定着工法数量表

せん断補強筋

鉄筋径	箇所数					
	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D13	9	—	—	—	—	—
D16	—	43	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
D22	—	—	—	—	—	—
D25	—	—	—	—	—	—
D29	—	—	—	—	—	—
D32	—	—	—	—	—	—
小計	9	43	—	—	—	—
合計						52

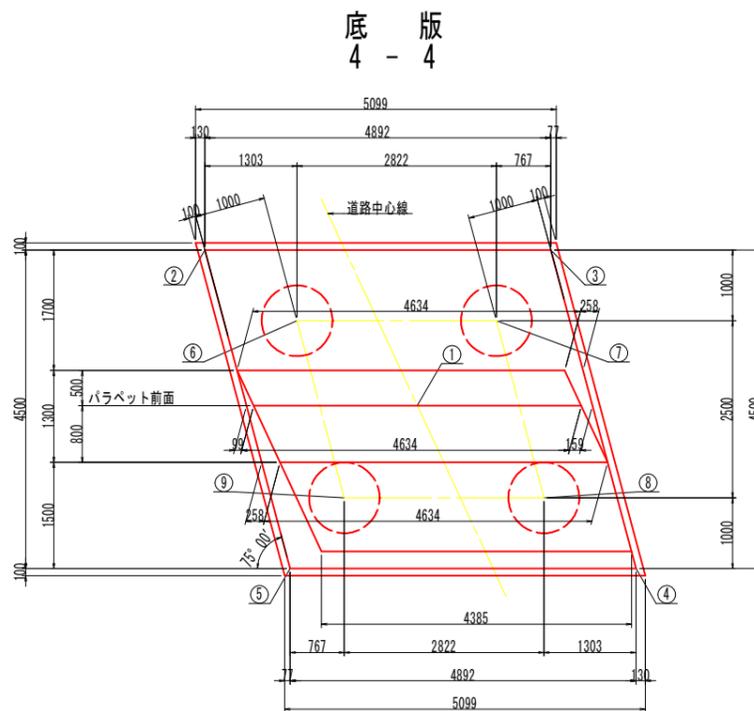
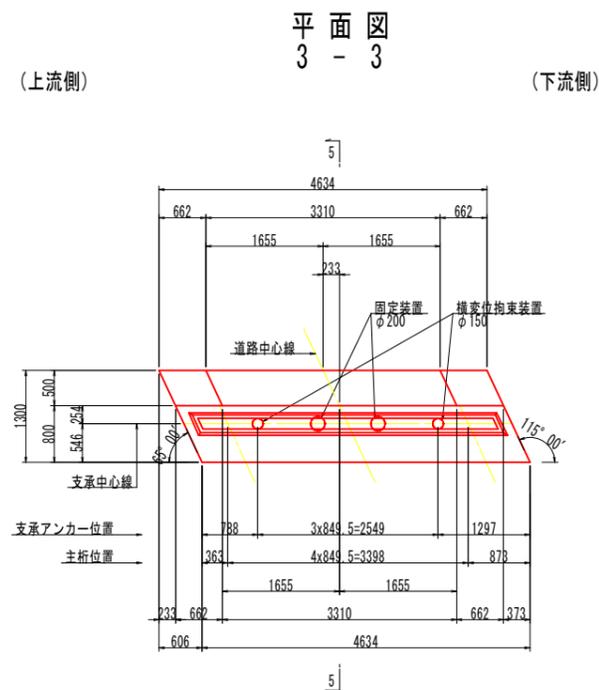
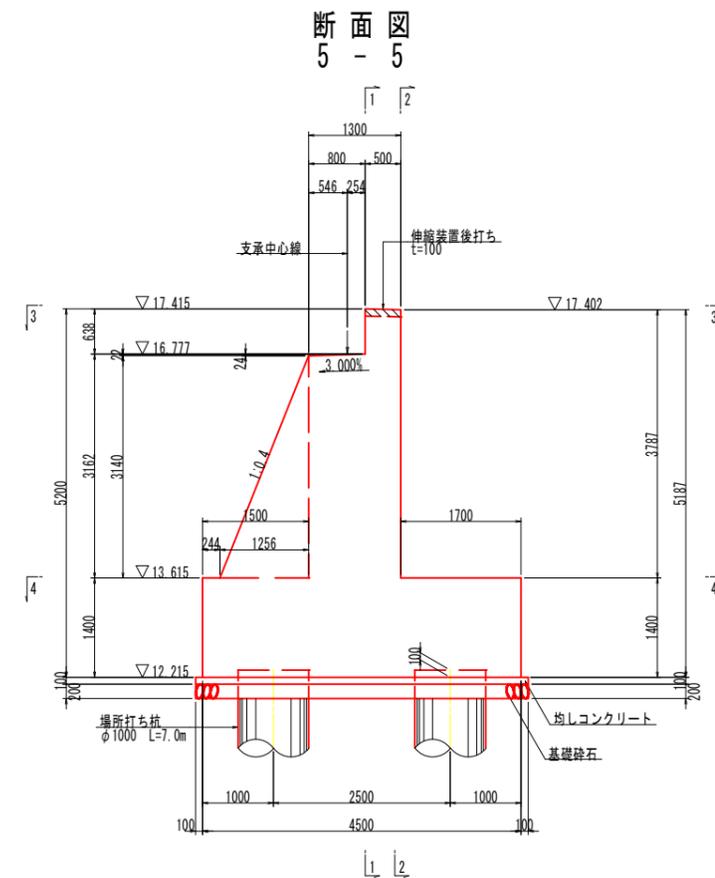
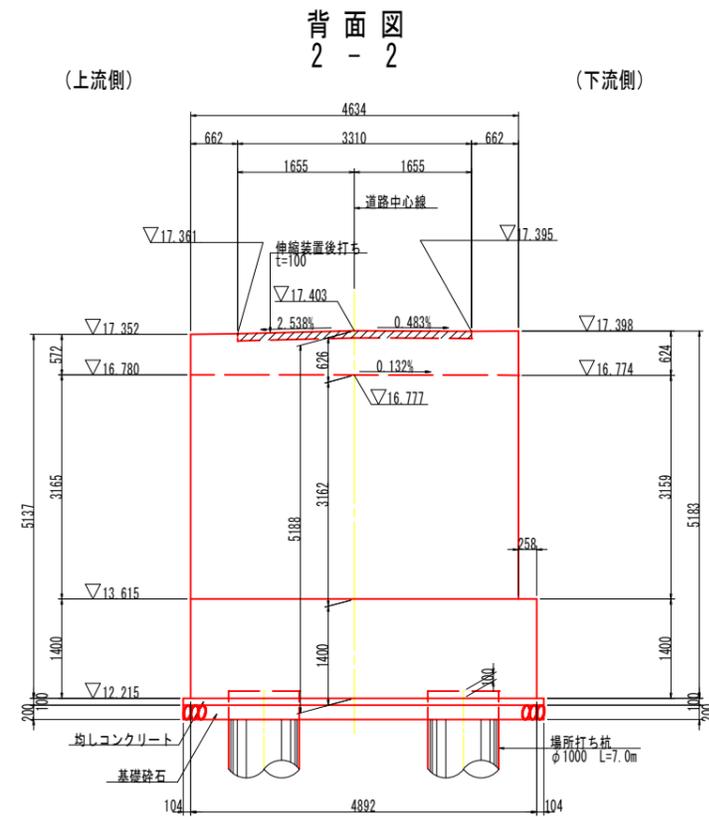
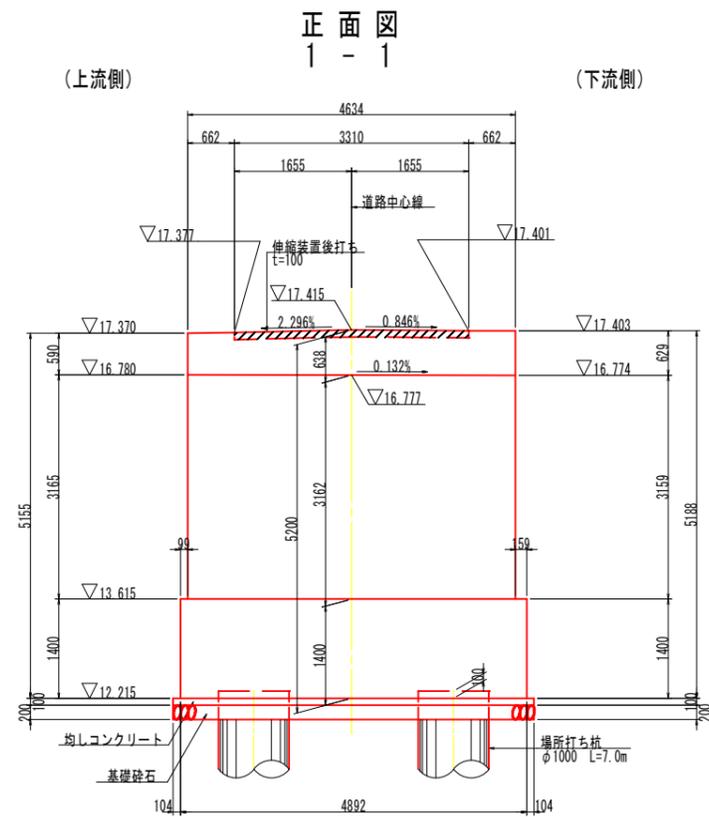
横拘束鉄筋

鉄筋径	箇所数					
	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D13	—	24	—	—	—	—
D16	—	—	—	—	—	—
D19	—	—	—	—	—	—
D22	—	—	—	—	—	—
D25	—	—	—	—	—	—
D29	—	—	—	—	—	—
小計	—	24	—	—	—	—
合計						24

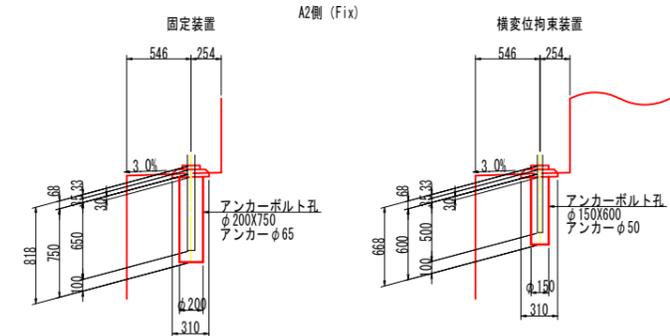
* 建設物価版の加工費 (Head-bar工法、Tヘッド工法)の単価に応じて数量を集計する

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	A1橋台配筋図 (その4)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	18 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

A2橋台構造図 S=1:50



アンカー箱抜き詳細図 S=1:30



下部工座標

	X	Y		X	Y
①	-180506.8150	65896.3219	⑥	-180505.2684	65894.9267
②	-180504.0051	65893.8767	⑦	-180505.8920	65897.6784
③	-180505.0863	65898.6478	⑧	-180508.4782	65897.7791
④	-180509.7415	65898.8291	⑨	-180507.8546	65895.0274
⑤	-180508.6603	65894.0580			

構造高表

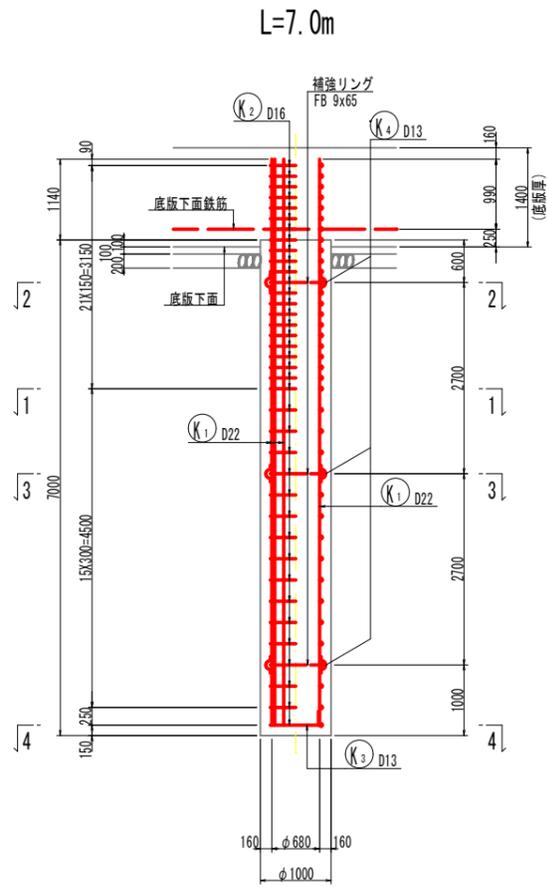
	S2 (m)		
	G1	CL	G5
路面高	17.384	17.419	17.403
舗装厚	0.092	0.130	0.116
桁天端高	17.292	17.289	17.287
桁高	0.450	0.450	0.450
シアー厚	0.002	0.002	0.002
支承厚	0.033	0.033	0.033
モルタル厚	0.035	0.035	0.035
橋座高	16.772	16.769	16.767

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋梁架設工事		
図面名	A2橋台構造図		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	19 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

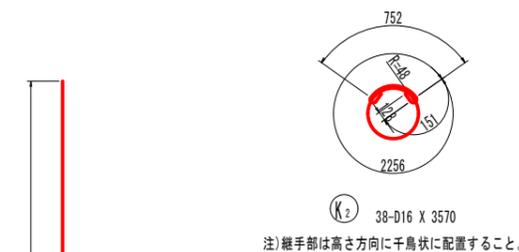
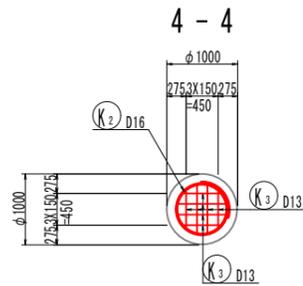
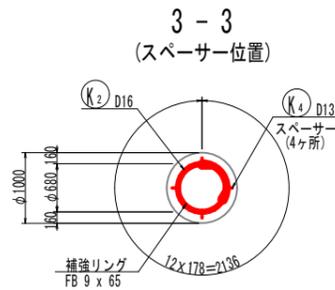
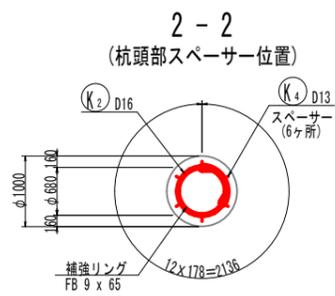
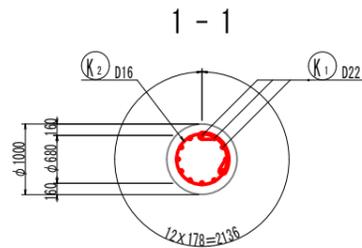
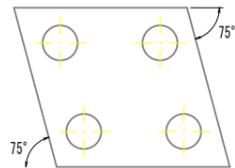
A2橋台場所打ち杭配筋図

S=1:50

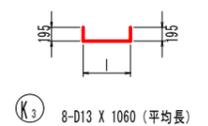
注) 鉄筋の組立てにおいては、組立て上の形状保持などの溶接を行ってはならない。



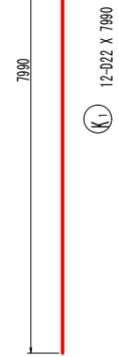
杭配置図 S=1:100



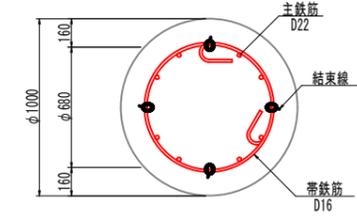
注) 継手部は高さ方向に千鳥状に配置すること。



番号	本数	l	L
1	4	588	978
2	4	741	1131
平均長	8		1055

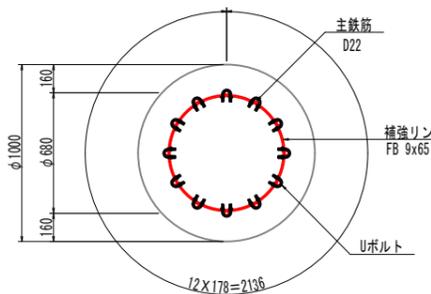


主鉄筋, 帯鉄筋結束参考図 S=1:20



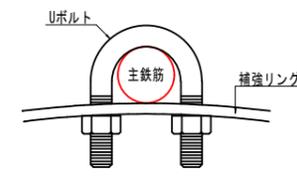
注) 主鉄筋と帯鉄筋の交点は、主鉄筋3~4本おき程度に結束線等で固定する。

補強リング固定金具配置図 S=1:20



注) 主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定する。

固定金具参考図 S=1:2



注) 1. 固定金具は、Uボルト又は同等品とする。
2. 主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定する。

鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要	
K 1	D22	7990	12	3.04	24.29	291	!	
K 2	D16	3570	38	1.56	5.57	212	o	
K 3	D13	1060	8	0.995	1.05	8	└ (平均長)	
K 4	D13	300	14	0.995	0.30	4	└	
							515	
				杭1本当り		1基当り		
合計				D22	291 kg x 4本	= 1164 kg		
				D16	212 kg x 4本	= 848 kg		
				D13	12 kg x 4本	= 48 kg		
総質量				515 kg x 4本	= 2060 kg			

補強リング, 固定金具 (杭1本当り)

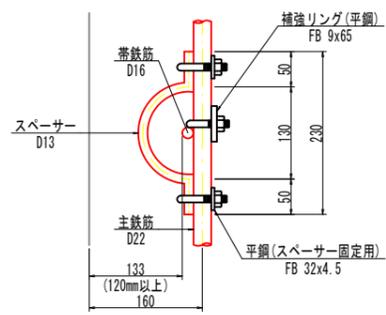
種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
FB 9 x 65	2136	3	4.59	9.80	29	補強リング
Uボルト D22用	-	36	-	-	-	主鉄筋と補強リングの固定

スペーサー固定金具 (杭1本当り)

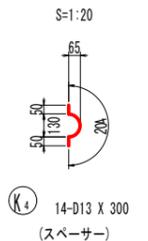
種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
Uボルト D22用	-	28	-	-	-	スペーサーと主鉄筋の固定
FB 32 x 4.5	80	28	1.13	0.09	3	Uボルト固定用

※Uボルト規格 D22用, SS400, 変形時荷重30kN以上 「場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法 設計・施工に関するガイドライン」に準拠する。

かぶり詳細図 S=1:5



注) スペーサーは1断面当りの個数を杭頭部のみ6箇所とし、その他の設置部では4箇所を固定する。
1差箇所につき、上下1ヶ所ずつ金具で固定



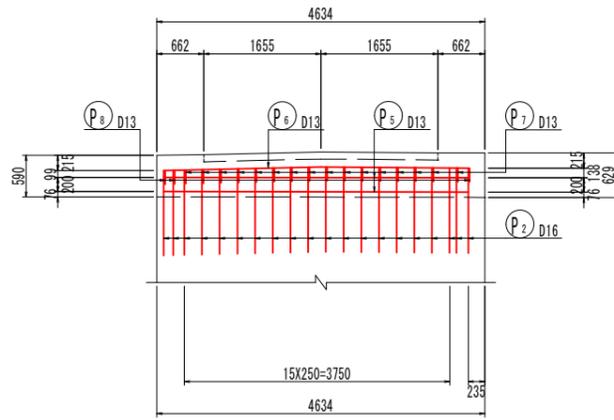
基礎工設計条件

項目	仕様	
基礎工コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{ck}=24N/mm^2$	
設計基準強度	(呼び強度 $\sigma_{ck}=30N/mm^2$)	
基礎工鉄筋種類	SD345	
鉄筋定着長	杭頭	45・φ
	杭体内	41.67・φ
鉄筋最大定尺長	12m	

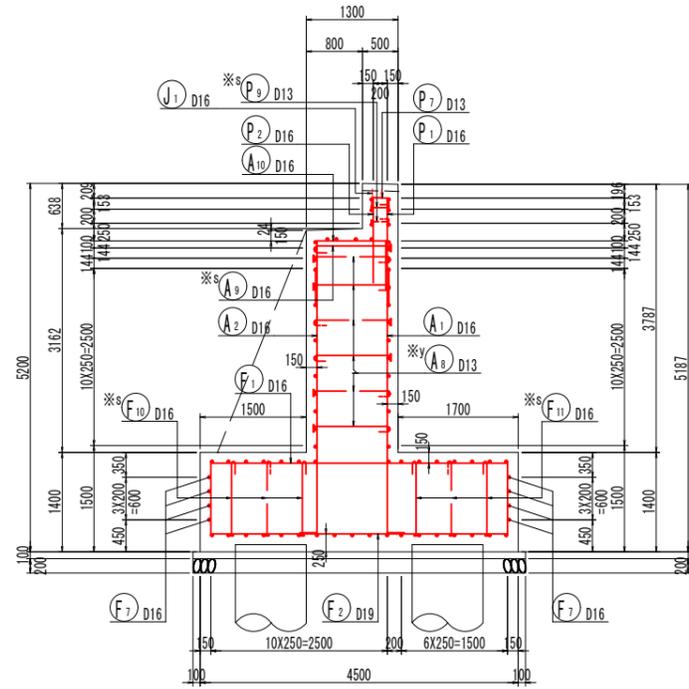
工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	A2橋台場所打ち杭配筋図		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	20 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

A2橋台配筋図 (その1) S=1:50

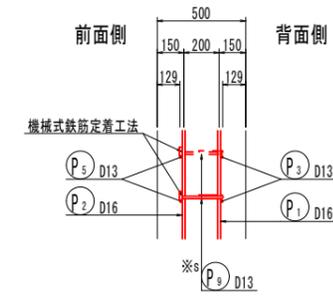
2 - 2 (前面)



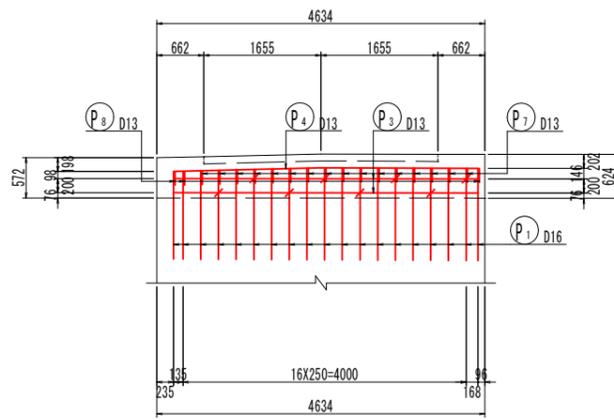
1 - 1



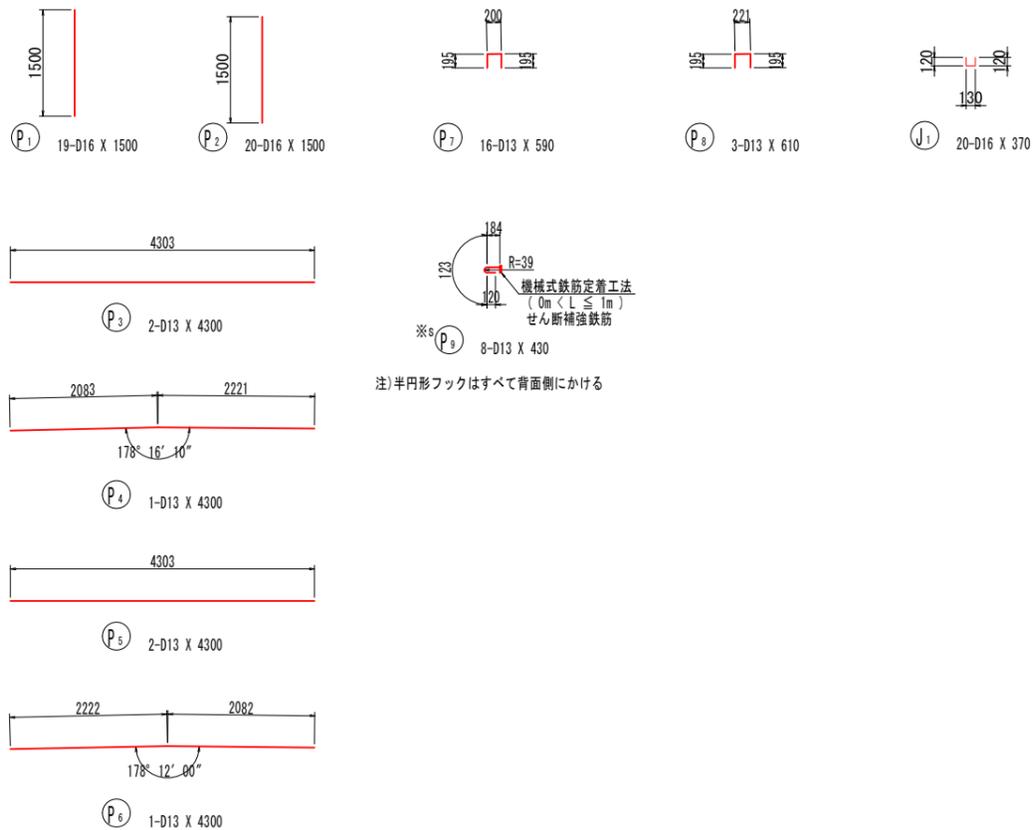
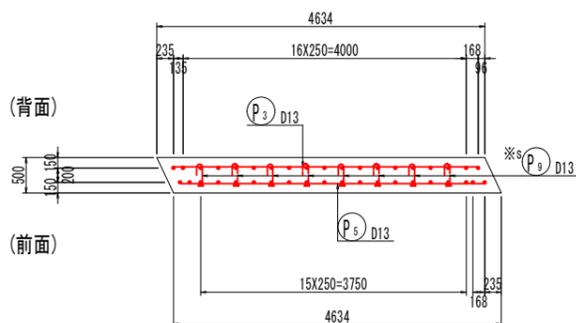
パラペット詳細図 S=1:20



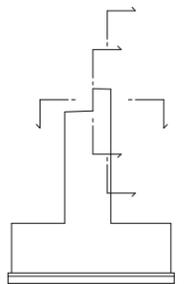
3 - 3 (背面)



4 - 4



位置図



注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すが、適用にあたっては下記の基準等を満足すること。
 1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
 2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

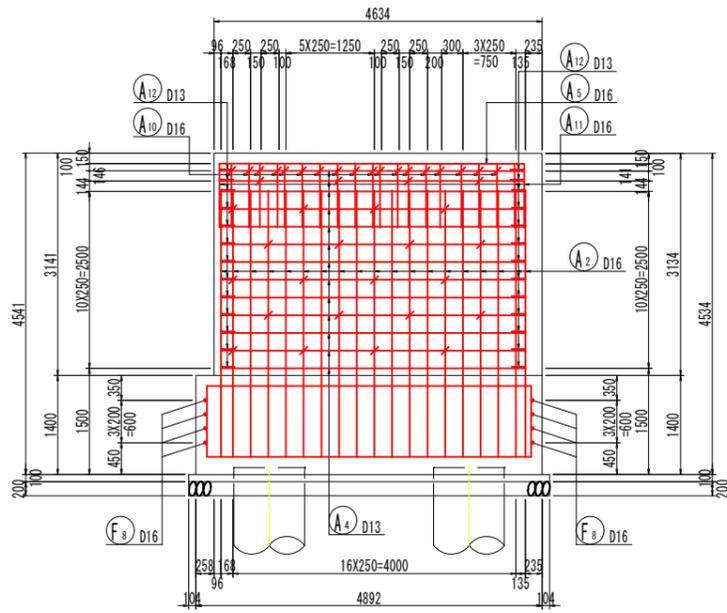
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: せん断補強鉄筋 ※y: 横拘束鉄筋

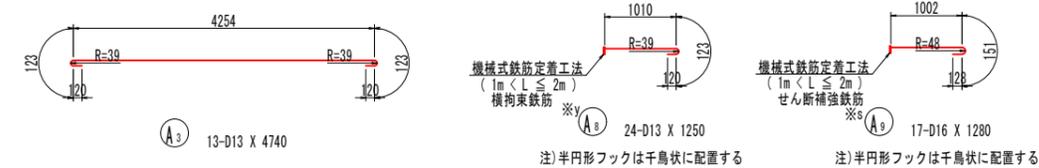
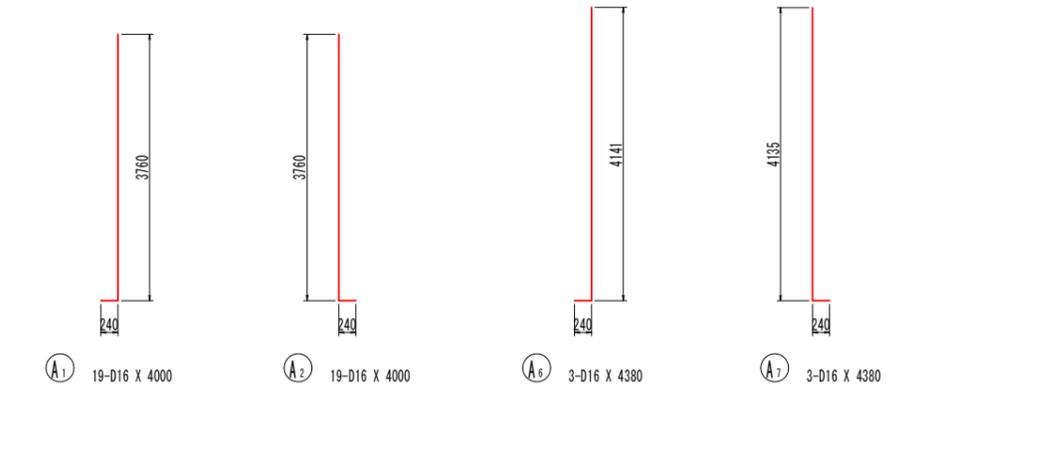
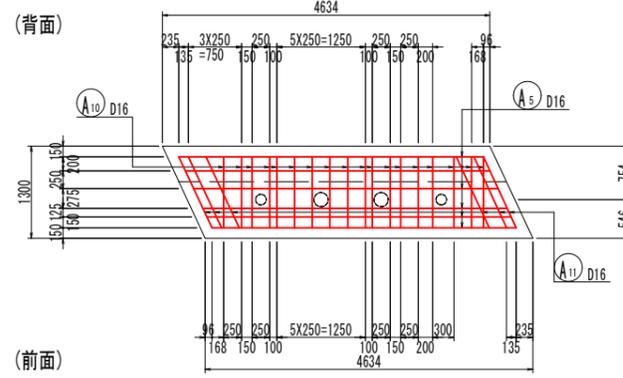
工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	A2橋台配筋図 (その1)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	21 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

A2橋台配筋図 (その2) S=1:50

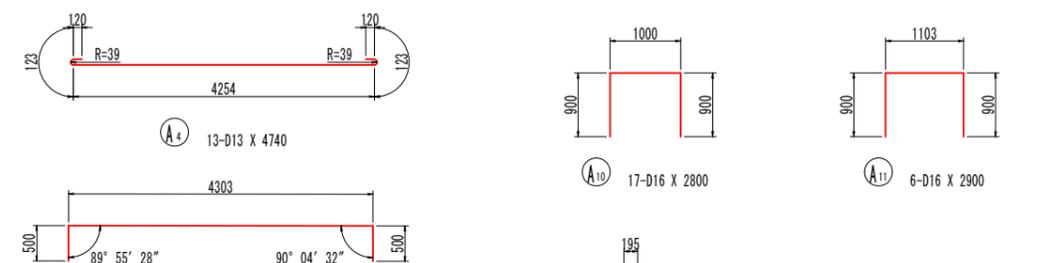
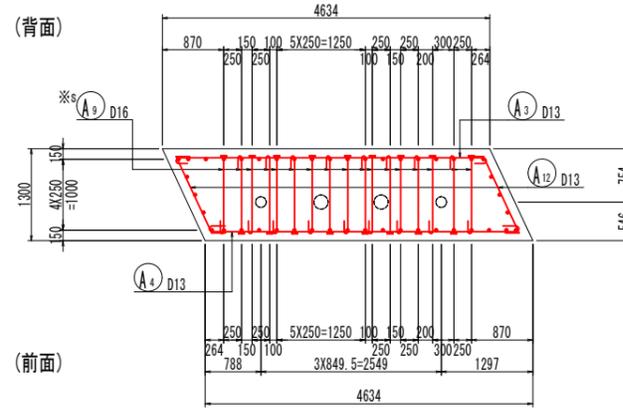
5 - 5 (前面)



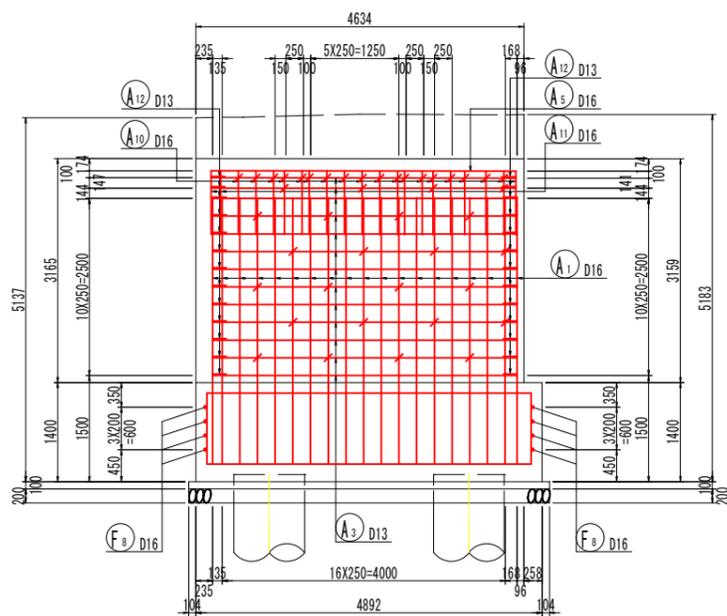
7 - 7



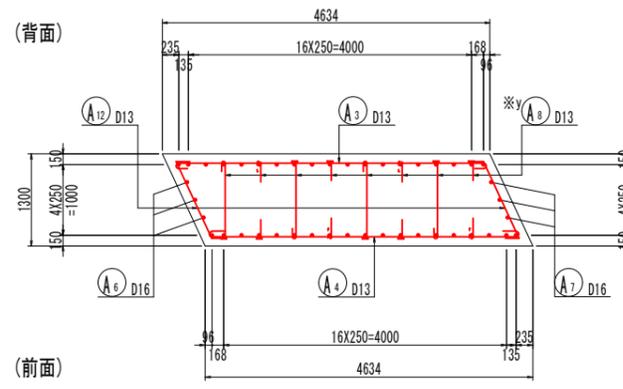
8 - 8



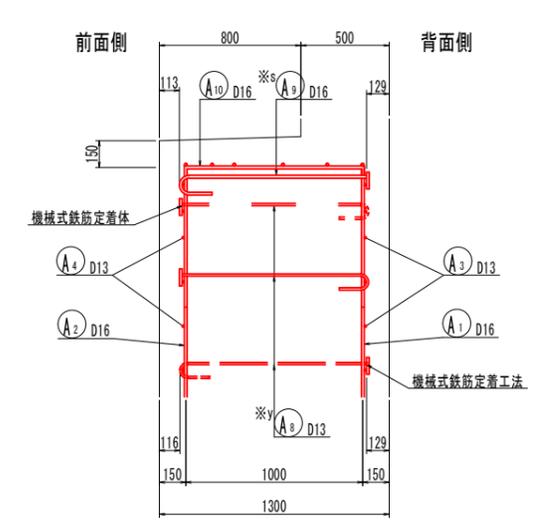
6 - 6 (背面)



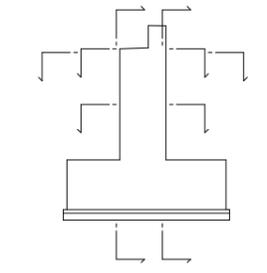
9 - 9



たて壁詳細図 S=1:20



位置図



注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すが、適用にあたっては下記の基準等を満足すること。
 1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
 2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

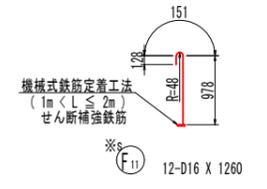
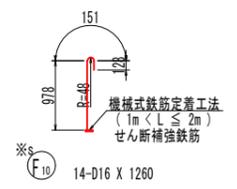
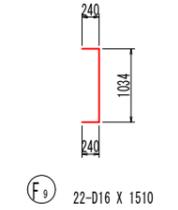
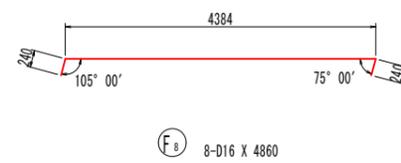
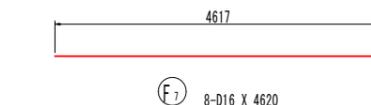
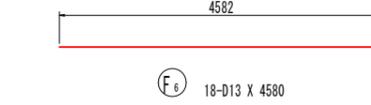
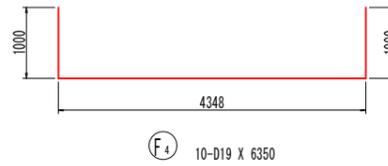
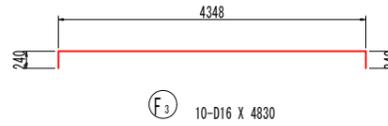
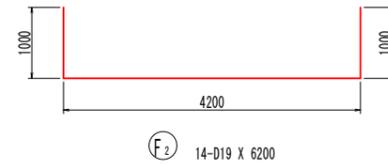
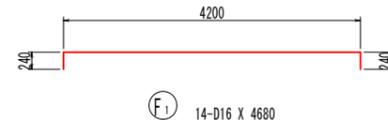
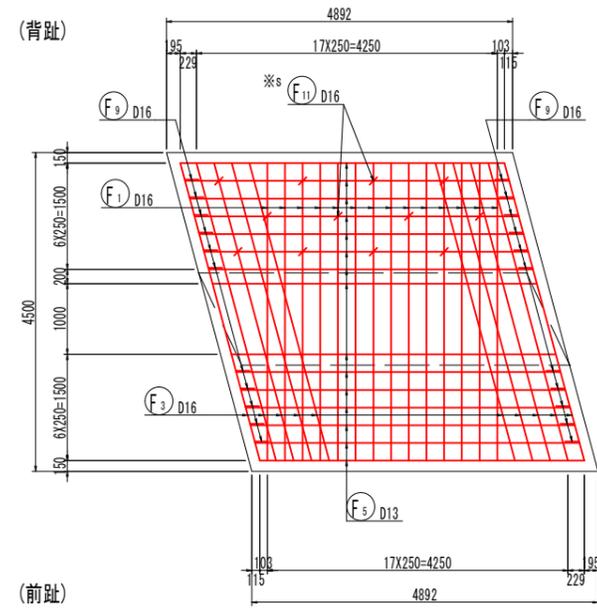
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: せん断補強鉄筋 ※y: 横拘束鉄筋

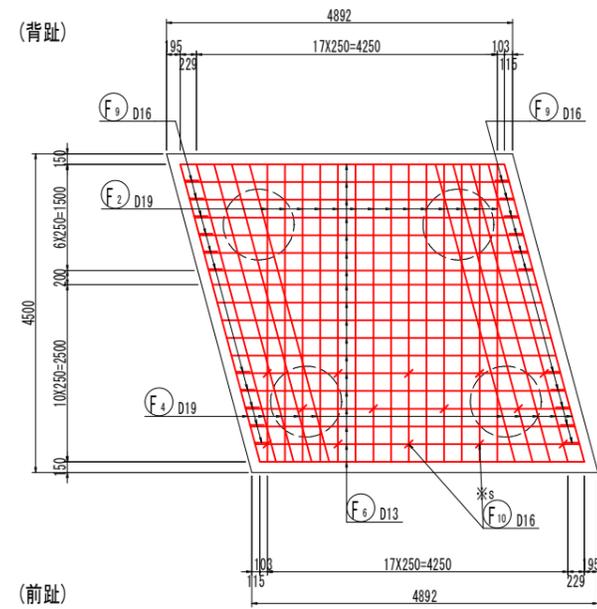
工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	A2橋台配筋図 (その2)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	22 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

A2橋台配筋図 (その3) S=1:50

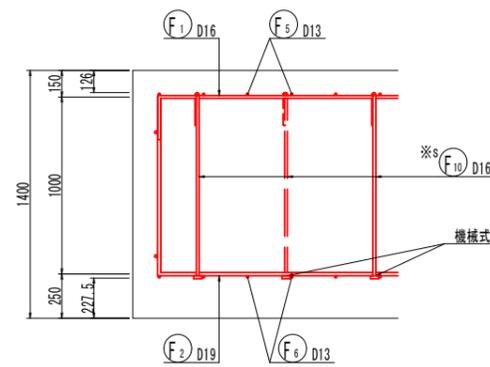
10 - 10 (上面)



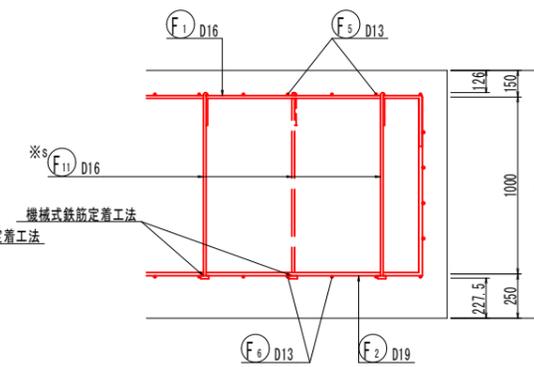
11 - 11 (下面)



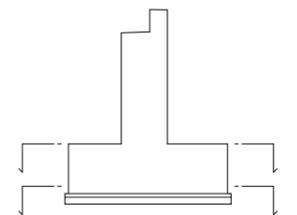
前フーチング詳細図 S=1:20



後フーチング詳細図 S=1:20



位置図



注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すが、適用にあたっては下記の基準等を満足すること。
 1. 道路橋示方書・同解説 (H29.11 日本道路協会)
 2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

※s: せん断補強鉄筋 ※y: 横拘束鉄筋

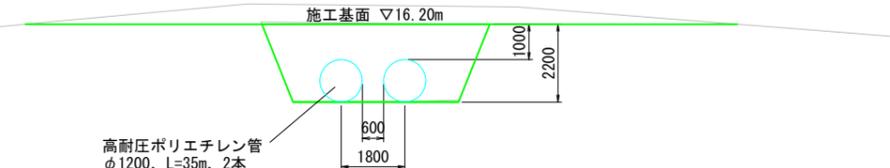
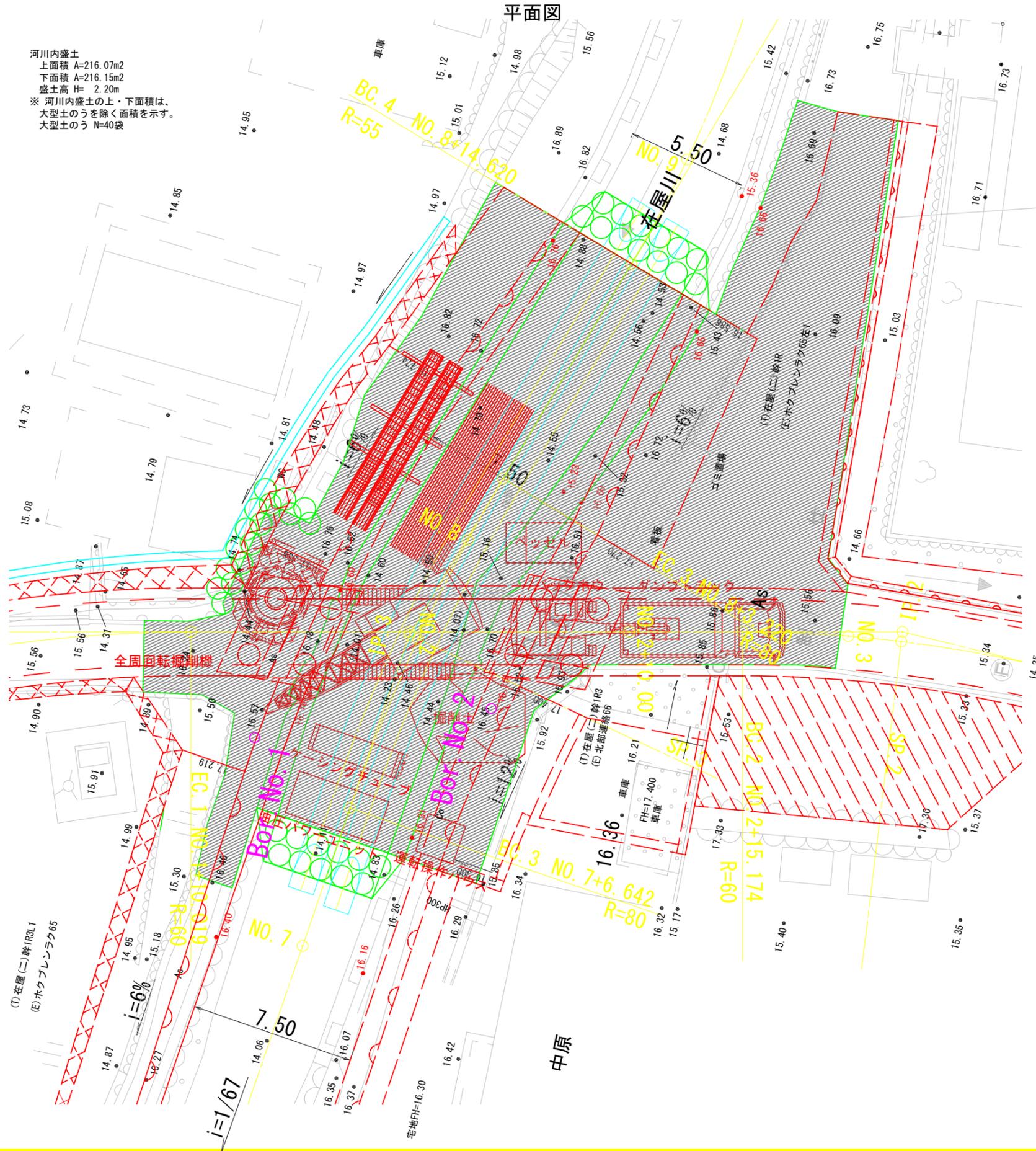
工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋梁架設工事		
図面名	A2橋台配筋図 (その3)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	23 / 25
会社名	竹原市		
事業者名	竹原市		

施工計画図 S=1:100

平面図

河川断面図

河川内盛土
 上面積 A=216.07m²
 下面積 A=216.15m²
 盛土高 H= 2.20m
 ※ 河川内盛土の上・下面積は、
 大型土のうを除く面積を示す。
 大型土のう N=40袋



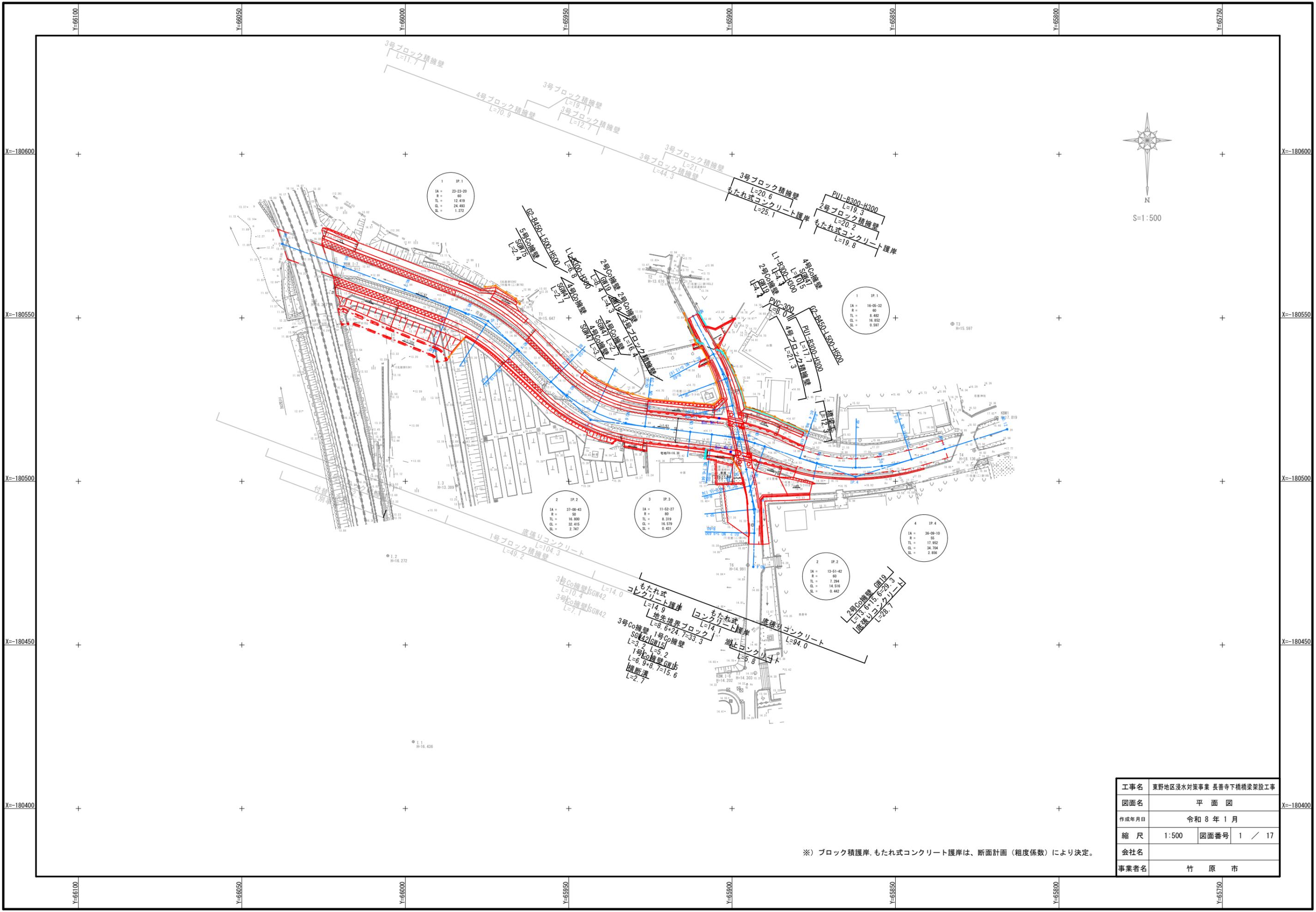
DL=10.000

施工手順

- ① 旧橋及び既設護岸撤去
 河川内工事のため非出水期間に工事を行う。
 基礎施工ヤードに影響する範囲の構造物（旧橋及び既設護岸）を撤去する。
- ② 仮設盛土設置
 河川内工事のため非出水期間に工事を行う。
 仮排水管（高耐圧ポリエチレン管φ1200-2本）を配置し、河川内に盛土を行うと同時に、上下流端に大型土のうを設置する。
 排水管と排水管の間は0.6m確保する（盛土転圧のため）。
 また、排水管は万一の出水に備えワイヤー等で固定しておく。
- ③ 基礎工（杭基礎）の施工
 資材、建設機械を国道432号→市道在屋8号線のルートで搬入し、全周回転掘削機により場所打ち杭の施工をA1橋台側から行う。
 廃土運搬の際に一時市道を通行止めにする必要があるため周辺住民に周知する。
- ④ 後片付け
 河川内工事であり、河川内に汚水を排出しないこと。
 続けて下部工等施工を行う場合、上下流端の大型土のうと排水管を残しておく。

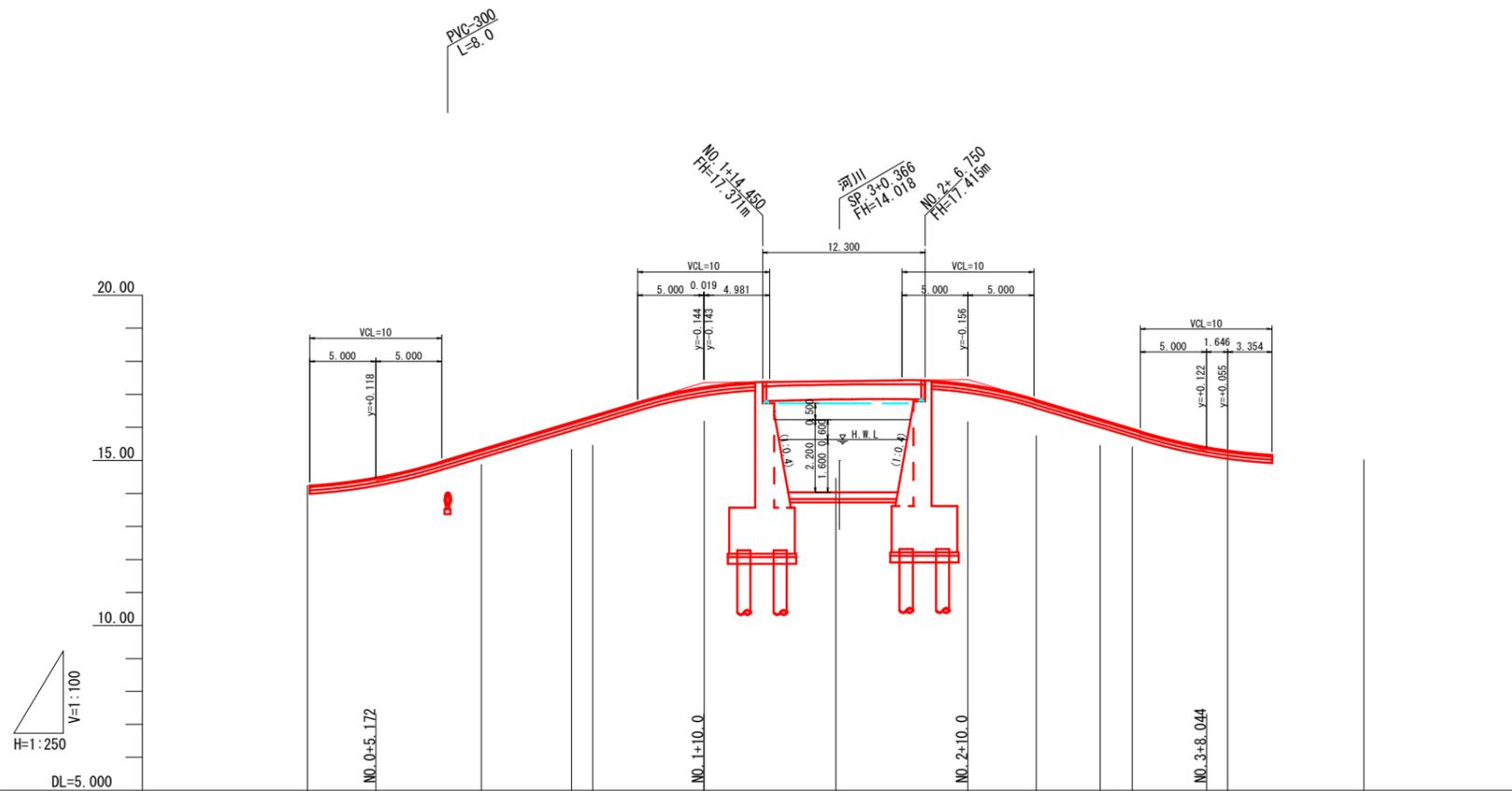
工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	施工計画図		
作成年月日	令和8年1月		
縮尺	1:100.1:50	図面番号	25 / 25
会社名			
事業者名	竹原市		

河道 川路 改改 修良



工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	平面図		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	1:500	図面番号	1 / 17
会社名			
事業者名	竹原市		

※) ブロック積護岸, もたれ式コンクリート護岸は, 断面計画 (粗度係数) により決定。



勾配														
切土高														
盛土高			0.450	0.820	0.881	1.017	2.940	1.124	1.079	0.800	0.548	0.063		
計画高	14.240	14.489	15.330	16.150	16.341	17.207	17.400	17.294	16.829	16.250	15.958	15.407	15.303	15.020
地盤高	14.24	14.88	15.33	15.46	16.19	14.46	16.17	15.75	15.45	15.41	15.24	15.02		
追加距離	0.000	13.167	20.000	21.593	30.019	40.000	50.000	55.174	60.000	62.432	69.690	80.000		
単距離	0.000	13.167	6.833	1.593	8.426	9.981	10.000	5.174	4.828	2.432	7.258	10.310		
測点	NO. 0	BC. 1	NO. 1	SP. 1	EC. 1	NO. 2	+10.00	BC. 2	NO. 3	SP. 2	EC. 2	NO. 4		
平面線形曲率図														
片勾配すりつけ図														
拡幅														

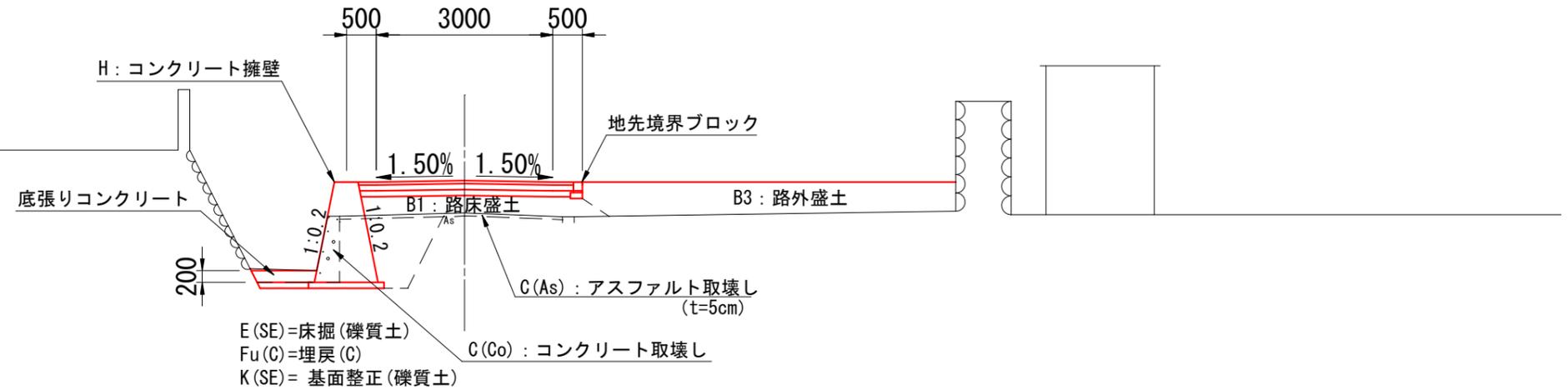
※) 地形は、三次元点群測量から作成したものである。

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	道路縦断面図		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	H=1:250 V=1:100	図面番号	2 / 17
会社名			
事業者名	竹 原 市		

標準横断図

S=1:50

SP. 2付近



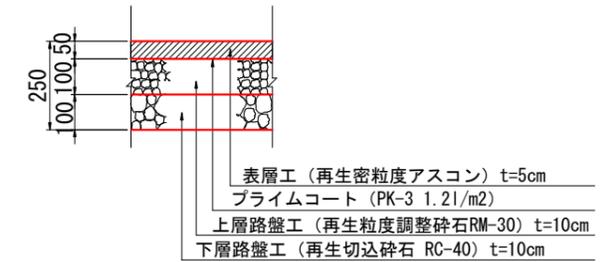
道路規格と舗装構成

道路規格		第3種 第5級		
設計速度	V = 20 km/h			
標準幅員構成	W = 3.00 m			
直線部の横断勾配	1.50 %			
最大片勾配	--- %			
交通の区分	T < 100			
設計 CBR	8 %以上			
目標とする値	TA = 11			
舗装構成		舗装厚	等価換算係数	TA値
表層基層工(再生密粒度As)	5 cm	1.00	5.00	
上層路盤工(再生粒調砕石)	10 cm	0.35	3.50	
下層路盤工(再生切込砕石)	10 cm	0.25	2.50	
計	25 cm		11.00	

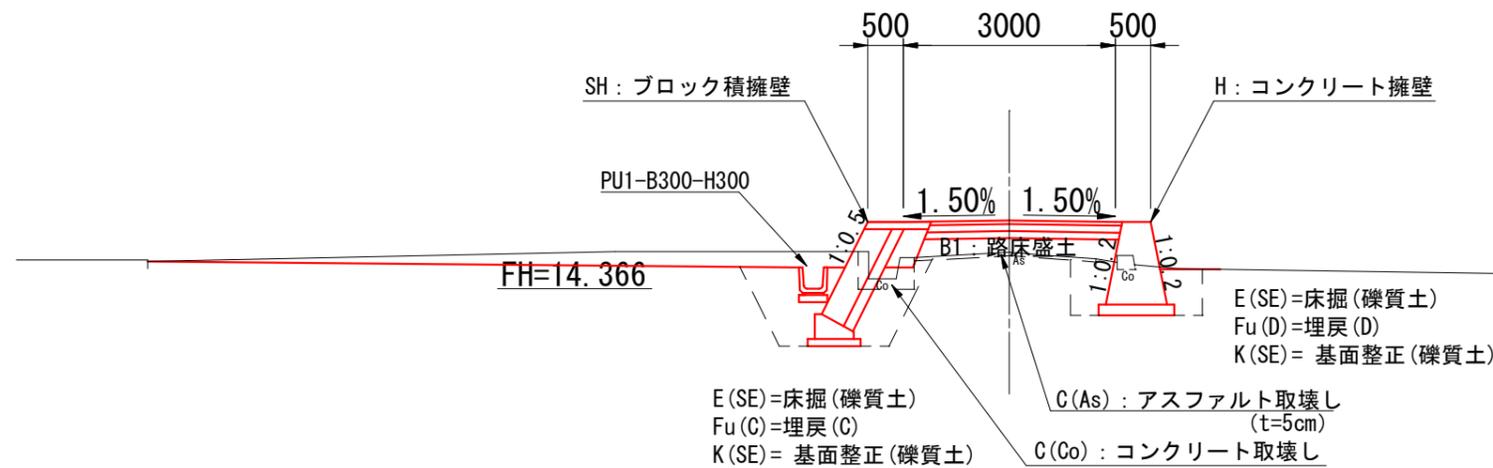
舗装構成図

S=1:10

車道舗装(アスファルト)



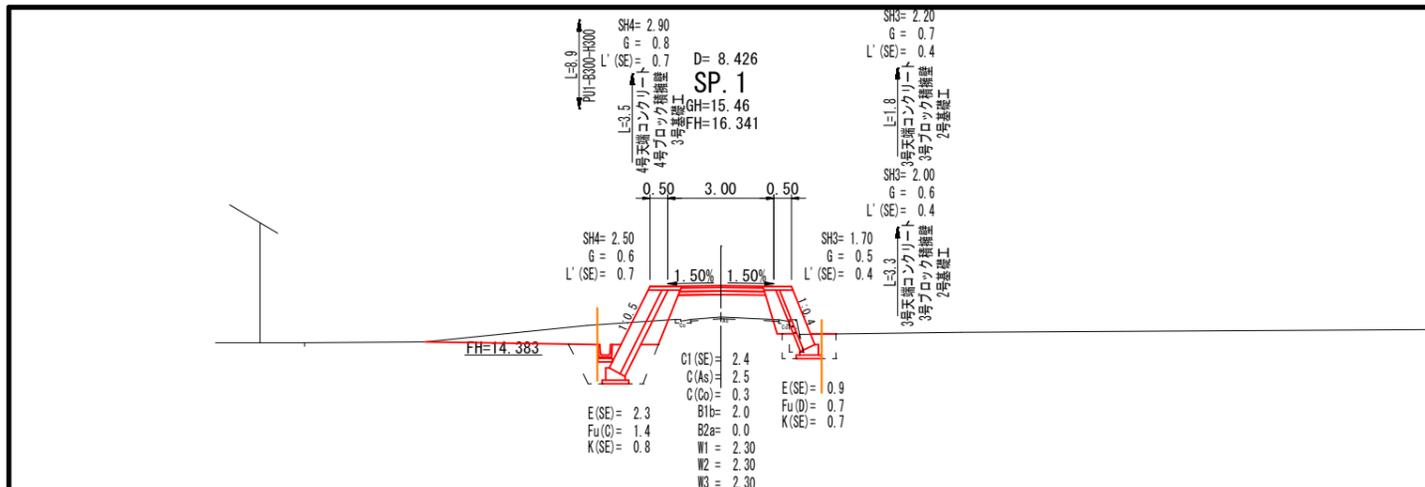
BC. 1付近



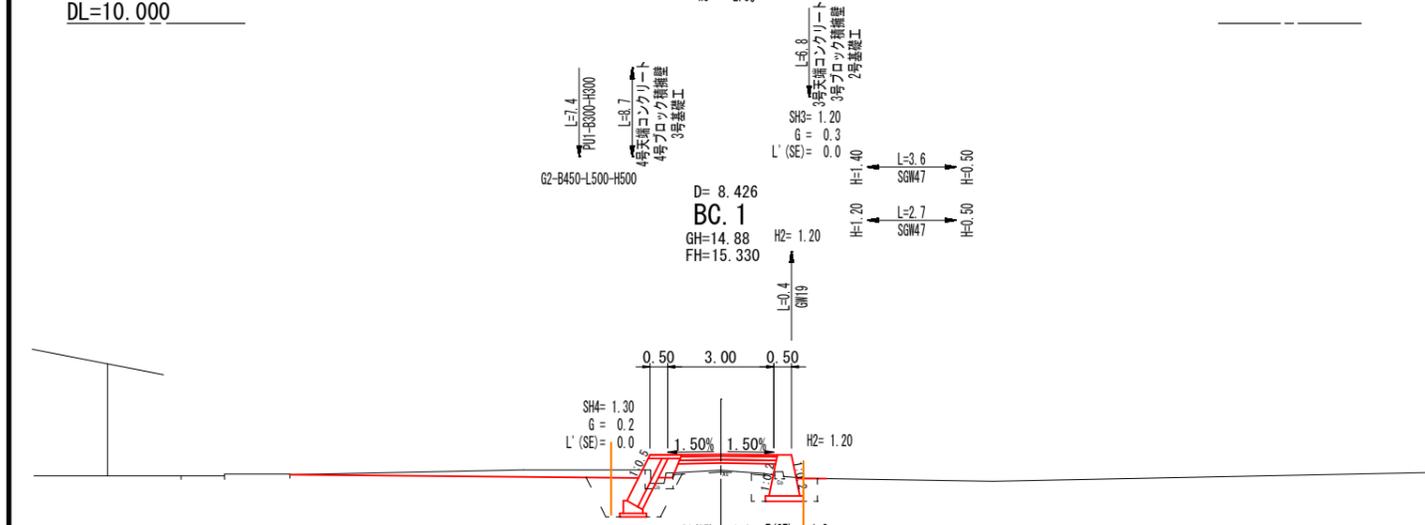
凡 例

記号	種別
C(SE)	掘削 片切(礫質土)
C(As)	アスファルト舗装取壊し(延長)
C(Co)	コンクリート取壊し(体積)
B1	路床盛土
盛土施工幅区分	
a	W < 2.5m
b	2.5 ≤ W < 4.0m
c	W ≥ 4.0m
L'(SE)	法面整形(礫質土)
L'	法面整形(盛土)
E(SE)	床掘(礫質土)
Fu(C)	埋戻(C) 埋戻し1.0m ≤ W ₁ < 4.0m, W ₂ < 1.0m
Fu(D)	埋戻(D) " W ₁ < 1.0m, W ₂ < 1.0m
K(SE)	基面整正(礫質土)
H	コンクリート擁壁
SH	ブロック積擁壁
W1	車道舗装 表層(再生密粒度アスコン)
W2	路盤(再生粒度調整砕石M-30)

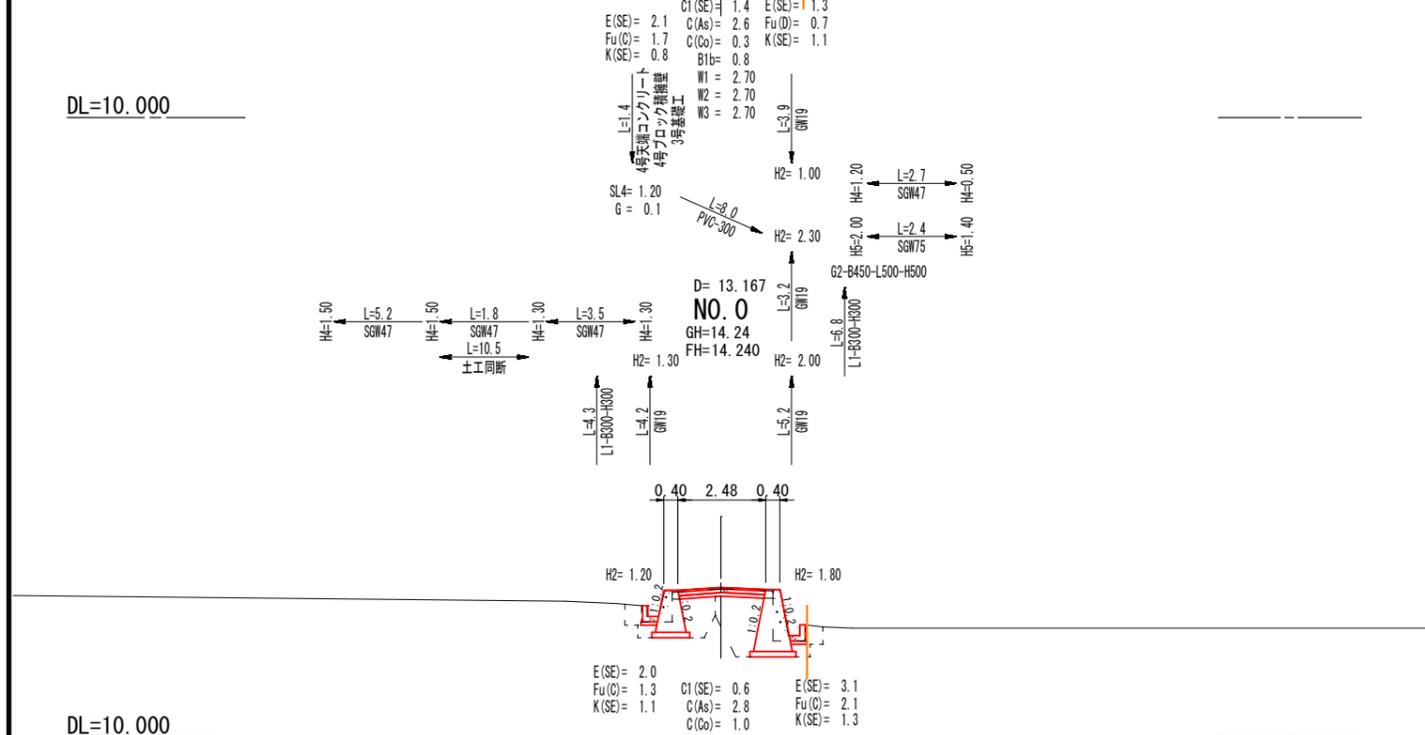
工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	標準横断図		
作成年月日	令和8年1月		
縮尺	図示	図面番号	3 / 17
会社名			
事業者名	竹原市		



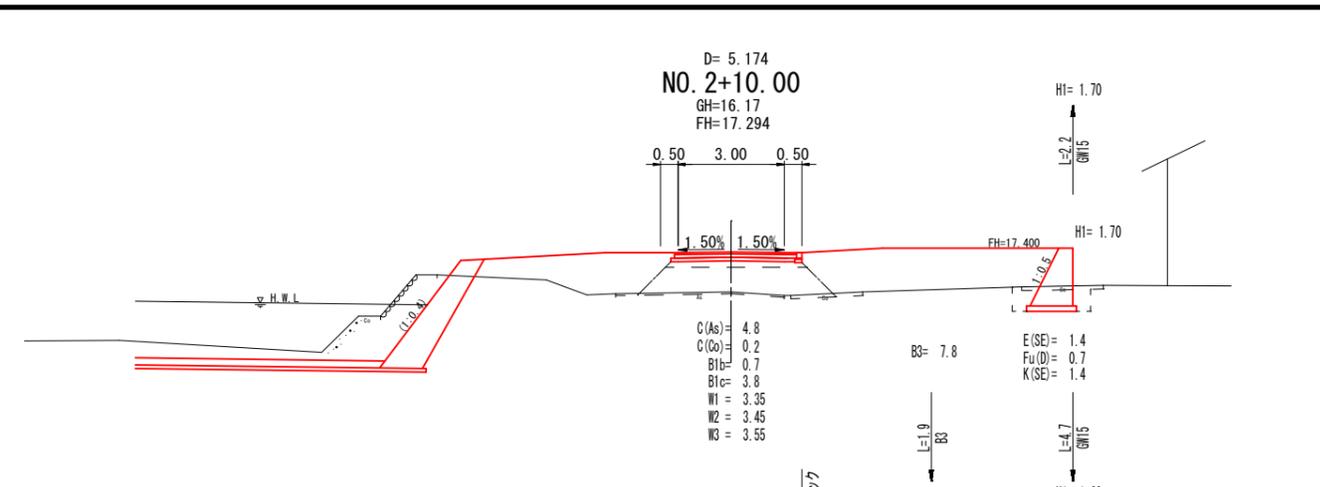
DL=10.000



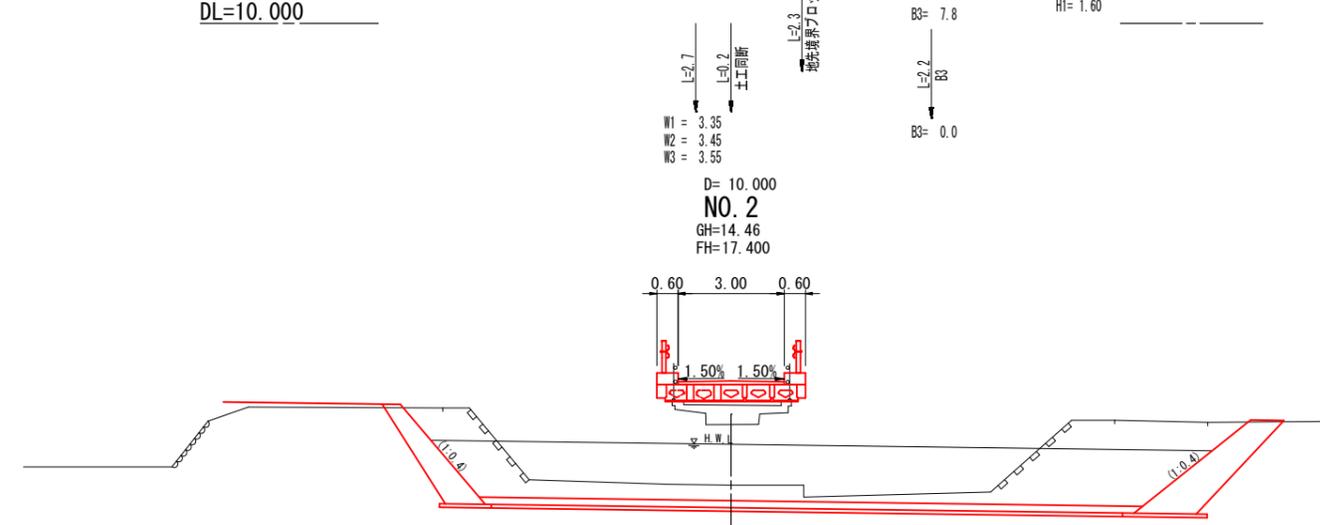
DL=10.000



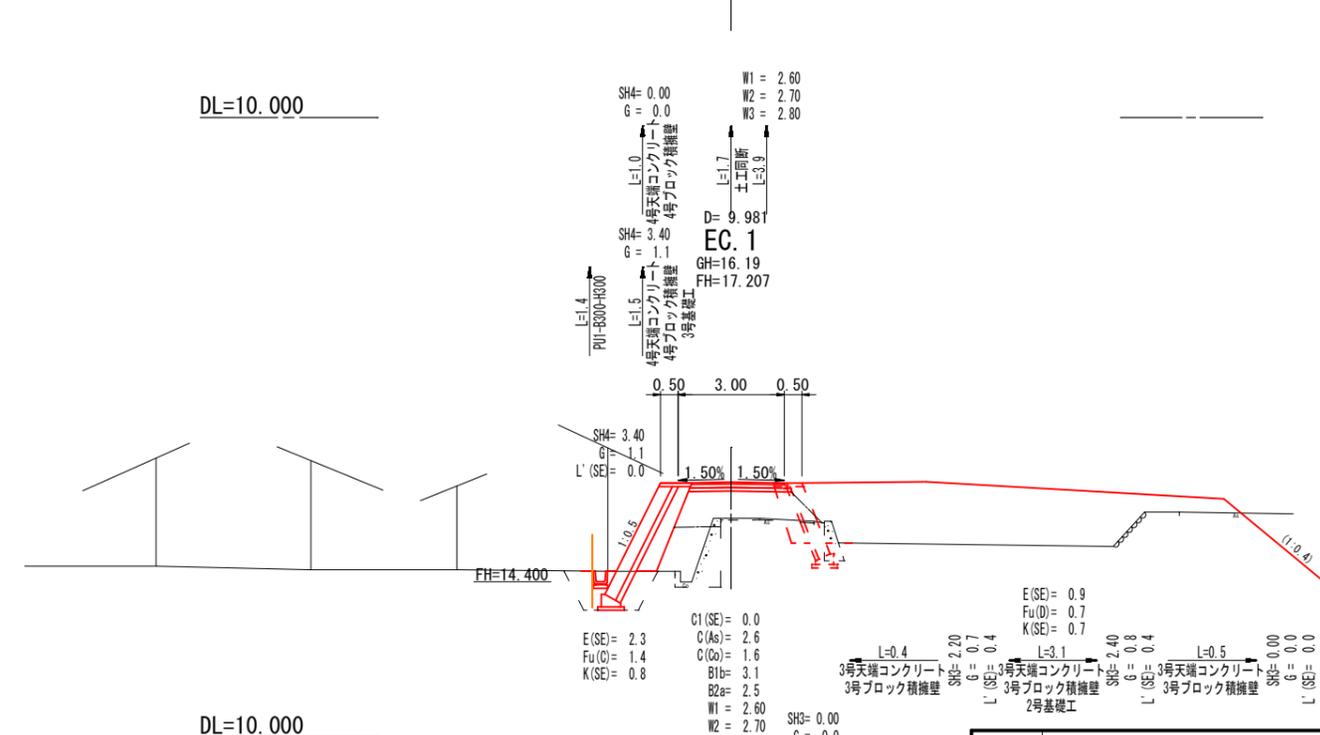
DL=10.000



DL=10.000



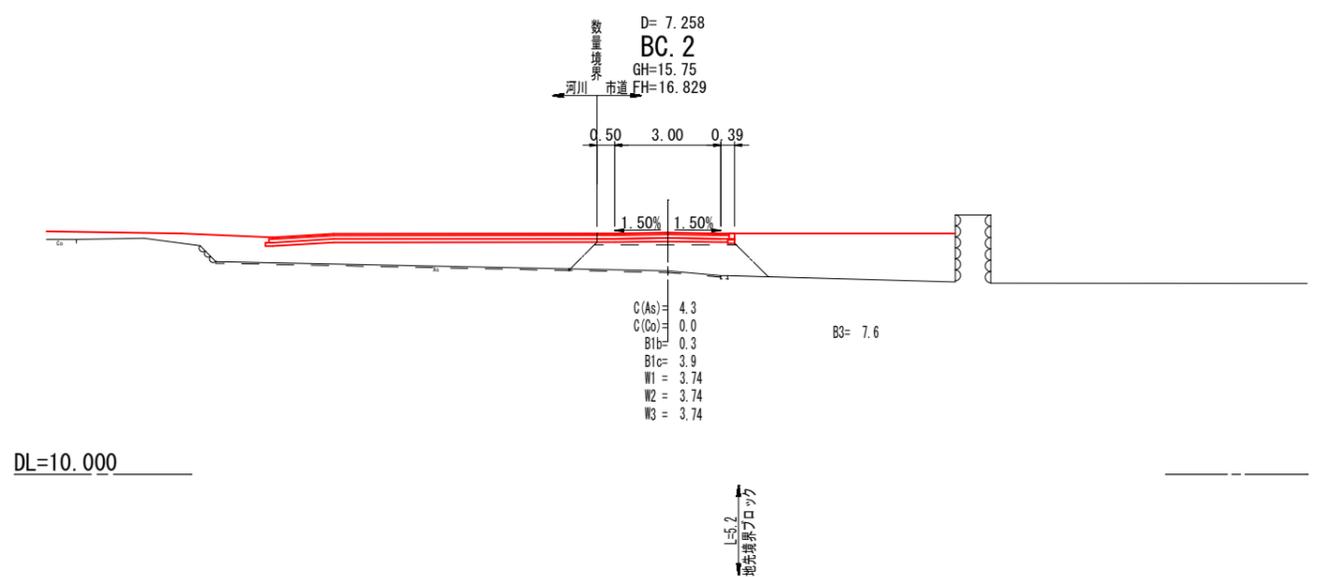
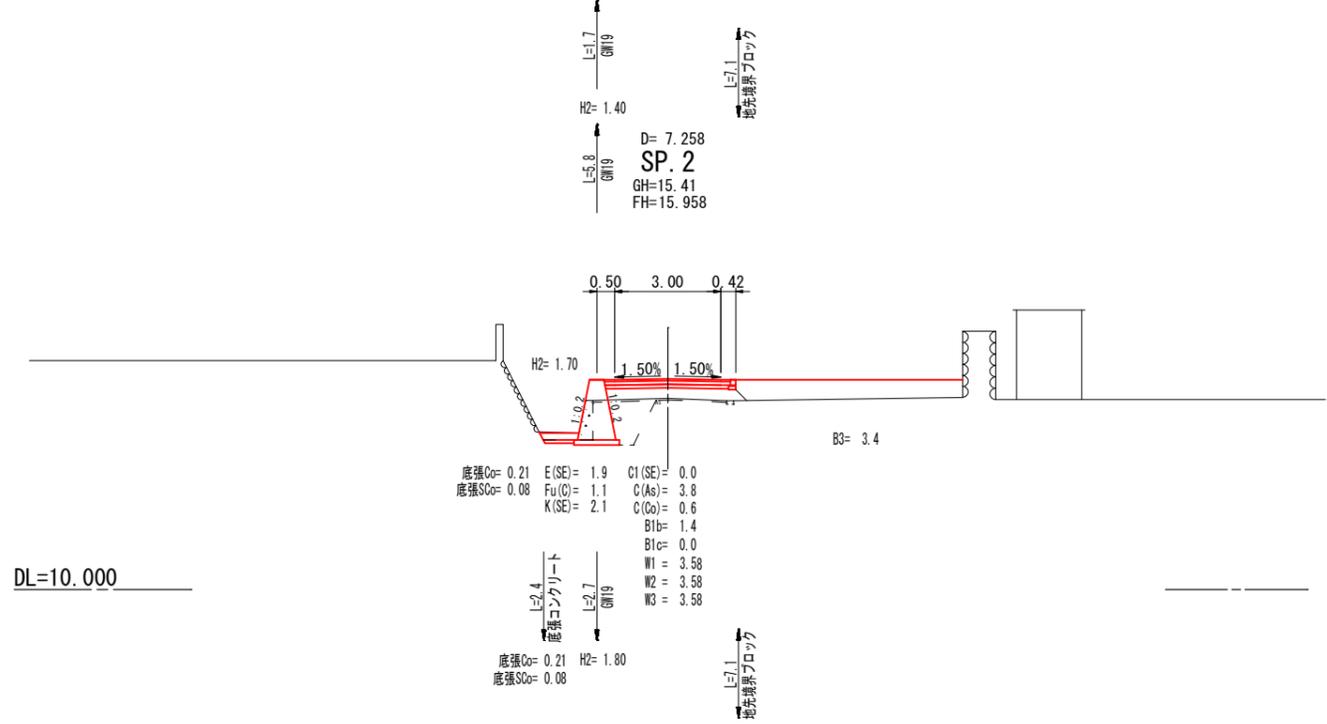
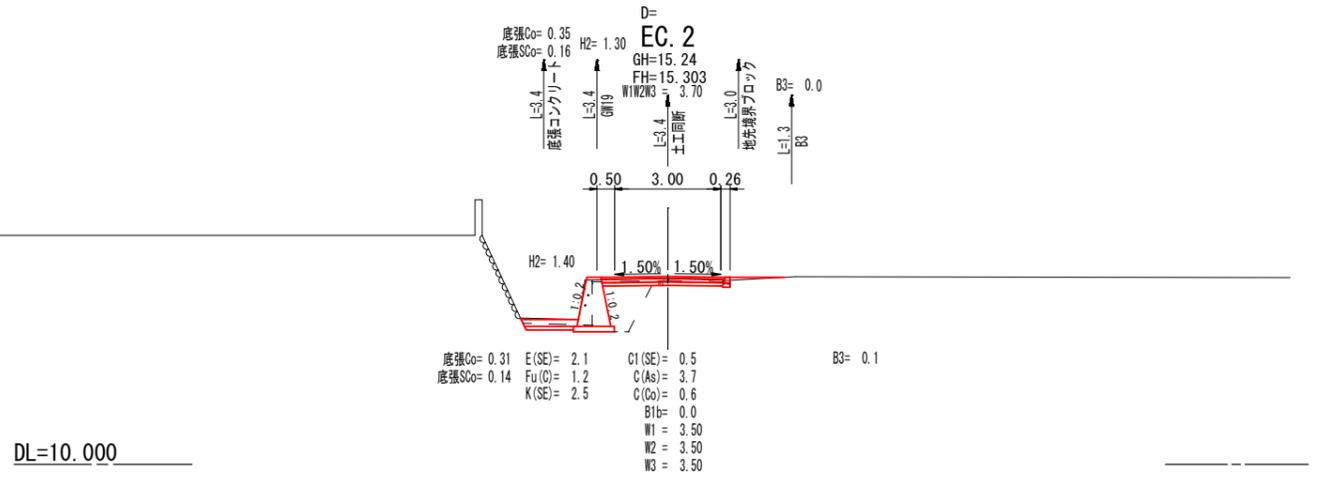
DL=10.000



DL=10.000

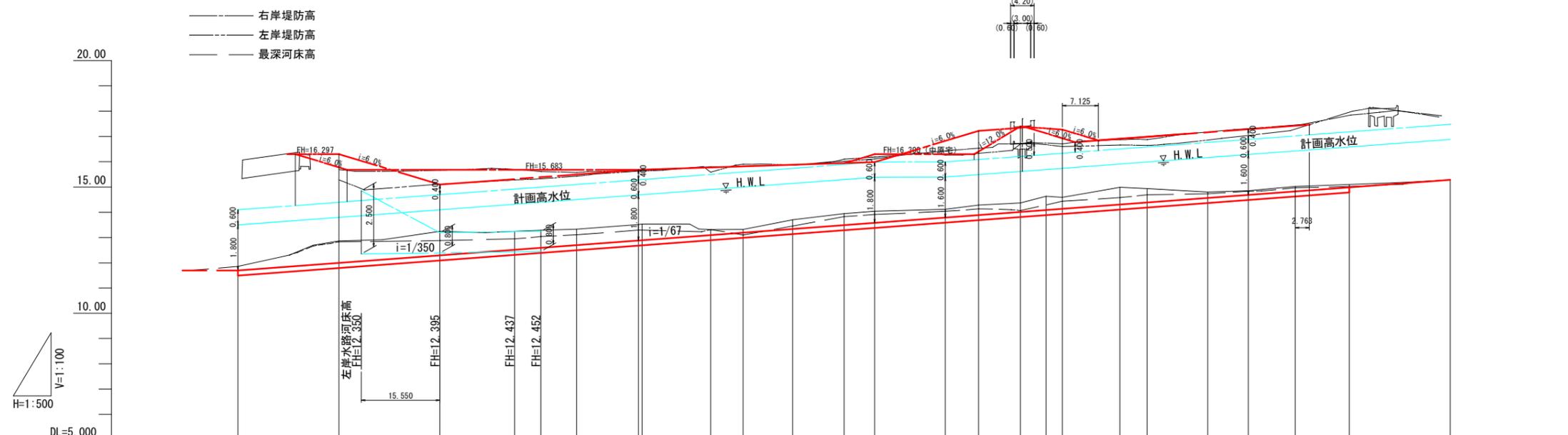
※) 地形は、三次元点群測量から作成したものである。

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	道路横断面図 (1/2)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	1:100	図面番号	4 / 17
会社名			
事業者名	竹原市		



※) 地形は、三次元点群測量から作成したものである。

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	道路横断面図 (2/2)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	1:100	図面番号	5 / 17
会社名			
事業者名	竹 原 市		



河床勾配	11.700 $\begin{matrix} i=1/67 \\ L=240.000 \end{matrix}$ 15.282																								
右岸堤防高		16.297	15.781	15.683	15.683	15.683	15.683	15.683	15.683	15.774	15.815	15.878	15.942	15.981	16.820	17.219	17.342	17.358	17.118	16.925	16.774	16.906			
左岸堤防高		16.297	15.097	15.318	15.396	15.501	15.683	15.683	15.774	15.815	15.878	15.942	16.300	16.300	16.405	17.400	17.118	17.270	16.842	16.906	16.987	17.165	17.285	17.424	17.465
計画河床高	11.700	11.999	12.297	12.518	12.596	12.701	12.883	12.894	13.097	13.193	13.339	13.491	13.581	13.790	13.889	14.012	14.088	14.136	14.306	14.387	14.565	14.685	14.824	14.984	15.282
現況河床高	11.86	12.87	13.25	13.25	13.29	13.33	13.52	13.53	13.31	13.32	13.70	13.95	14.04	14.12	14.29	14.37	14.63	14.59	14.99	14.94	14.80	14.85	15.02	15.10	15.28
追加距離	0.000	20.000	40.000	54.799	60.000	67.046	79.292	80.000	93.593	100.000	109.801	120.000	126.008	140.000	146.641	154.931	160.000	163.220	174.618	180.000	191.970	200.000	209.322	220.000	240.000
単距離	0.000	20.000	20.000	14.799	5.201	7.046	12.246	0.708	13.593	6.407	9.801	10.199	6.008	13.992	6.641	8.290	5.069	3.220	11.398	5.382	11.970	8.030	9.322	10.678	20.000
測点	NO.0	NO.1	NO.2	BC.1	NO.3	SP.1	EC.1	NO.4	BC.2	NO.5	SP.2	NO.6	EC.2	NO.7	BC.3	SP.3	NO.8	EC.3	BC.4	NO.9	SP.4	NO.10	EC.4	NO.11	NO.12
平面線形曲率図	IP.1 CL= 24.493 IA= 23-23-20.17 TL= 12.419 R= 60.000 SL= 1.272												IP.2 CL= 32.415 IA= 37-08-43.03 TL= 16.800 R= 50.000 SL= 2.747				IP.3 CL= 16.579 IA= 11-52-26.55 TL= 8.319 R= 80.000 SL= 0.431				IP.4 CL= 34.704 IA= 36-09-09.55 TL= 17.952 R= 55.000 SL= 2.856				

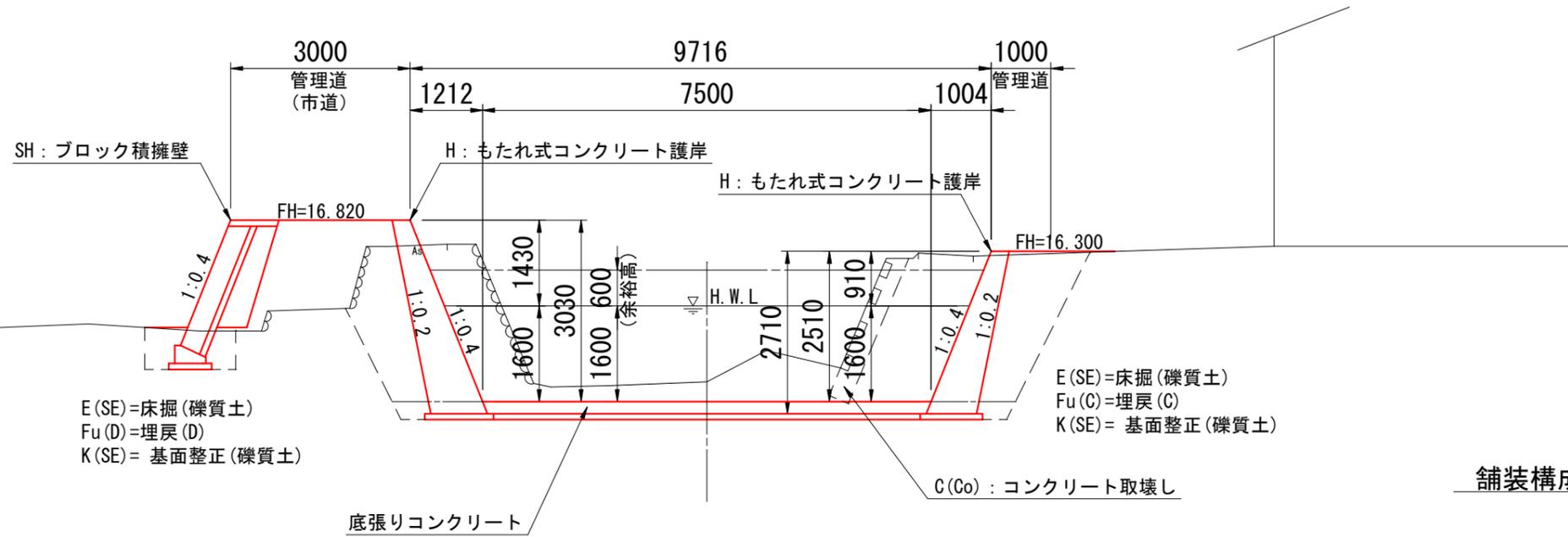
※) 地形は、三次元点群測量から作成したものである。

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	河川縦断面図		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	H=1:500 V=1:100	図面番号	6 / 17
会社名			
事業者名	竹 原 市		

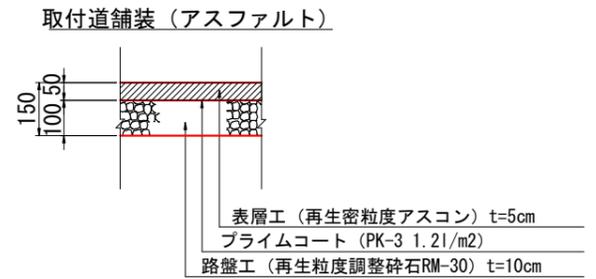
標準横断図

S=1:50

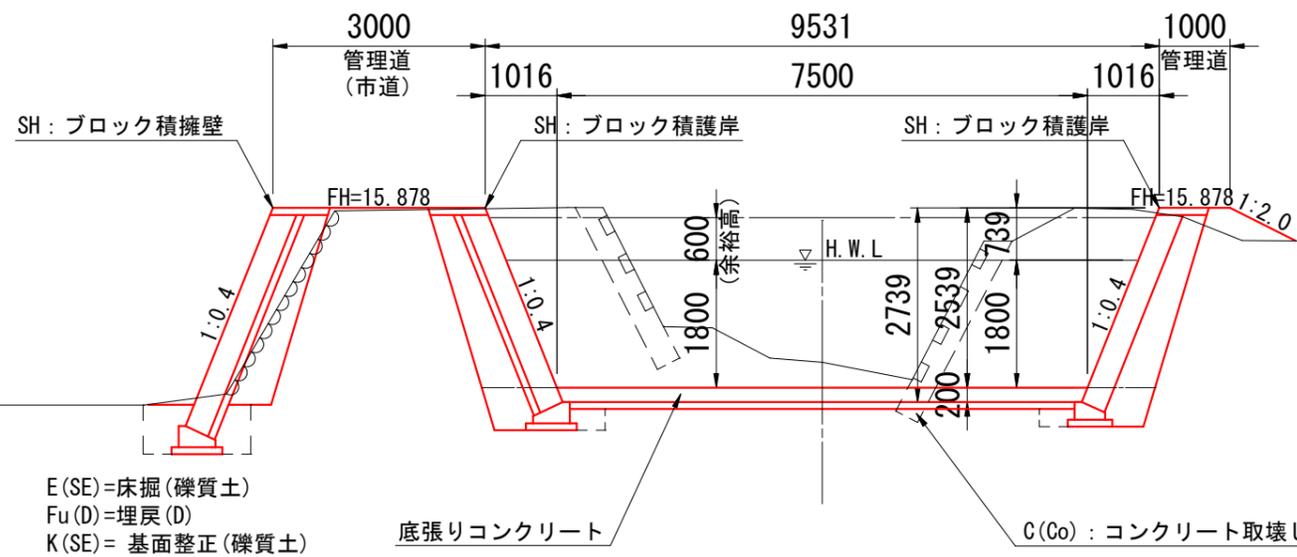
コンクリート側壁護岸部 NO.7 付近



舗装構成図 S=1:10



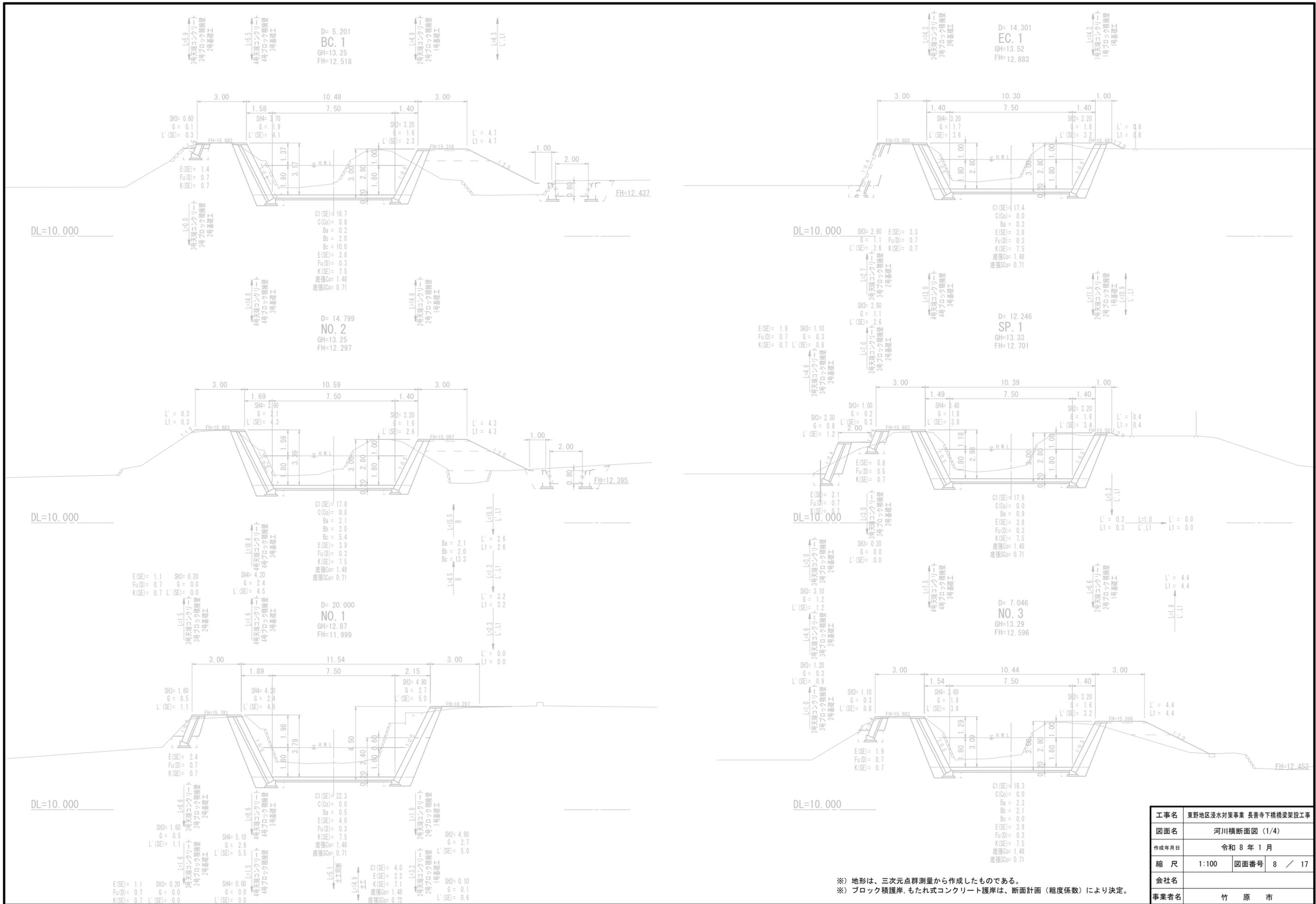
ブロック積擁壁護岸部 SP.2 付近



記号	種別
C(SE)	掘削 片切 (礫質土)
C(As)	アスファルト舗装取壊し (延長)
C(Co)	コンクリート取壊し (体積)
B1	堤体盛土
盛土施工幅区分	
a	W<2.5m
b	2.5≤W<4.0m
c	W≥4.0m
L'(SE)	法面整形 (礫質土)
L'	法面整形 (盛土)
E(SE)	床掘 (礫質土)
Fu(C)	埋戻 (C) 埋戻し 1.0m≤W1<4.0m, W2<1.0m
Fu(D)	埋戻 (D) 埋戻し W1<1.0m, W2<1.0m
K(SE)	基面整正 (礫質土)
H	コンクリート擁壁
SH	ブロック積擁壁
G	裏込め砕石
L1	張芝

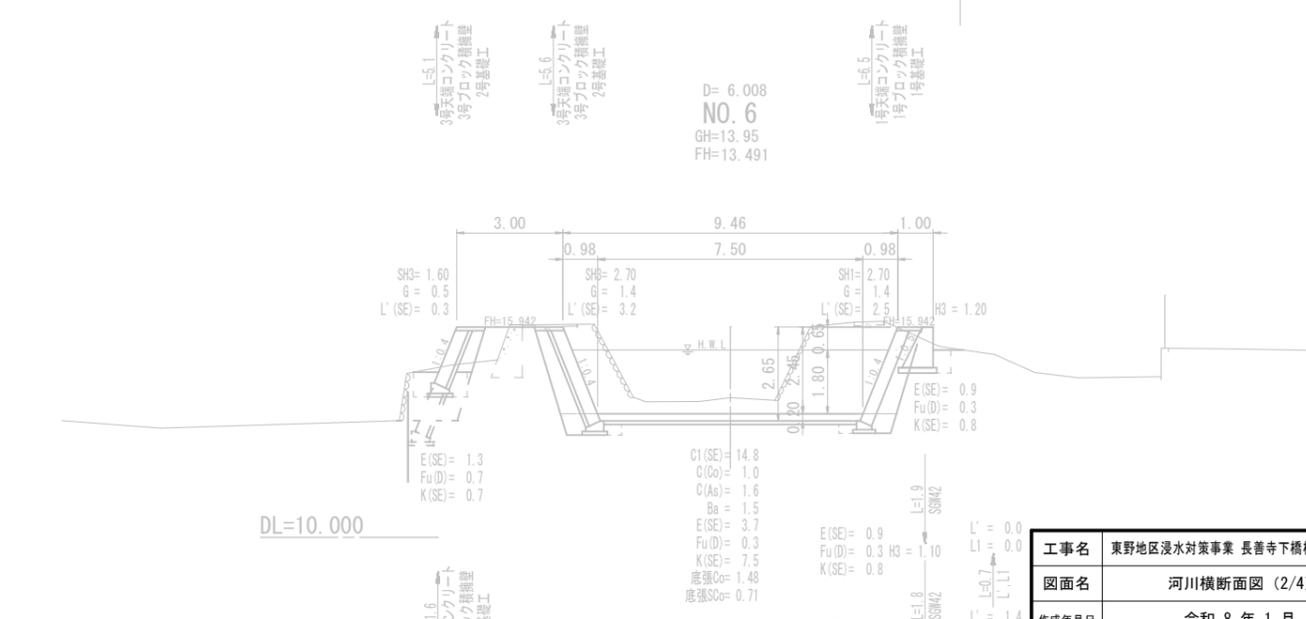
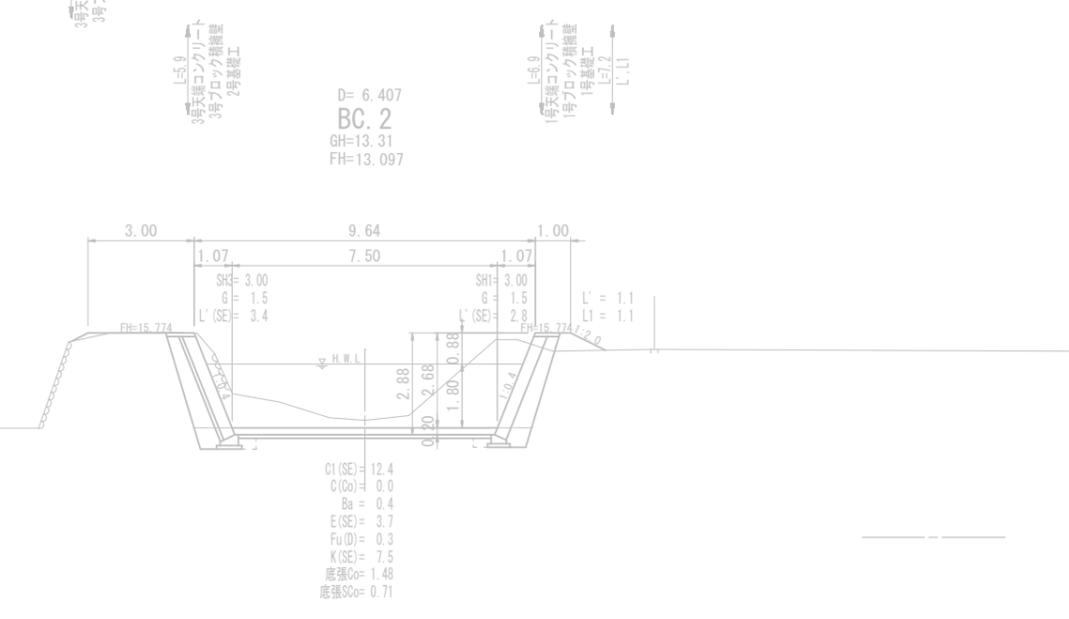
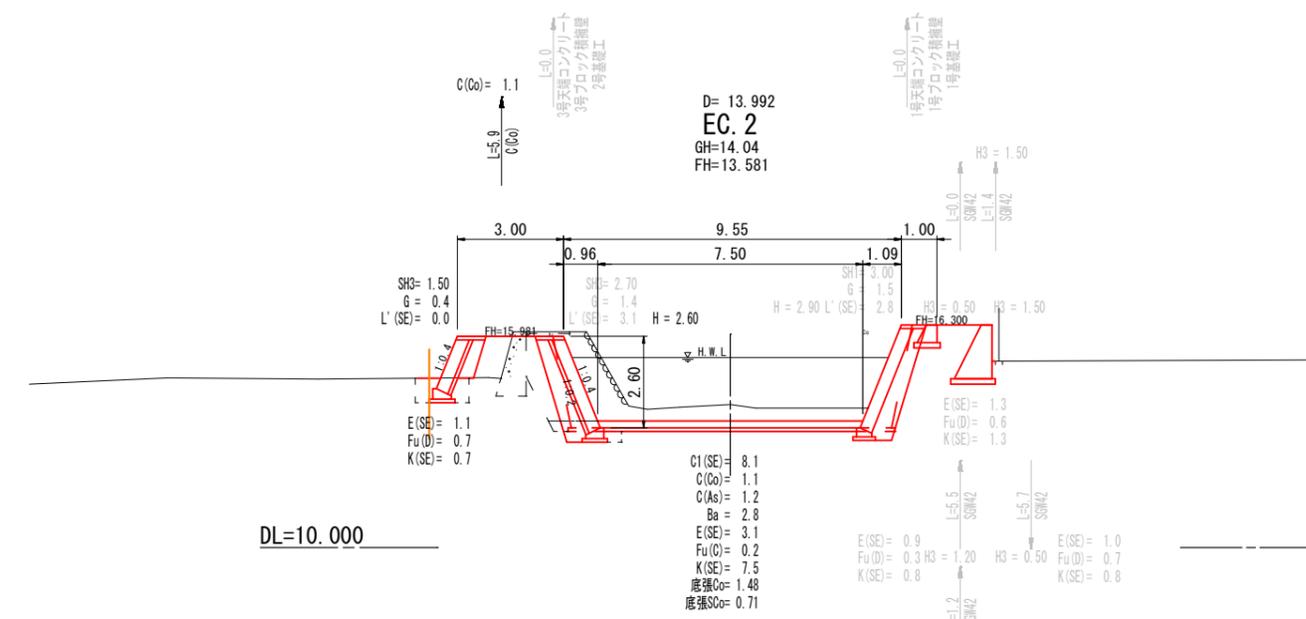
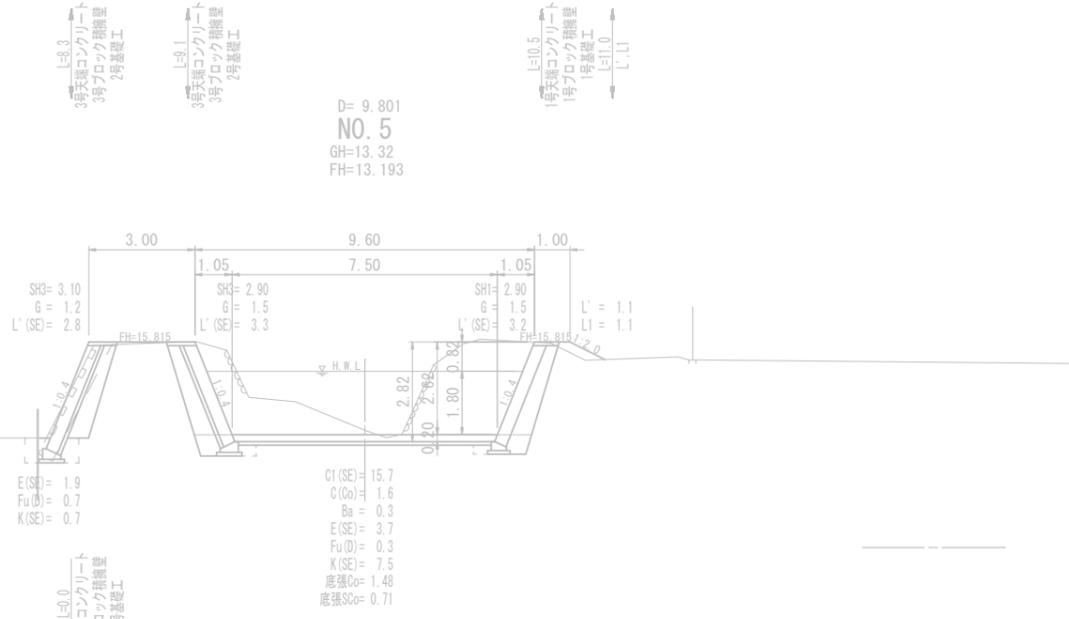
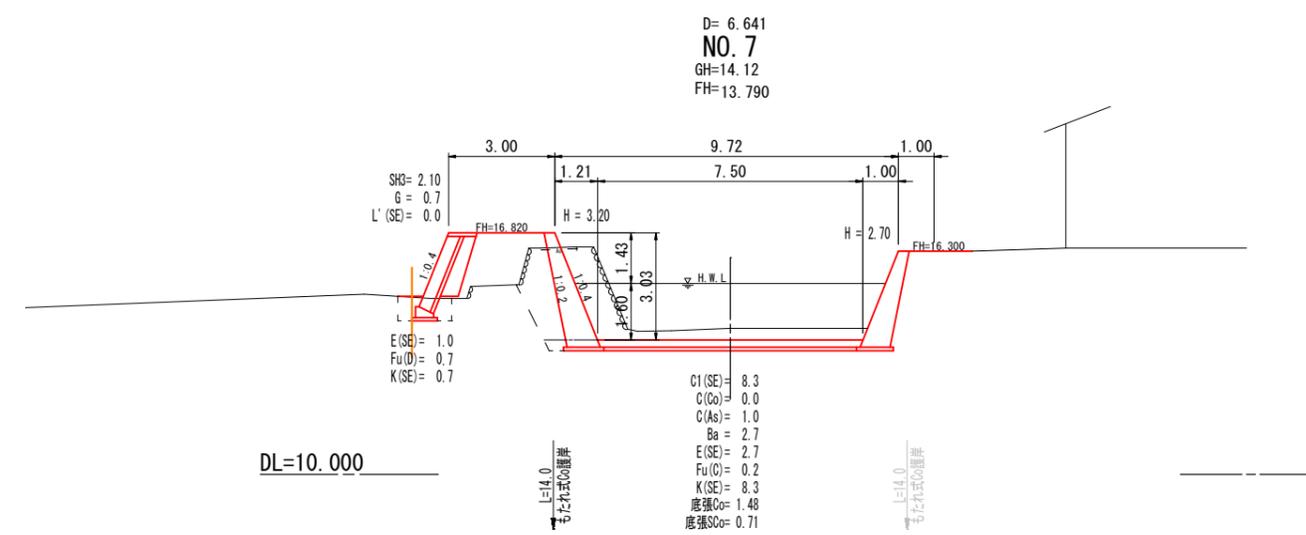
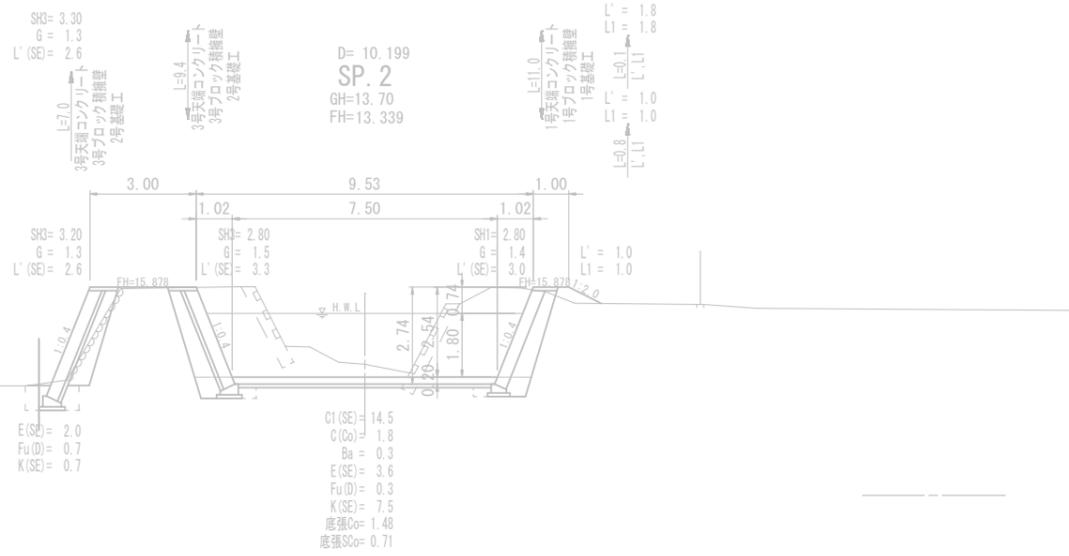
※ ブロック積護岸、もたれ式コンクリート護岸は、断面計画 (粗度係数) により決定。

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	河川標準横断図		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	7 / 17
会社名			
事業者名	竹原市		



※) 地形は、三次元点群測量から作成したものである。
 ※) ブロック積護岸、もたれ式コンクリート護岸は、断面計画（粗度係数）により決定。

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	河川横断面図 (1/4)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮 尺	1:100	図面番号	8 / 17
会社名			
事業者名	竹 原 市		



DL=10.000

DL=10.000

DL=10.000

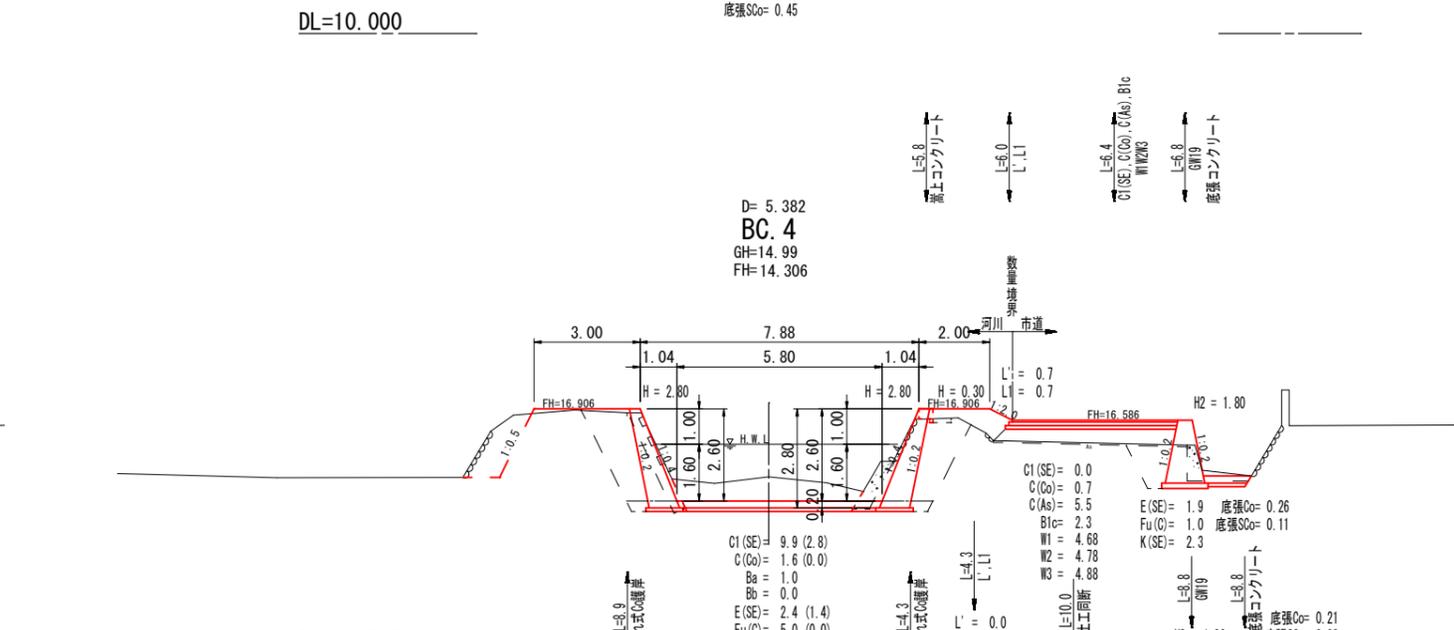
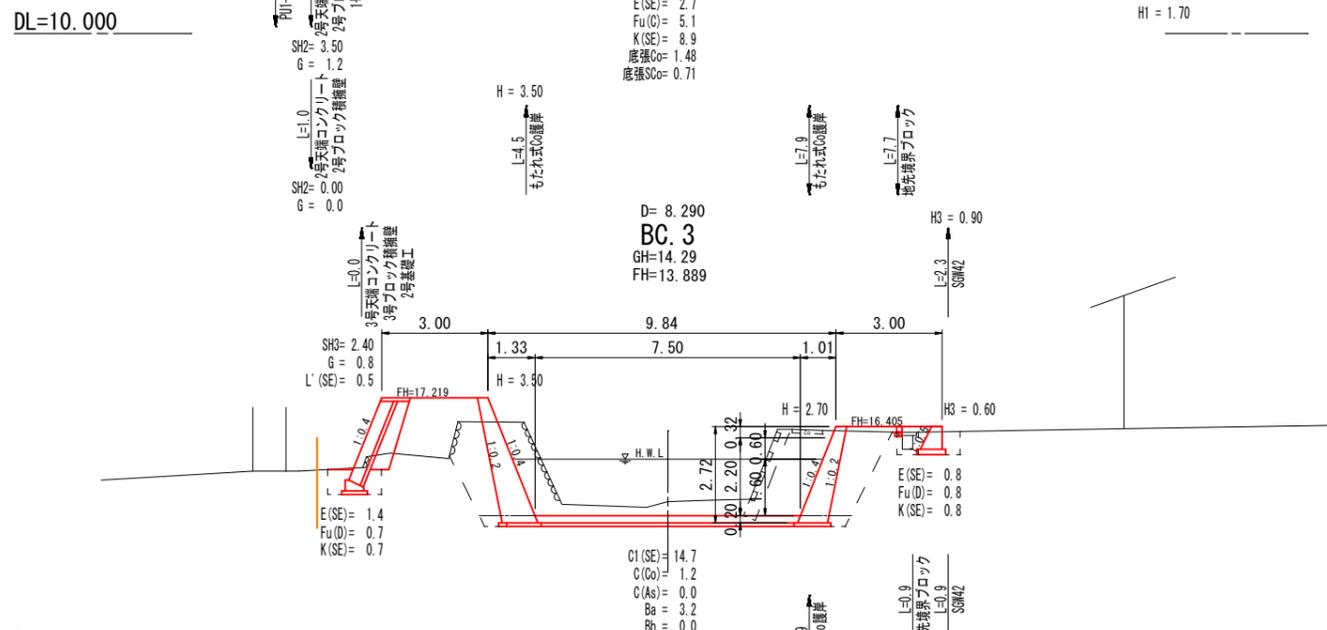
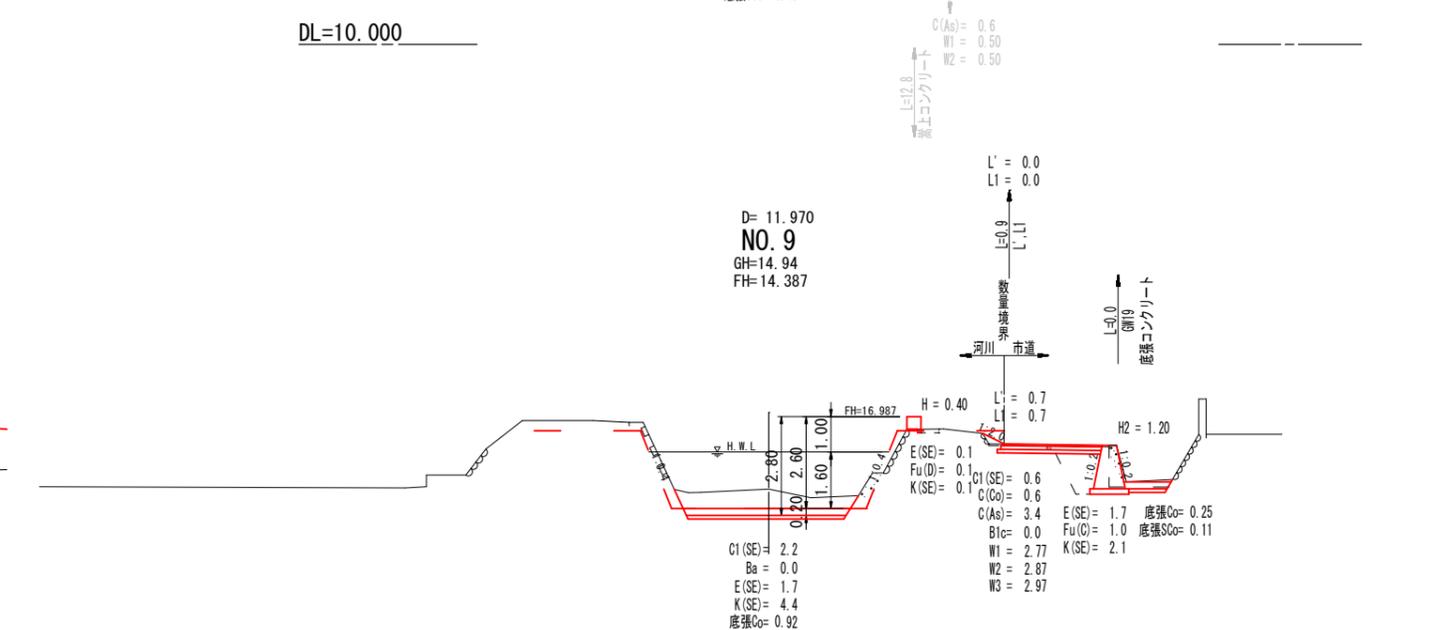
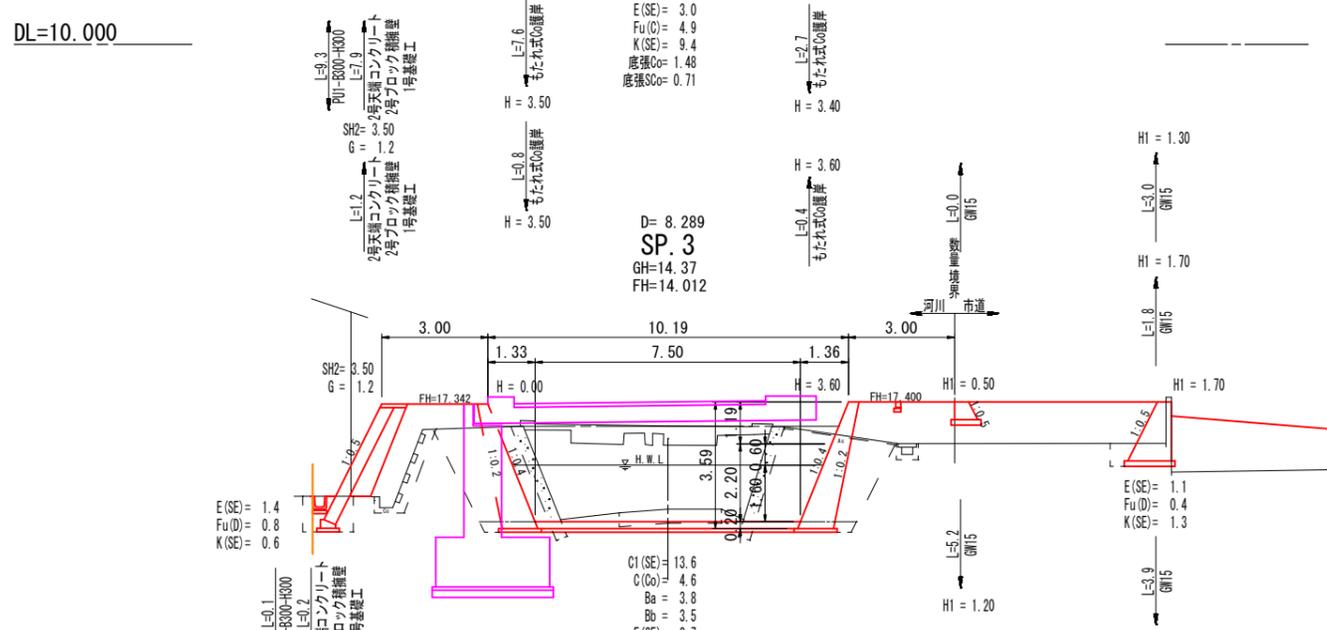
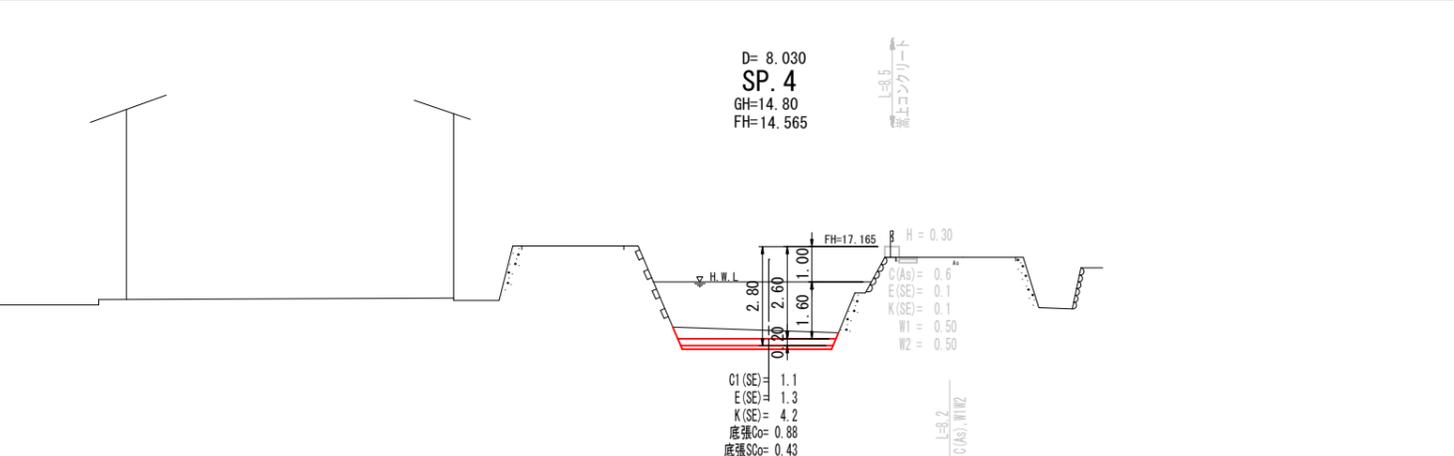
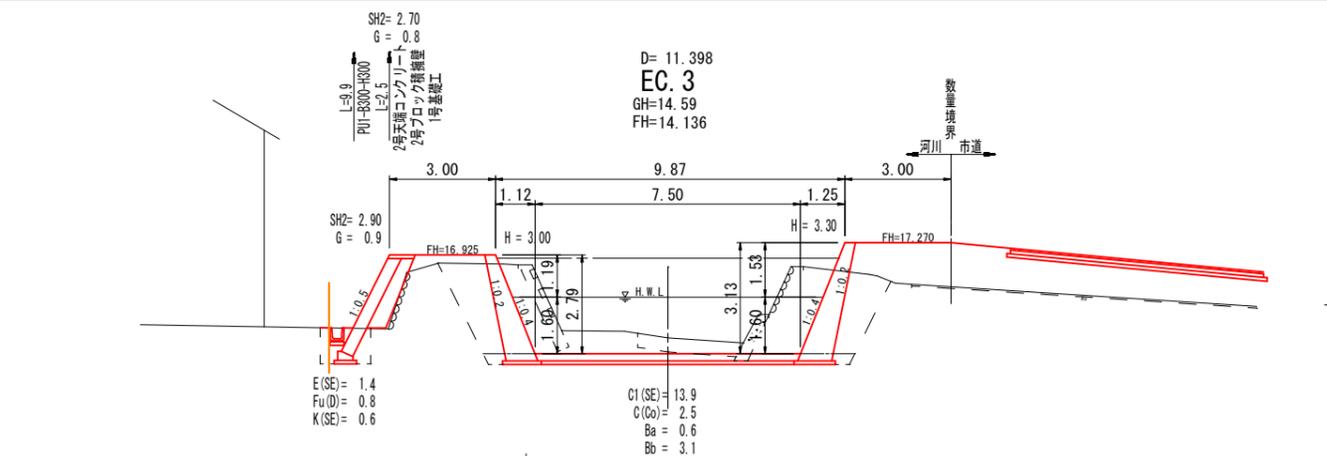
DL=10.000

DL=10.000

DL=10.000

※ 地形は、三次元点群測量から作成したものである。
 ※ ブロック積護岸、もたれ式コンクリート護岸は、断面計画（粗度係数）により決定。

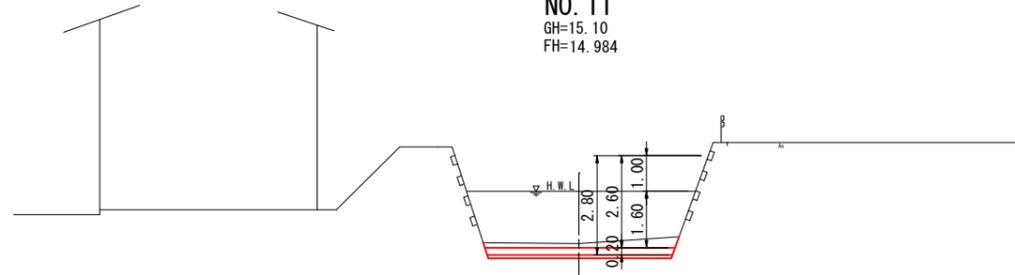
工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	河川横断面図 (2/4)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	1:100	図面番号	9 / 17
会社名			
事業者名	竹原市		



※) 地形は、三次元点群測量から作成したものである。
※) ブロック積積層、もたれ式コンクリート護岸は、断面計画(粗度係数)により決定。

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋架設工事		
図面名	河川横断面図 (3/4)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	1:100	図面番号	10 / 17
会社名			
事業者名	竹原市		

D= 20.000
NO. 11
 GH=15.10
 FH=14.984

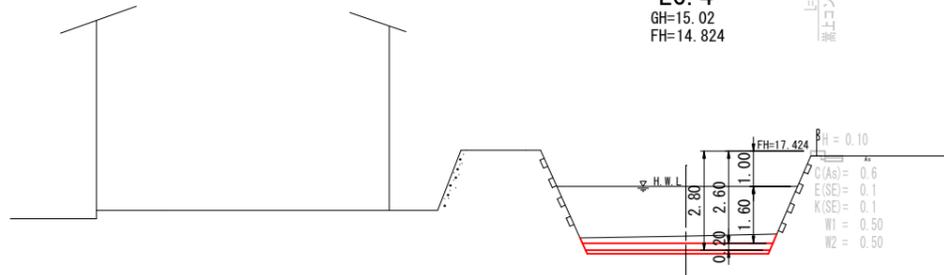


C1(SE)= 0.9
 E(SE)= 1.6
 K(SE)= 5.2
 底張Co= 1.06
 底張SCo= 0.52

DL=10.000

D= 10.678
EC. 4
 GH=15.02
 FH=14.824

H = 0.00
 高さコンクリート
 1.28



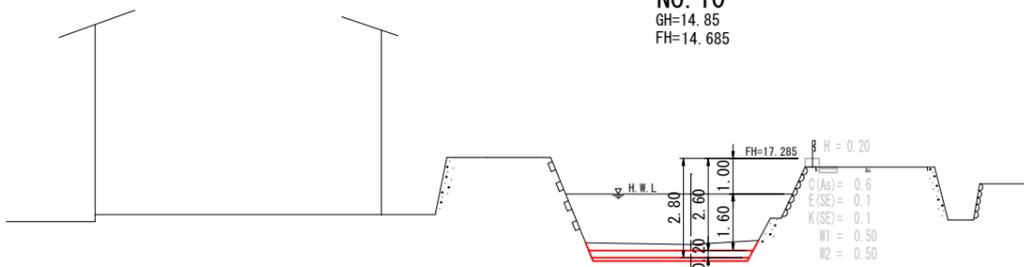
C1(SE)= 1.1
 E(SE)= 1.6
 K(SE)= 5.1
 底張Co= 1.06
 底張SCo= 0.52

H = 0.10
 C(A_s)= 0.6
 E(SE)= 0.1
 K(SE)= 0.1
 W1 = 0.50
 W2 = 0.50

DL=10.000

D= 9.322
NO. 10
 GH=14.85
 FH=14.685

H = 0.00
 高さコンクリート
 1.00



C1(SE)= 1.0
 E(SE)= 1.4
 K(SE)= 4.4
 底張Co= 0.91
 底張SCo= 0.44

H = 0.20
 C(A_s)= 0.6
 E(SE)= 0.1
 K(SE)= 0.1
 W1 = 0.50
 W2 = 0.50

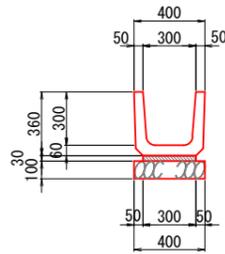
DL=10.000

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	河川横断面図 (4/4)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	1:100	図面番号	11 / 17
会社名			
事業者名	竹原市		

※) 地形は、三次元点群測量から作成したものである。
 ※) ブロック積護岸、もたれ式コンクリート護岸は、断面計画（粗度係数）により決定。

PU1-B300-H300

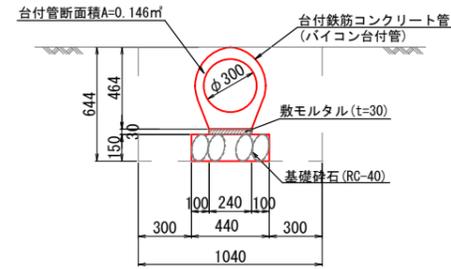
S=1:20



数量表		10m当り	
名称	規格	単位	数量
基礎砕石	RC-40	m ²	4.0
敷モルタル	1:3	m ²	0.090
目地モルタル	1:3	m ²	0.005
側溝	PU1-B300-H300	個	16.5

PVC-300

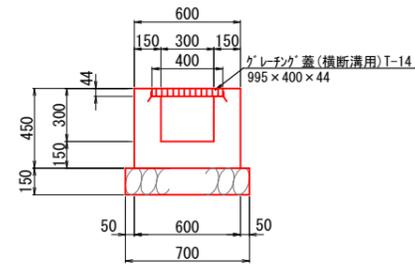
(台付管D300) S=1:20



数量表		10m当り	
名称	規格	単位	数量
基礎砕石	RC-40	m ²	4.400
敷モルタル	1:3	m ²	0.072
重圧管	D300, L=2000	本	5
床掘		m ²	6.7
埋戻	種別D	m ²	4.5
基面修正		m ²	4.4

横断溝

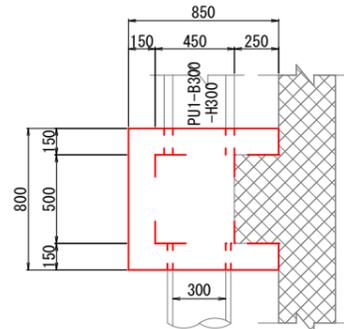
S=1:20



数量表		10m当り	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{28}=18N/mm^2$	m ³	1.800
型枠		m ²	18.000
基礎砕石	RC-40	m ²	7.000
グレーチング蓋	T-14	枚	10.0

G2-B450-L500-H500

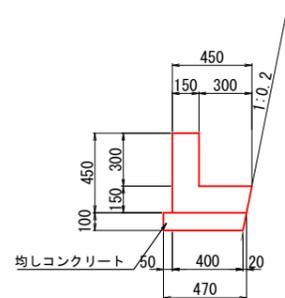
S=1:20



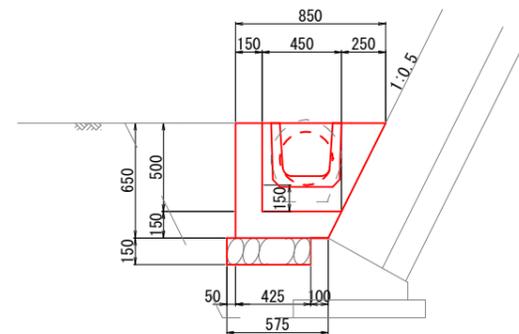
数量表		ヶ所当り	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{28}=18N/mm^2$	m ³	0.214
型枠		m ²	2.438
基礎砕石	RC-40	m ²	0.428

L1-B300-H300

S=1:20



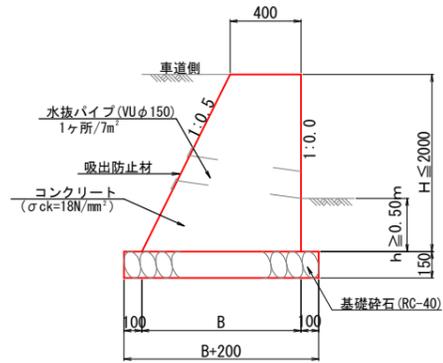
数量表		10m当り	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{28}=18N/mm^2$	m ³	1.103
型枠		m ²	9.000
均しコンクリート	$\sigma_{28}=18N/mm^2$	m ³	0.460
均しコン型枠		m ²	1.000



工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	構造図 (1/3)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	12 / 17
会社名			
事業者名	竹原市		

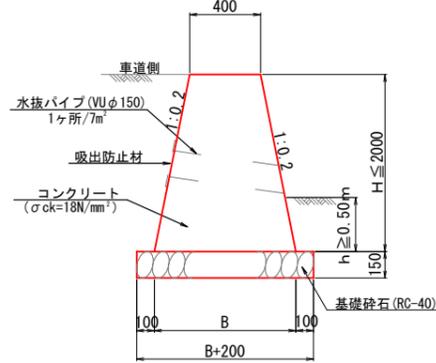
1号コンクリート擁壁

GW15 S=1:20



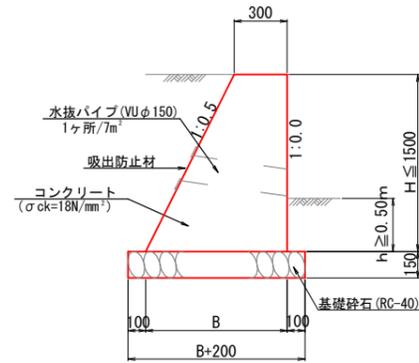
2号コンクリート擁壁

GW19 S=1:20



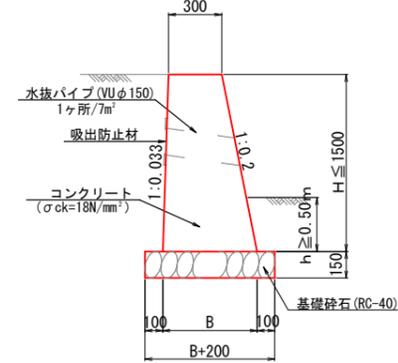
3号コンクリート擁壁

SGW42 S=1:20



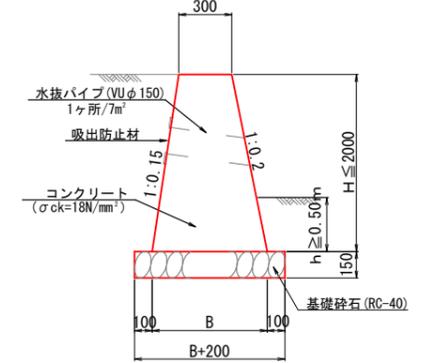
4号コンクリート擁壁

SGW47 S=1:20



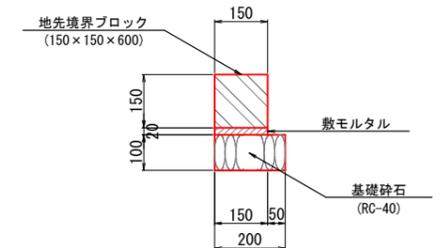
5号コンクリート擁壁

SGW75 S=1:20



地先境界ブロック

S=1:10

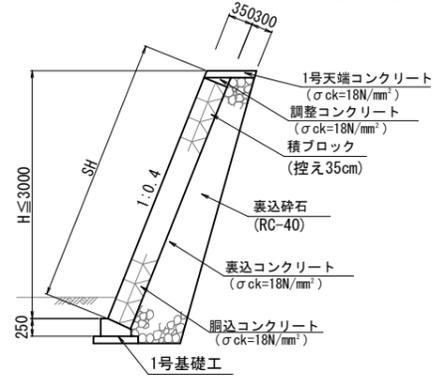


数量表		10m当り	
名称	規格	単位	数量
基礎砕石	RC-40	m³	2.000
敷モルタル	1:3	m³	0.030
地先境界ブロック	150×150×600	個	16.5

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	構造図 (2/3)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	13 / 17
会社名			
事業者名	竹原市		

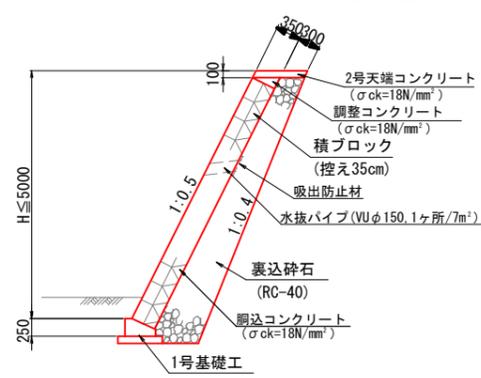
1号ブロック積擁壁

S=1:50



2号ブロック積擁壁

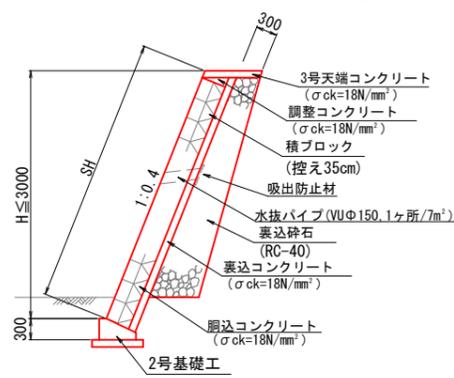
S=1:50



※) 河川護岸の場合、水抜きパイプは設置しない。

3号ブロック積擁壁

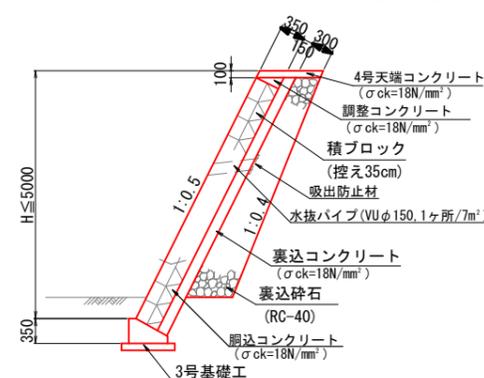
S=1:50



※) 河川護岸の場合、水抜きパイプは設置しない。

4号ブロック積擁壁

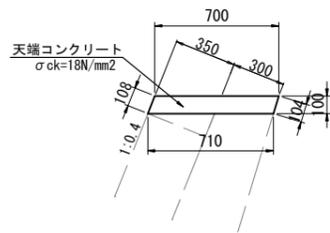
S=1:50



※) 河川護岸の場合、水抜きパイプは設置しない。

1号天端コンクリート

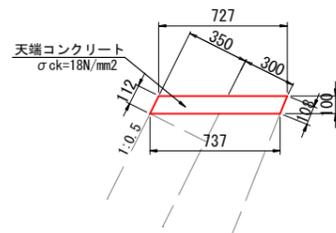
S=1:20



種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.705
型枠	小型構造物	m ²	2.120

2号天端コンクリート

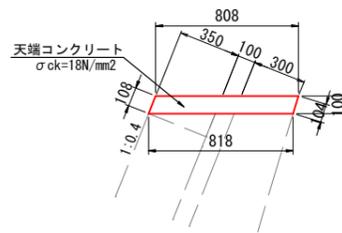
S=1:20



種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.732
型枠	小型構造物	m ²	2.200

3号天端コンクリート

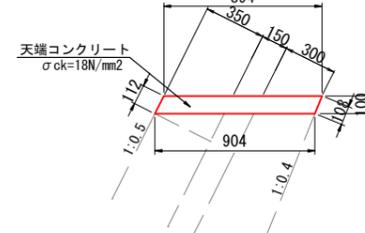
S=1:20



種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.813
型枠	小型構造物	m ²	2.120

4号天端コンクリート

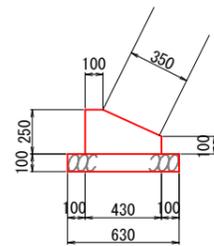
S=1:20



種別	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.899
型枠	小型構造物	m ²	2.200

1号基礎工

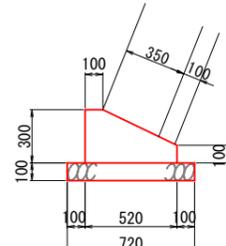
S=1:20



名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.830
型枠		m ²	3.500
基礎砕石	RC-40	m ³	6.300

2号基礎工

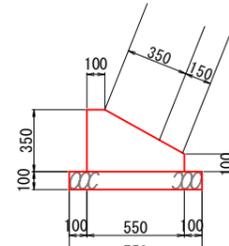
S=1:20



名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	1.140
型枠		m ²	4.000
基礎砕石	RC-40	m ³	7.200

3号基礎工

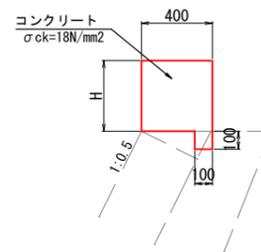
S=1:20



名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	1.360
型枠		m ²	4.500
基礎砕石	RC-40	m ³	7.500

高上コンクリート

S=1:20

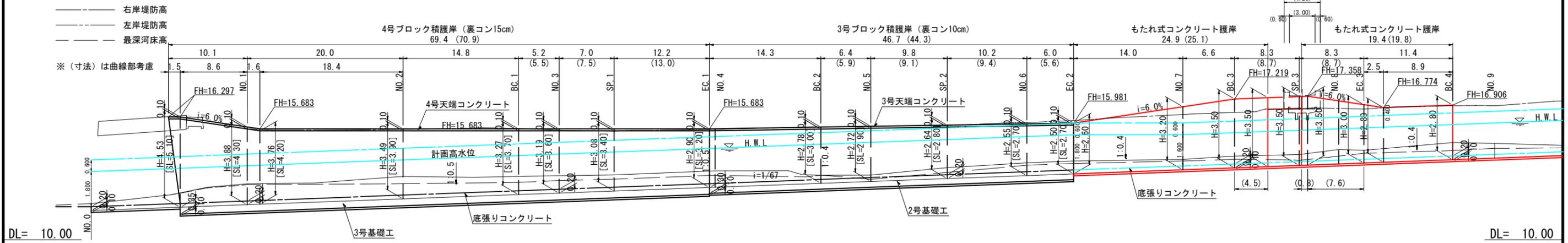


工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	構造図 (3/3)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	図示	図面番号	14 / 17
会社名			
事業者名	竹原市		

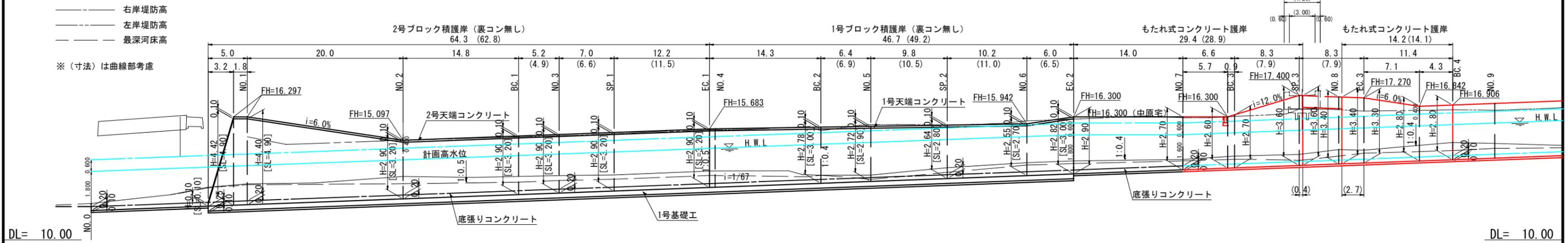
河川護岸擁壁展開図

V=1:100
H=1:250

(右岸)



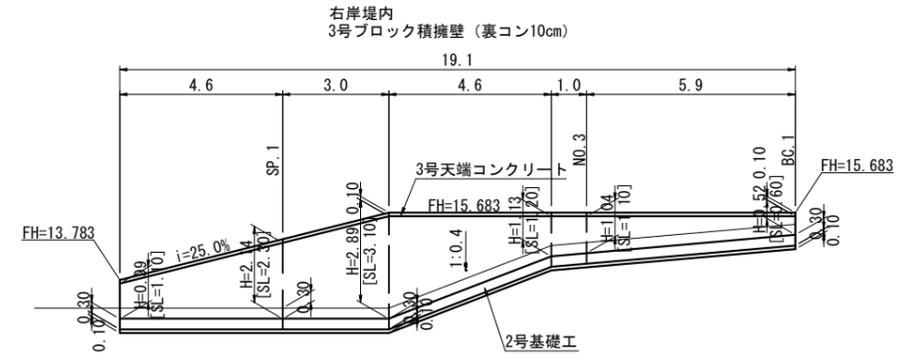
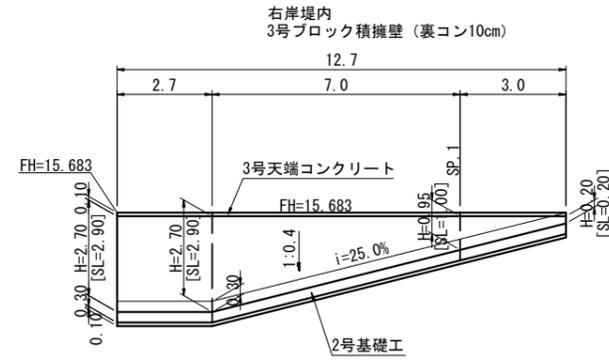
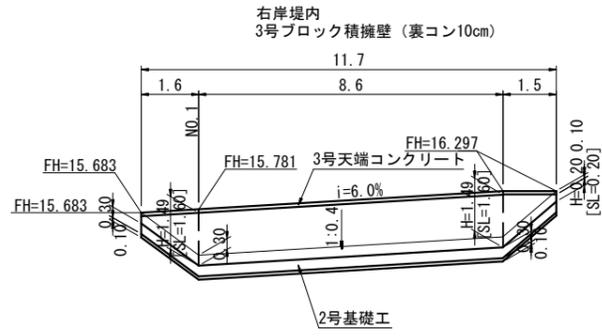
(左岸)



工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	擁壁展開図 (1/3)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	V=1:100 H=1:250	図面番号	15 / 17
会社名			
事業者名	竹原市		

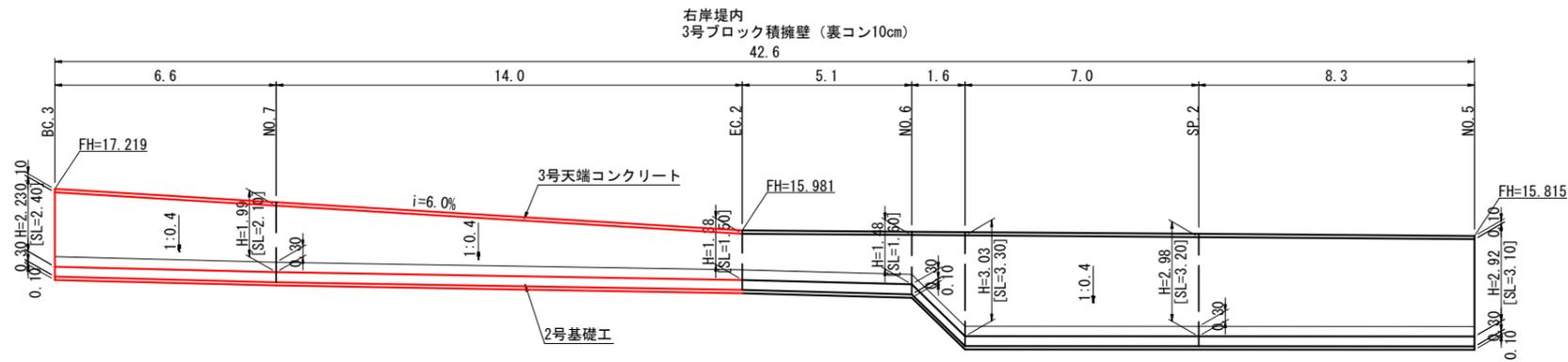
コンクリート擁壁・ブロック積擁壁展開図

S:1:100



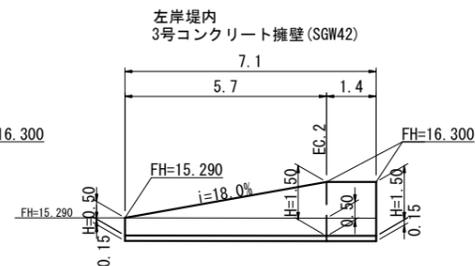
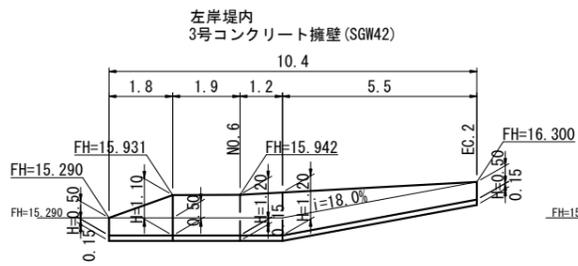
DL= 10.00

DL= 10.00

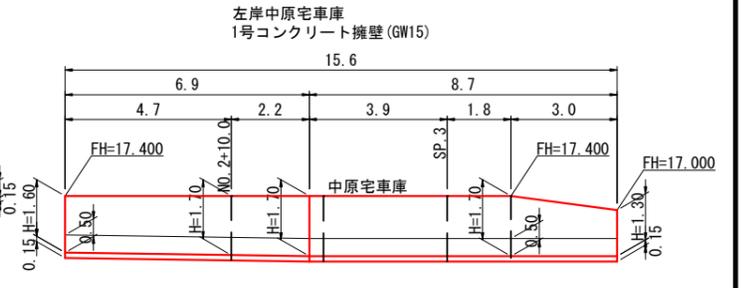
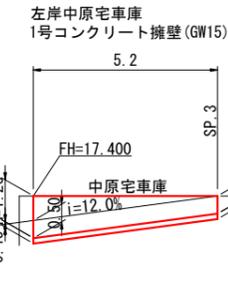
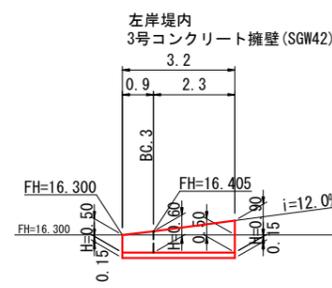


DL= 10.00

DL= 10.00



DL= 10.00

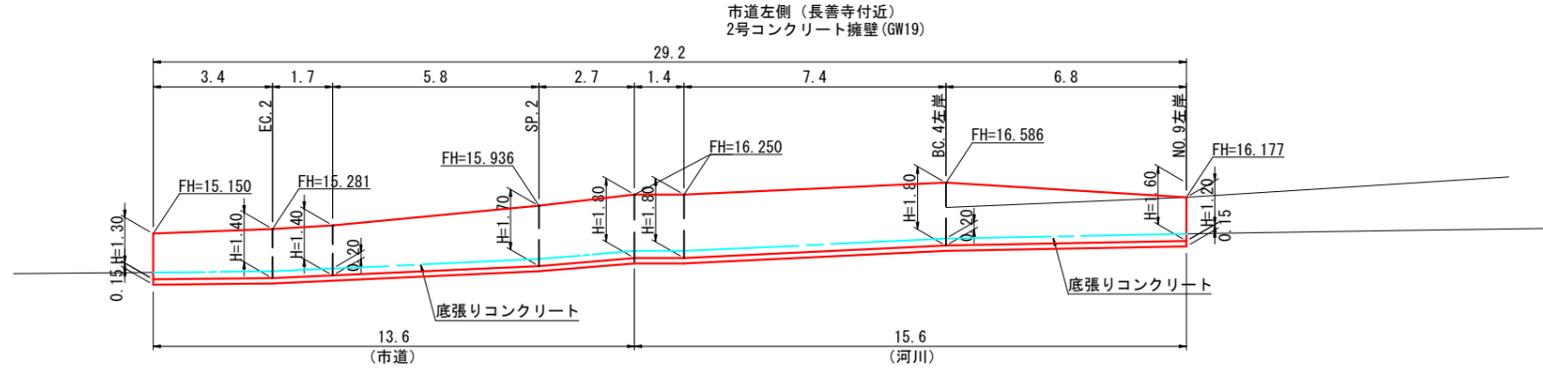


DL= 10.00

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	擁壁展開図 (2/3)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	1:100	図面番号	16 / 17
会社名			
事業者名	竹 原 市		

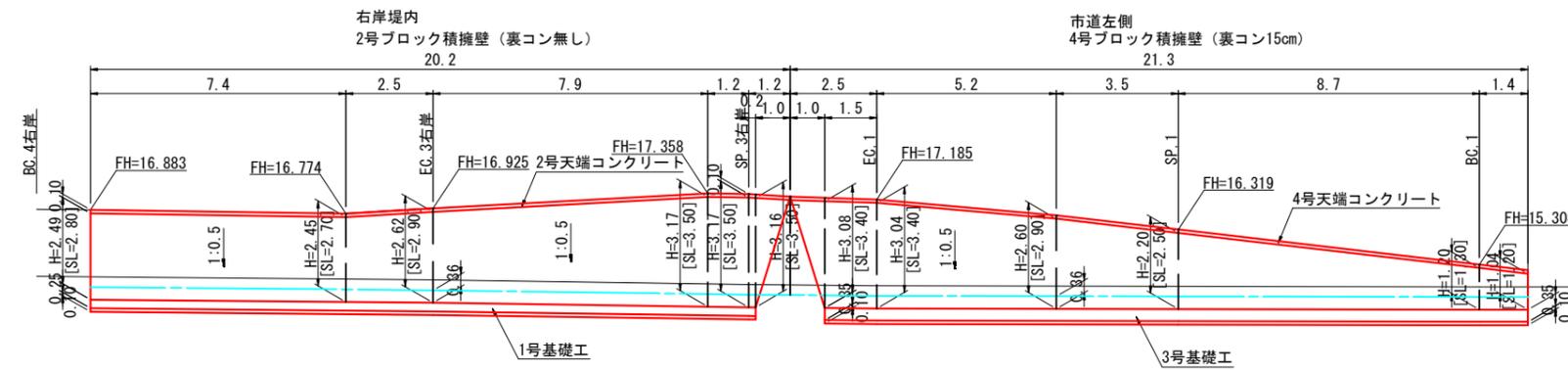
コンクリート擁壁・ブロック積擁壁展開図

S=1:100



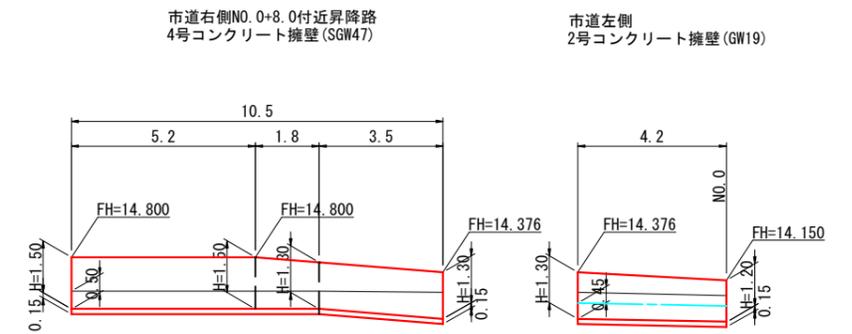
DL= 10.00

DL= 10.00

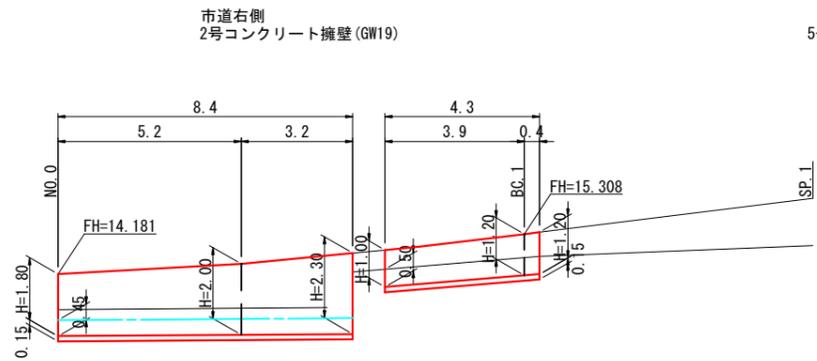


DL= 10.00

DL= 10.00

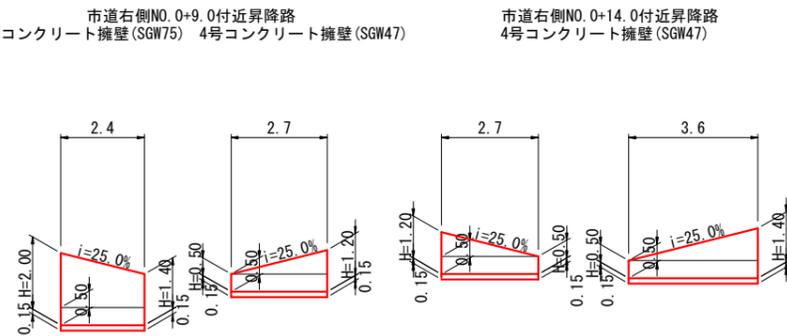


DL= 10.00

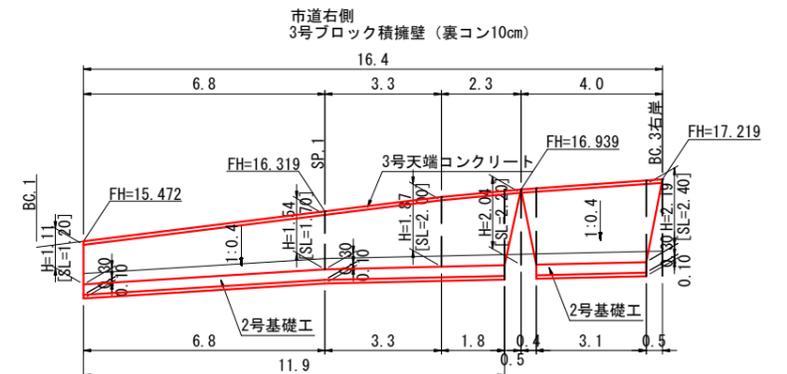


DL= 10.00

DL= 10.00



DL= 10.00

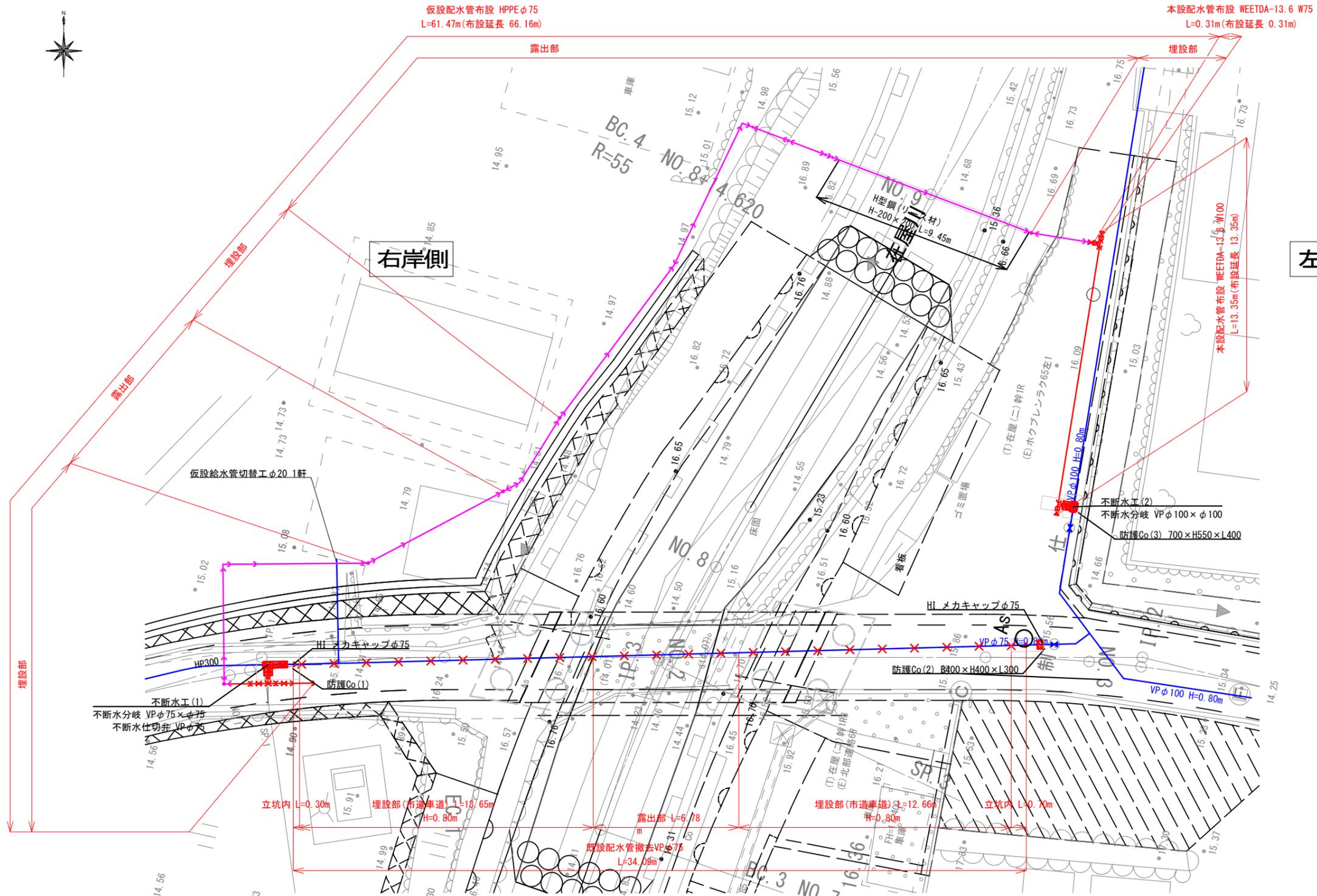


DL= 10.00

工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図面名	擁壁展開図 (3/3)		
作成年月日	令和 8 年 1 月		
縮尺	1:100	図面番号	17 / 17
会社名			
事業者名	竹原市		

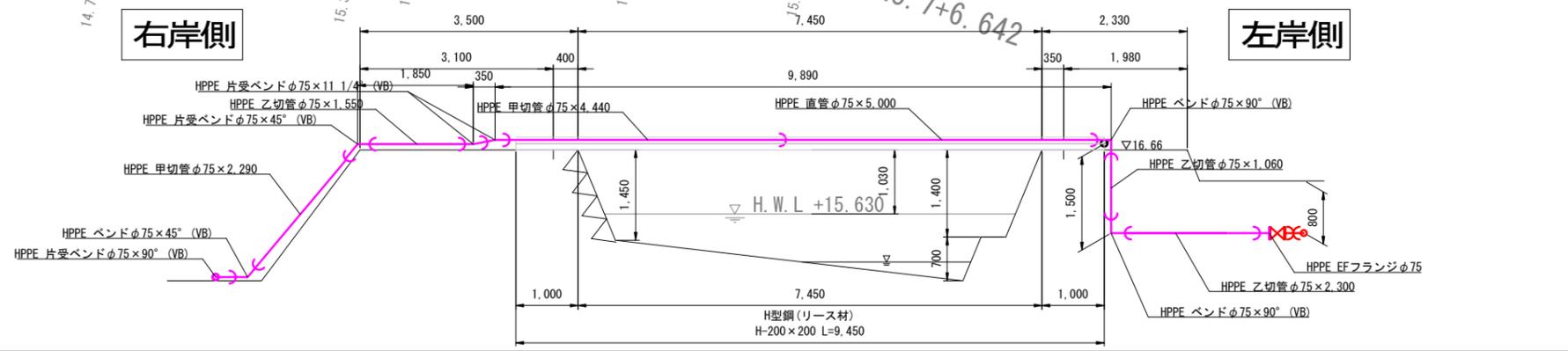
水道仮移設

配管計画図
(仮設配水管)
平面図 S=1:100



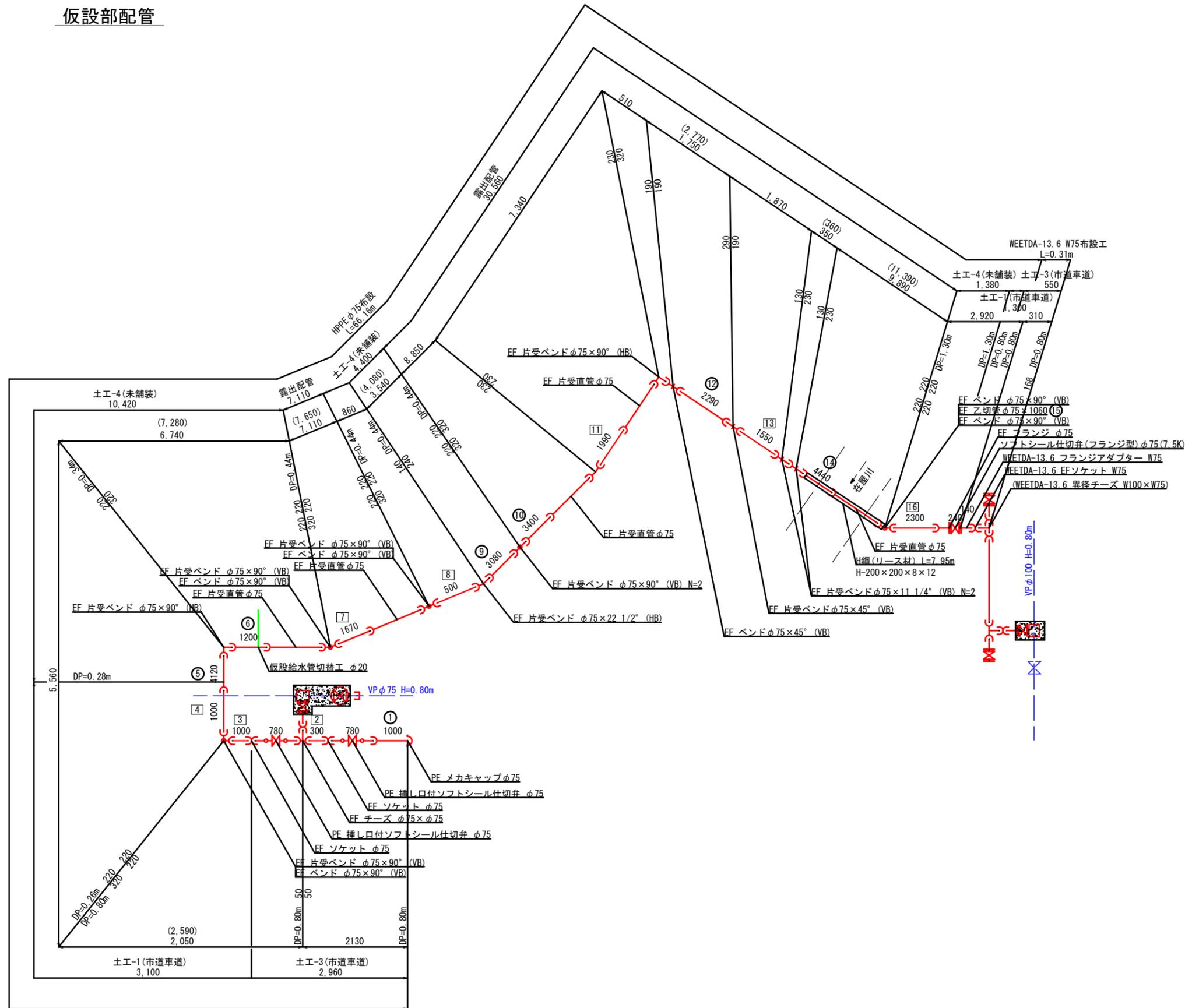
凡例	
—	計画管(本設)
—	計画管(仮設)
—	既設水道管
✕✕	既設水道管撤去部
—	河川区域(河川中心~片側15m)

河川部断面図 S=1:100



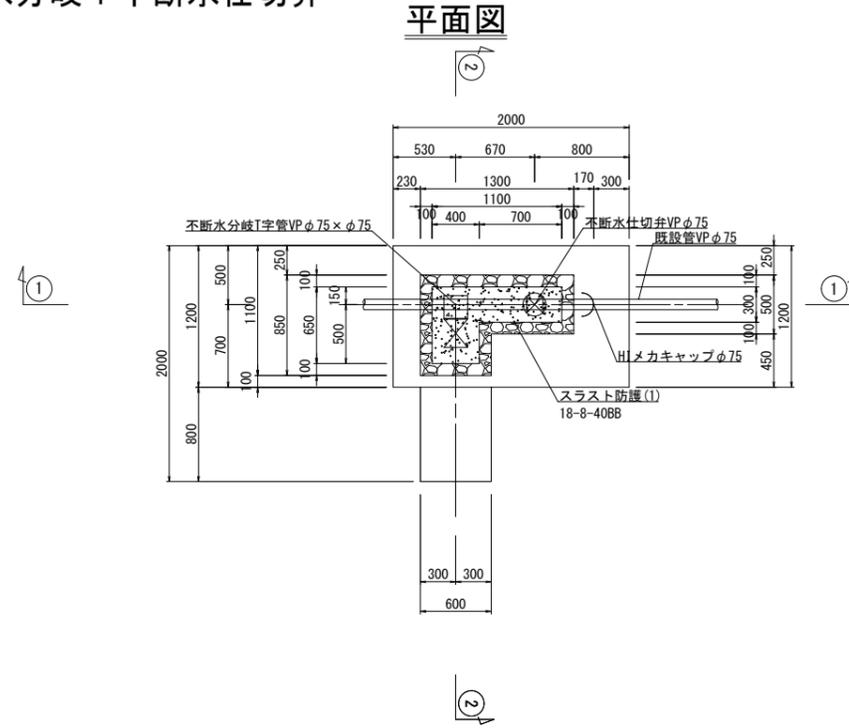
配水管詳細図(1) S=Free

仮設部配管



図面番号	水道 2 / 5	縮尺	図示
工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図名	配水管詳細図(1)		
工事箇所	竹原市東野町		
事業者名	竹原市		

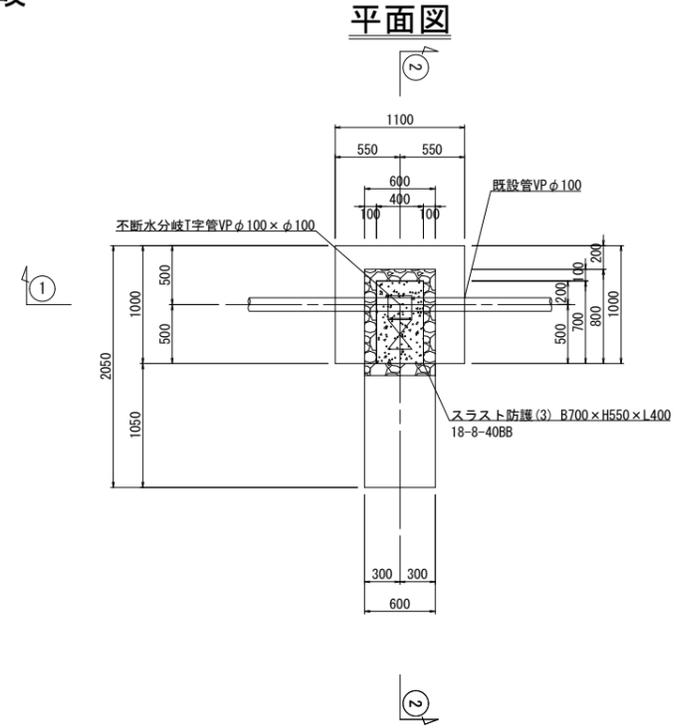
不断水工(1)土工図 S=1:30
右岸 不断水分岐+不断水仕切弁



①-①断面図

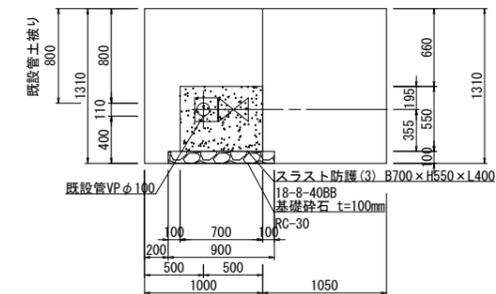
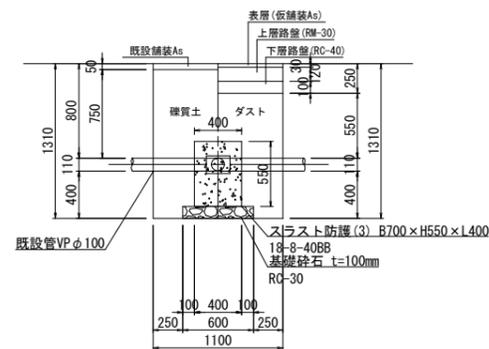
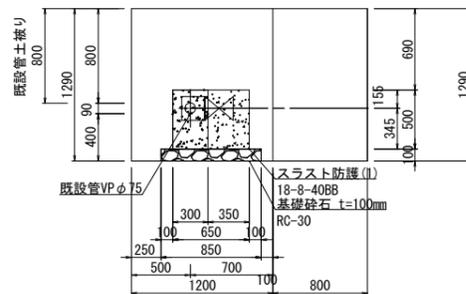
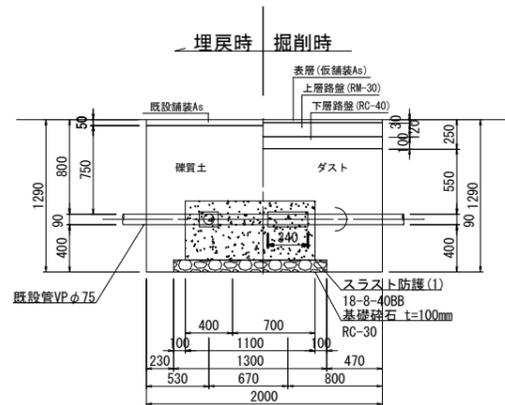
②-②断面図

不断水工(2)土工図 S=1:30
左岸 不断水分岐



①-①断面図

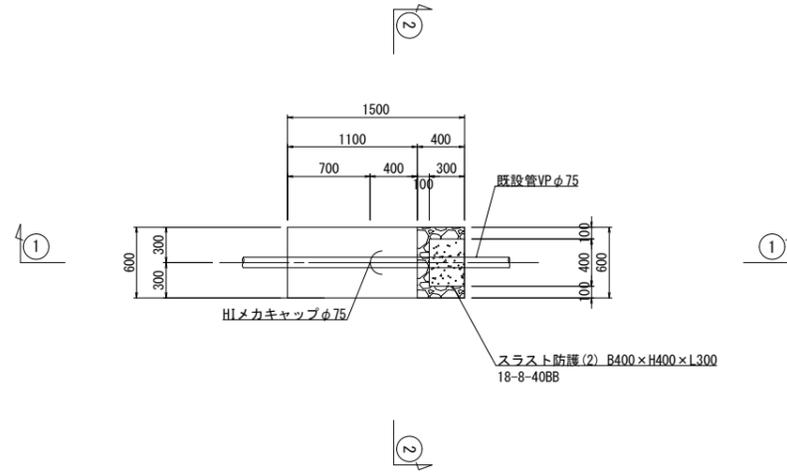
②-②断面図



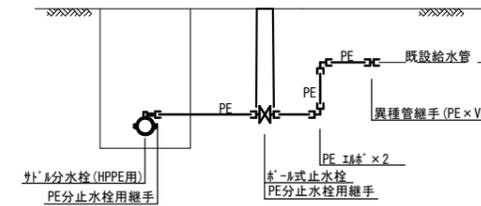
図面番号	水道 4 / 5	縮尺	図示
工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図名	不断水工(1)土工図 不断水工(2)土工図		
工事箇所	竹原市東野町		
事業者名	竹原市		

防護工(2)土工図 S=1:30

平面図



給水管切替図

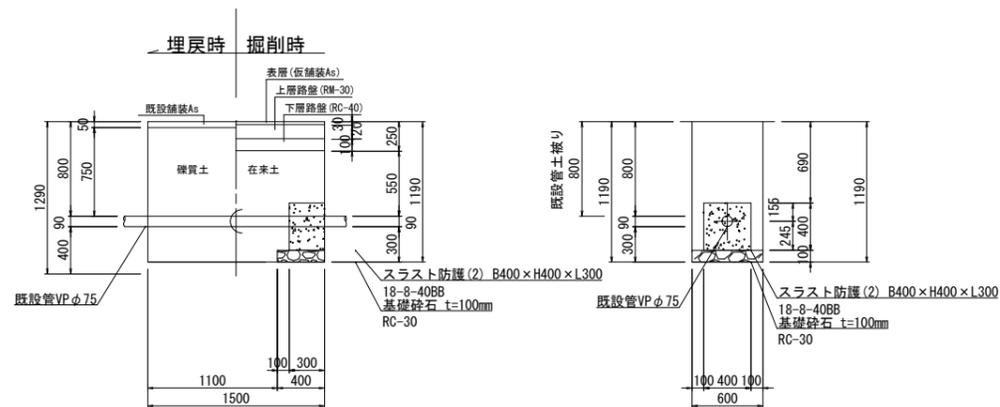


給水管数量表

給水管番号	水栓番号	本管径(本設)HPPE	メーター口径	既設給水管径	新設給水管径	材料数量								
						PE 切管		HPPE用 EFサドル分水栓		PE継手		異種管継手 (PE×VP)	分止水栓	止水栓BOX
						φ20		φ75×φ20		φ20	エルボ φ20			
1	0075701	φ75	-	φ20	φ20	1.00		1	3	2	1	1	1	

①-①断面図

②-②断面図



図面番号	水道 5 / 5	縮尺	図示
工事名	東野地区浸水対策事業 長善寺下橋橋梁架設工事		
図名	防護工(2)土工図 給水管切替図		
工事箇所	竹原市東野町		
事業者名	竹原市		